

八戸市美術館

Hachinohe Art Museum

令和6年度
(2024年度)

年報



1. 展覧会+プロジェクト	企画展	
	展示室の冒険	6
	風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画	14
	コレクションラボ	
	コレクションラボ007 大久保景造と八戸文化	24
	コレクションラボ008 彩る書	30
	コレクションラボ009 リビングルーム	34
	共催展	
	tupera tupera のかおてん.	39
	第61回八戸市美術展	43
	第57回八戸市小学校図画工作展	46
	新春屏風展	47
	ボランティア書道教室 俊文書道会 書の発表会 超大作	49
	プロジェクト	
	エンジョイ!アートファーム!!	50
2. コレクション	収集	58
	管理	60
3. アートファーマー	主催企画	
	建築ツアーガイド	62
	きむらとしろうじんじん南部町剣吉野点2024	65
	創作ゲーム展 あそらぼ!ep3.自然と共に	68
	広報部	71
	アートファーマーミーティング	73
	アートファーマー企画	
	第2回MEETIUM	74
4. 学校連携	学校連携事業	76
	大学・高専連携事業	82
5. イベント	賑わい創出事業	87
	開館3周年アーカイブ展	91
6. その他事業	5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN	93
	はちとまネットワーク	95
	HACHINOHE ZINE CLUB	96
	共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)	98
	博物館実習	100
7. 貸館	貸館	102

8. データ	入館者の状況	111
	広報	112
	八戸市美術館運営協議会	113
	運営（決算・組織）	114
	関係規約	
	八戸市美術館条例	115
	八戸市美術館条例施行規則	118
	八戸市美術館美術品等収集委員会規則	121
	施設概要	122
	沿革	124

1. 展覧会＋プロジェクト

展示室の冒険

1. 事業内容

展示室でくり広げられる「冒険」をテーマに、当館収蔵作品との出会いや鑑賞を体感する展覧会。「展示室の管理人」なるキャラクターが来場者を導くストーリー仕立ての構成とした。

「冒険のはじまり」ではオリジナルムービーでストーリーを紹介し、「奇妙な廊下」ではキャプションや作品配置に変化を付けて展示。続く「運命の出会い」では、1部屋に1作品だけ展示し、作品との出会いを演出した。「研究所」では、座布団や白手袋などの鑑賞アイテムを置き、作品の見方を提案した。「森のダンジョン」では、壁を木立のように立て、壁のオモテ面に作品とアルファベット、ウラ面にキャプションや解説を展示した。さらに足元に「展示室の管理人からのヒント」として、作品に関する質問と2択の選択肢を掲示。選択肢のどちらを選ぶかによって、次に見る作品が変わる仕掛けを施した。最後にジャイアントルームに「管理人との往復書簡」コーナーを設置。管理人宛の感想や質問を投書してもらい、後日管理人が返事を書いてジャイアントルームに掲示した。

これまで光の当たっていなかった収蔵作品にスポットを当てながら、美術鑑賞に馴染みのない方にも多様な見方を体感してもらった。

2. 開催概要

会期 | 2024年4月20日(土)～6月24日(月)

開催日数 | 58日間

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ

観覧料 | 一般800円(700円)、高校生以下無料、割引対象者500円

※()は20名以上の団体料金

※有料駐車場ご利用の運転手1名に団体料金適用。

※割引対象者=八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)在住の65歳以上の方/障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名。

※フリーパス「かおパス」 一般1,200円、割引対象者800円

主催 | 八戸市美術館

後援 | 八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森

テレビ、青森放送、NHK青森放送局、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM

入場者数 | 3,594人

図録 | B5、88頁

編集：篠原英里／執筆：篠原英里(本文・作品解説)・山田泰子(作家略歴)／デザイン：三上真嗣・花田耕助(東北のデザイン社)／印刷：赤間印刷工業株式会社／発行日：2024年4月20日(土)／発行：八戸市美術館

ポスター | B2、片面

チラシ | A4、両面

ハンドアウト | A3、両面(冒険の地図、出展リスト)

デザイン：三上真嗣・花田耕助(東北のデザイン社)

展示作家 | 明山應義、池田恭三、岩織治、岩沢喜作、岩館千松、上田恒次、宇山博明、大久保景造、岡山良一、加賀利孝、葛西四雄、久保田政子、高野三三男、呉之東、笹島喜平、佐藤淳子、下村正二、関頑亭、鷹山宇一、月館れい、東郷たまみ、戸狩公久、時任亜矢子、戸村茂樹、豊島弘尚、名久井由蔵、奈良岡正夫、濱田晋作、福勢喜一、吉田三郎、和井田要、渡辺貞一

会場構成 | 佐藤慎也

グラフィックデザイン | 三上真嗣・花田耕助(東北のデザイン社)

照明 | 藤原工、塚田直喜(株式会社灯工舎)

映像 | 神智

担当学芸員 | 篠原英里、山田泰子

1. 展覧会+プロジェクト

企画展
展示室の冒険

3. 関連イベント

・アーティストトーク「下村正二の冒険」

開催日 | 2024年5月5日(日) 14:00~15:00

ゲスト | 下村正二

司会 | 篠原英里

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 25人

内容 | 展示作家の下村正二が自身の「冒険」を語った。制作風景や最新作の写真を見せながら、画家になるまでの人生の決断や作品に込めた想い、制作中の出来事などを語った。

・アーティストトーク「明山應義の冒険」

開催日 | 2024年6月8日(土) 14:00~15:00

ゲスト | 明山應義

司会 | 篠原英里

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 54人

内容 | 展示作家の明山應義が自身の「冒険」を語った。前半は明山が自身の人生を話し、後半は写真を見せながら、背中を押してくれた人々との出会いや作品のモデルなどについて語った。トーク実施時に、明山は館内ギャラリー1・2で個展を開催していた。

・学芸員によるギャラリートーク

開催日 | ①2024年4月20日(土)、②4月28日(日)、③5月11日(土)、④5月26日(日)、⑤6月15日(土)、⑥6月23日(日) 各回14:00~15:00 ※6月15日(土)は手話通訳付き。

講師 | 篠原英里

会場 | ブラックキューブ、ホワイトキューブ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | ①13人、②10人、③4人、④9人、⑤32人、⑥15人 延べ83人

内容 | “展示室の管理人”が派遣した担当学芸員が展覧会を案内。

・みんなでじっくり鑑賞ナビ 第1回

開催日 | 2024年6月1日(土) 11:00~11:30

ナビゲーター | 柴田由美子(八戸市立東中学校教諭)

会場 | ホワイトキューブ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 10人

内容 | 学校の先生が学校現場での経験を活かして展示作品の鑑賞をナビゲート。第1回は、明山應義《母子G》の前で描かれた人物のポーズをとったり、対話をしたりしながら鑑賞を行った。

・みんなでじっくり鑑賞ナビ 第2回

開催日 | 2024年6月22日(土) 11:00~12:00

ナビゲーター | 清野恵(青森県立八戸東高等学校非常勤講師)

会場 | ホワイトキューブ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 11人

内容 | 学校の先生が学校現場での経験を活かして展示作品の鑑賞をナビゲート。第2回は、ワークシートの質問の答えを付箋に書いてもらい、その内容を紹介しながら、作品鑑賞を行った。学芸員の作品解説も交えた。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デリー東北「文化／八戸市美術館20日から企画展／アートの冒険を楽しもう」2024年4月19日
- ・東奥日報「展示室 冒険の場に／鑑賞用虫眼鏡、壁林立…／八戸市美術館が企画展」2024年4月20日

WEB |

- ・はちまち「展示室に虫眼鏡、配色カード、座布団、地図帳……?〈八戸市美術館〉のコレクション展『展示室の冒険』の楽しみ方。【八戸市美術館】」2024年5月14日 (https://8machi.com/products/artmuseum_7?srsId=AfmBOopMeEEQxALWACdCCwDBbJAmDF20j7hamsY4141JeugHDSj5uVM_)

1. 展覧会+プロジェクト

企画展
展示室の冒険

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
明山應義	旅する鳥たち ハバロフスクの原野	2001	キャンバス、油彩	80.3×116.7
大久保景造	曲り家と	不詳	キャンバス、油彩	38.0×45.8
呉之東	葡萄	不詳	キャンバス、油彩	92.0×60.7
大久保景造	桜桃と	不詳	キャンバス、油彩	22.2×27.4
呉之東	駝鳥	不詳	キャンバス、油彩	24.3×33.4
高野三三男	泰山木	1975	キャンバス、油彩	15.5×22.6
時任亜矢子	Calla Lily 3	2000	紙、シルクスクリーン	25.0×20.0
時任亜矢子	Early morning – Lily	2000	紙、シルクスクリーン	20.0×25.0
時任亜矢子	glass & flower 3	2002	紙、シルクスクリーン	25.0×20.0
時任亜矢子	glass & tulips	2003	紙、シルクスクリーン	29.5×20.0
時任亜矢子	Mid July (4)	2000	紙、シルクスクリーン	50.2×66.0
時任亜矢子	April showers	2003	紙、シルクスクリーン	20.0×29.5
時任亜矢子	Mid July – Lily	2000	紙、シルクスクリーン	20.0×25.0
戸村茂樹	樹影習作 '91	1991	紙、木炭	50.3×66.0
戸村茂樹	樹影 A	1991	紙、リトグラフ	30.0×45.0
戸村茂樹	樹影 F	1991	紙、リトグラフ	30.0×30.0
戸村茂樹	樹影 G	1991	紙、リトグラフ	30.0×30.0
戸村茂樹	樹影 H	1992	紙、リトグラフ	30.0×30.0
戸村茂樹	樹影 I	1992	紙、リトグラフ	30.0×30.0
笹島喜平	不動明王 No.73	1976	紙、木版	60.4×45.6
笹島喜平	不動明王 No.81	1979	紙、木版	60.3×45.3
和井田要	動	1964	キャンバス、油性塗料	73.5×91.0
和井田要	楽	1955	キャンバス、油性塗料	100.0×73.0
豊島弘尚	曙のノア (ノアの黙示録より)	1990	キャンバス、油彩	37.9×45.5
岩館千松	たなばた	1980	キャンバス、油彩	161.0×130.0
岩館千松	遠野物語	1975	キャンバス、油彩	130.5×163.5
明山應義	母子F	1998	キャンバス、油彩	193.9×259.1
明山應義	母子G	1998	キャンバス、油彩	130.3×162.1
明山應義	ハバロフスクの少女	2000	キャンバス、油彩	72.7×60.6
久保田政子	鳥 (赤)	1960	キャンバス、油彩	91.3×72.8
久保田政子	鳥 (白)	1960	キャンバス、油彩	91.0×72.7
宇山博明	是川作品群 301	1976	キャンバス、油彩	132.0×294.0
豊島弘尚	頭部	1984	キャンバス、油彩	32.0×32.0
渡辺貞一	スペイン風景	1965	キャンバス、油彩	53.0×46.0

1. 展覧会+プロジェクト

企画展 展示室の冒険

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
渡辺貞一	羅針儀の風景	1975	キャンバス、油彩	130.3×162.1
吉田三郎	緑陰	1961	ブロンズ	34.5×53.0×27.0
下村正二	新緑の迷ヶ平	1989	キャンバス、油彩	60.6×91.0
戸狩公久	雪の港 (冬物語)	1995	キャンバス、油彩	65.5×53.1
戸狩公久	最北の港	1990	キャンバス、油彩	162.1×130.3
佐藤淳子	粉雪のウィスコンシン	1994	キャンバス、油彩	130.3×193.9
下村正二	流れる時の記念碑	1993	キャンバス、油彩	72.7×116.7
奈良岡正夫	親仔	不詳	キャンバス、油彩	37.9×45.5
加賀利孝	宴	1973	キャンバス、油彩	72.7×90.9
奈良岡正夫	静物	不詳	キャンバス、油彩	33.3×45.5
上田恒次	青磁水滴	不詳	磁器	径10.2、高4.3
上田恒次	練上鶉手蓋物	1970	陶器	18.5×18.0×9.5
名久井由蔵	水辺	1951	板、油彩	21.0×27.2
濱田晋作	柿釉面取赤絵花瓶	1990	陶器	径27.0、高24.0
加賀利孝	マラガ港	不詳	キャンバス、油彩	72.7×91.0
岡山良一	るる	1965	キャンバス、油彩	162.0×130.3
関頑亭	鯨	2001	脱活乾漆、銀箔	10.5×52.0×8.5
戸村茂樹	樹影習作 '90	1990	紙、木炭	50.3×66.0
戸村茂樹	樹影 VI	1990	紙、ドライポイント	21.8×22.0
戸村茂樹	樹影 VII	1990	紙、ドライポイント	21.8×22.0
岩沢喜作	烈寒の夜に飛ぶ鳥	1987	紙、木版	11.6×36.9
岩沢喜作	冬の海岸の枯木と鳥	1987	紙、木版	23.5×37.6
豊島弘尚	ロキとオーディン	1988	紙、岩絵具・ガッシュ・朱墨・墨・アクリル	62.0×92.5
豊島弘尚	輝くオーディンの槍	1988	紙、岩絵具・ガッシュ・朱墨・墨・アクリル	63.5×98.5
鷹山宇一	都会の花	不詳	キャンバス、油彩	41.0×32.2
鷹山宇一	平原の花	不詳	キャンバス、油彩	22.7×15.8
葛西四雄	北の漁村	不詳	キャンバス、油彩	31.8×41.0
池田恭三	いたこ (I)	1975	キャンバス、油彩	116.7×90.9
濱田晋作	掛合釉耳付花瓶	1990	陶器	径26.5、高26.5
東郷たまみ	ロマンス	不詳	キャンバス、油彩	41.0×32.0
月舘れい	スペインの燭台	1990	キャンバス、油彩	130.3×162.0
福勢喜一	十和田奥入瀬溪流を写生する 自画像	1991	キャンバス、油彩	45.5×37.9
久保田政子	権現様	1957	キャンバス、油彩	60.7×72.7
福勢喜一	椅子によりかかる女	不詳	キャンバス、油彩	90.0×72.7
岩織治	ためらい	不詳	キャンバス、油彩	116.7×90.9

サイズは平面作品は「縦×横」、立体作品は「高さ×幅×奥行き」の順に記載し、一部「径×高」で表記。

1. 展覧会+プロジェクト

企画展
展示室の冒険

6. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



手話通訳付きギャラリートーク



アーティストトーク



みんなでじっくり鑑賞ナビ

企画展
展示室の冒険

[illegible]

ポスター

チラシ (表)

[illegible]

チラシ (裏)

展示室の冒険

冒険の地図

裏面の出展リストと共に、
今いる場所の確認や記録に
お使いください。

奇妙な廊下

作品を一つ一つ見ている
と、おやおや？なんだかい
つもの展示室とはちよっと
違うようです。きっと展示
室の管理人のしわざです。

冒険の はじまり

冒険の心得

- 一、好奇心を持つ 知らないこと、分らないことを楽しもう。
 - 二、作品を大切にす 多くの人がこの先もずっと作品を鑑賞できるように。
 - 三、人を大切にす 作品を見ている人や作品をつくった人、また、自分の気持ちも大切にしよう。
- check!
- ・荷物や作品にぶつからないように身軽な格好で ・動くときはゆっくりと ・作品や壁に触らない
 - ・鉛筆を使う（シャープペンシルとペンは使わない） ・写真撮影はフラッシュオフで
 - ・SNSへのアップOK ・動画撮影は禁止 ・おしやべりOK ・飲食物と生花を持ち込まない

森のダンジョン

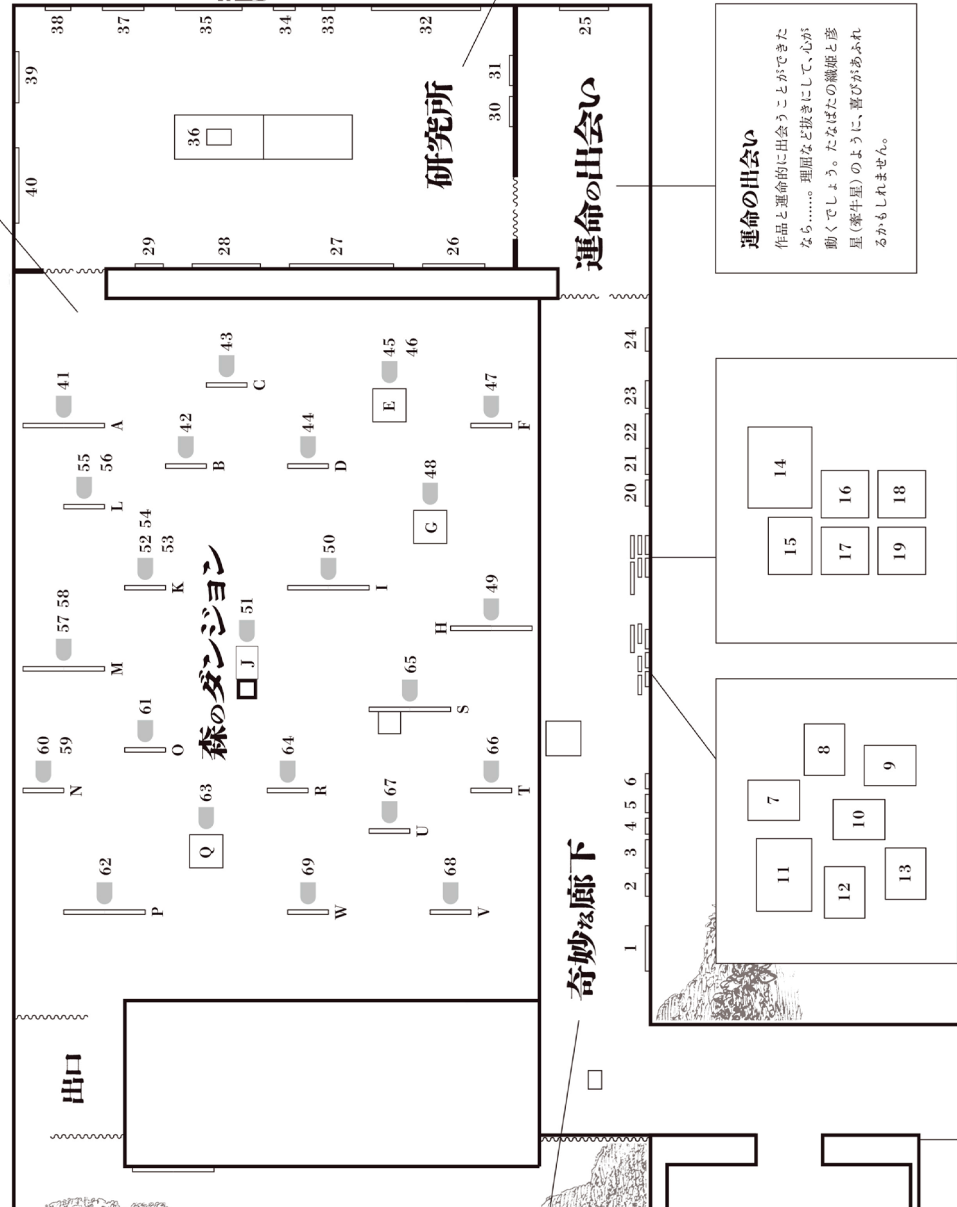
森のような迷宮。壁の表に作品が、裏に解説があります。
また、管理人が、お節介りにもあなたに合わせた作品をお
すすめたいようです。足元の選別版から好きな方を
選び、次に見る作品を決めてみましょう。もちろん、気
ままにさまよっても構いません。どんな順番で作品を
見るか、解説を読むか決まないう。自分で決めて、この
ダンジョンを攻略しましょう。

研究所

展示室の管理人が、美術作
品の鑑賞について研究して
いるようです。テーマに使っ
て、いろんな鑑賞を試して
みましょう。

運命の出会い

作品と運命的に出会うことができた
なら……… 理屈など抜きにして、心が
動くでしょう。たなばたの織姫と彦
星（牽牛星）のように、喜びがあふれ
るかもしれません。



展示室の冒険

会期 | 2024年4月20日(土)～6月24日(月) 主催 | 八戸市美術館
後援 | 八戸市教育委員会、青森県日放送、青森アレビ、青森放送、NHK青森放送局、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BoFM
担当学芸員 | 館原美恵、山田夢子 映像 | 神智 照明 | 藤原工、塚田直寛(株式会社北灯工舎) 会場構成 | 佐藤慎也
グラフィックデザイン | 三上真樹、花田静明(東北のデザイン社)

【凡例】すべて八戸市美術館収蔵。・寸法は、平面作品は「縦×横」、立体作品は「高さ×幅×奥行」の順に記載した。また、陶磁器は一部「径・高」で表記した。

出展リスト

No.	記号	作者	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
奇妙な廊下							
1	明山應義	1945 -	2006	旅する鳥たち ハバロフスクの原野	2001	キャンバス、油彩	80.3 × 116.7
2	大久保崇造	1936 -	2006	曲り家と	不詳	キャンバス、油彩	38.0 × 45.8
3	呉之真	1961 -	2017	葡萄	不詳	キャンバス、油彩	92.0 × 60.7
4	大久保崇造	1936 -	2006	桜桃と	不詳	キャンバス、油彩	22.2 × 27.4
5	呉之真	1961 -	2017	乾鳥	不詳	キャンバス、油彩	24.3 × 33.4
6	高野三男	1900 -	1979	泰山水	1975	キャンバス、油彩	15.5 × 22.6
7	時任亜矢子	1970 -		Calla Lily 3	2000	紙、シルクスクリーン	25.0 × 20.0
8	時任亜矢子	1970 -		Early morning - Lily	2000	紙、シルクスクリーン	20.0 × 25.0
9	時任亜矢子	1970 -		glass & flower 3	2002	紙、シルクスクリーン	25.0 × 20.0
10	時任亜矢子	1970 -		glass & tulips	2003	紙、シルクスクリーン	29.5 × 20.0
11	時任亜矢子	1970 -		Mid July (4)	2000	紙、シルクスクリーン	50.2 × 66.0
12	時任亜矢子	1970 -		April showers	2003	紙、シルクスクリーン	20.0 × 29.5
13	時任亜矢子	1970 -		Mid July - Lily	2000	紙、シルクスクリーン	20.0 × 25.0
14	戸村茂樹	1951 -		樹影習作 '91	1991	紙、木炭	50.3 × 66.0
15	戸村茂樹	1951 -		樹影 A	1991	紙、リトグラフ	30.0 × 45.0
16	戸村茂樹	1951 -		樹影 F	1991	紙、リトグラフ	30.0 × 30.0
17	戸村茂樹	1951 -		樹影 G	1991	紙、リトグラフ	30.0 × 30.0
18	戸村茂樹	1951 -		樹影 H	1992	紙、リトグラフ	30.0 × 30.0
19	戸村茂樹	1951 -		樹影 I	1992	紙、リトグラフ	30.0 × 30.0
20	笹島喜平	1906 -	1993	不動明王 No.73	1976	紙、木版	60.4 × 45.6
21	笹島喜平	1906 -	1993	不動明王 No.81	1979	紙、木版	60.3 × 45.3
22	和井田要	1911 -	1967	動	1964	キャンバス、油性塗料	73.5 × 91.0
23	和井田要	1911 -	1967	業	1955	キャンバス、油性塗料	100.0 × 73.0
24	豊島弘尚	1933 -	2013	曙のノア (ノアの黙示録より)	1990	キャンバス、油彩	37.9 × 45.5

運命の出会い

25	岩館千松	1916 -	1989	たなばた	1980	キャンバス、油彩	161.0 × 130.0
----	------	--------	------	------	------	----------	---------------

研究所

26	岩館千松	1916 -	1989	遠野物語	1975	キャンバス、油彩	130.5 × 163.5
27	明山應義	1945 -		母子F	1998	キャンバス、油彩	193.9 × 259.1
28	明山應義	1945 -		母子G	1998	キャンバス、油彩	130.3 × 162.1
29	明山應義	1945 -		ハバロフスクの少女	2000	キャンバス、油彩	72.7 × 60.6



会期 | 2024年4月20日(土)～6月24日(月) 主催 | 八戸市美術館
後援 | 八戸市教育委員会、青森県日放送、青森アレビ、青森放送、NHK青森放送局、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局BoFM
担当学芸員 | 館原美恵、山田夢子 映像 | 神智 照明 | 藤原工、塚田直寛(株式会社北灯工舎) 会場構成 | 佐藤慎也
グラフィックデザイン | 三上真樹、花田静明(東北のデザイン社)

【凡例】すべて八戸市美術館収蔵。・寸法は、平面作品は「縦×横」、立体作品は「高さ×幅×奥行」の順に記載した。また、陶磁器は一部「径・高」で表記した。

No.	記号	作者	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
30	久保田政子	1934 -		鳥 (赤)	1960	キャンバス、油彩	91.3 × 72.8
31	久保田政子	1934 -		鳥 (白)	1960	キャンバス、油彩	91.0 × 72.7
32	宇山博明	1913 -	1997	意川作品群 301	1976	キャンバス、油彩	132.0 × 294.0
33	豊島弘尚	1933 -	2013	頭部	1984	キャンバス、油彩	32.0 × 32.0
34	渡辺貞一	1917 -	1981	スベイン風景	1965	キャンバス、油彩	53.0 × 46.0
35	渡辺貞一	1917 -	1981	羅針儀の風景	1975	キャンバス、油彩	130.3 × 162.1
36	吉田三郎	1889 -	1962	緑陰	1961	ブロンズ	34.5 × 53.0 × 27.0
37	下村正二	1955 -		新緑の送ケ平	1989	キャンバス、油彩	60.6 × 91.0
38	戸狩公久	1941 -		雪の港 (冬物語)	1995	キャンバス、油彩	65.5 × 53.1
39	戸狩公久	1941 -		東北の港	1990	キャンバス、油彩	162.1 × 130.3
40	佐藤淳子	1941 -		粉雪のウィスコンシン	1994	キャンバス、油彩	130.3 × 193.9

森のダンジョン

41	A	下村正二	1955 -	流れる時の記念碑	1993	キャンバス、油彩	72.7 × 116.7
42	B	奈良岡正夫	1903 - 2004	続仔	不詳	キャンバス、油彩	37.9 × 45.5
43	C	加賀利孝	1941 - 2019	宴	1973	キャンバス、油彩	72.7 × 90.9
44	D	奈良岡正夫	1903 - 2004	静物	不詳	キャンバス、油彩	33.3 × 45.5
45	E	上田恒次	1914 - 1987	青磁水滴	不詳	磁器	径 10.2、高 4.3
46	E	上田恒次	1914 - 1987	繡上獅子蓋物	1970	陶器	18.5 × 18.0 × 9.5
47	F	名久井由蔵	1917 - 1979	水辺	不詳	板、油彩	21.0 × 27.2
48	G	濱田晋作	1929 - 2023	柿箱面取赤絵花瓶	1990	陶器	径 27.0、高 24.0
49	H	加賀利孝	1941 - 2019	マラガ港	不詳	キャンバス、油彩	72.7 × 91.0
50	I	岡山良一	1929 - 1998	るる	1965	キャンバス、油彩	162.0 × 130.3
51	J	関頭亨	1919 - 2020	鯨	2001	脱活乾漆、銀箔	10.5 × 52.0 × 8.5
52	K	戸村茂樹	1951 -	樹影習作 '90	1990	紙、木炭	50.3 × 66.0
53	K	戸村茂樹	1951 -	樹影 VI	1990	紙、ドライポイント	21.8 × 22.0
54	K	戸村茂樹	1951 -	樹影 VII	1990	紙、ドライポイント	21.8 × 22.0
55	L	岩沢喜作	1930 - 2003	烈寒の夜に飛ぶ鳥	1987	紙、木版	11.6 × 36.9
56	L	岩沢喜作	1930 - 2003	冬の海岸の枯木と鳥	1987	紙、木版	23.5 × 37.6
57	M	豊島弘尚	1933 - 2013	ロキとオーディン	1988	紙、岩絵具・ガッシュ・朱墨・墨・アクリル	62.0 × 92.5

58	M	豊島弘尚	1933 -	2013	唄くオーディンの唄	1988	紙、岩絵具・ガッシュ・朱墨・墨・アクリル	63.5 × 98.5
59	N	鷹山宇一	1908 -	1999	柳会の花	不詳	キャンバス、油彩	41.0 × 32.2
60	N	鷹山宇一	1908 -	1999	平原の花	不詳	キャンバス、油彩	22.7 × 15.8
61	O	葛西四雄	1925 -	1990	北の漁村	不詳	キャンバス、油彩	31.8 × 41.0
62	P	池田恭三	1929 -	2018	いたこ (I)	1975	キャンバス、油彩	116.7 × 90.9
63	Q	濱田晋作	1929 -	2023	掛合袖耳付花瓶	1990	陶器	径 26.5、高 26.5
64	R	東郷たまみ	1939 -	2016	ロマンス	不詳	キャンバス、油彩	41.0 × 32.0
65	S	月館れい	1921 -	2015	スベインの舞台	1990	キャンバス、油彩	130.3 × 162.0
66	T	福勢嘉一	1905 -	1996	十和田興入潮派流を写生する自画像	1991	キャンバス、油彩	45.5 × 37.9
67	U	久保田政子	1934 -		権現様	1957	キャンバス、油彩	60.7 × 72.7
68	V	福勢嘉一	1905 -	1996	椅子によりかかる女	不詳	キャンバス、油彩	90.0 × 72.7
69	W	岩織治	1929 -	1999	ためらい	不詳	キャンバス、油彩	116.7 × 90.9

風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画

1. 事業内容

1950年代～70年代に中学校教員の坂本小九郎の指導のもと、八戸市内の中学生が制作した当館所蔵の教育版画を、初期作品から集大成となる「虹の上をとぶ船」シリーズまで一堂に展示した。また、1950年代～90年代の「教育版画運動」に先駆けて、1930年代から始まった青森県内の版画家たちによる版画教育の実践や、「生活を見つめて表現する」という精神のもと1950年代～60年代に青森県内でつくられた教育版画も紹介した。

さらに、教育版画の精神を受け継ぎ、アーティストと子どもたちが制作した現代アート作品も展示。版画をルーツとするアーティストユニット「THE COPY TRAVELERS」の作品に加えて、令和5年度企画展『美しいHUG!』で、作曲家の井川丹が市内の小中高生とともに制作した音楽インсталレーションを再構成して展示した。

また、本展の関連プロジェクトとして、THE COPY TRAVELERSの指導のもと、市内の小学生が作品を制作するプロジェクトも実施し、制作した作品を展覧会で展示した。このほか、作品制作ワークショップやトークなどの関連イベントの開催だけでなく、作品への理解を深めることをねらいに、市内小中学校での出張授業も実施した。

2. 開催概要

会期 | 2024年10月12日（土）～2025年1月13日（月・祝）

開催日数 | 78日間

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ、ジャイアントルーム

観覧料 | 一般1,000円（800円）、大学・専門学校生500円（400円）、高校生以下無料

※（ ）は20名以上の団体料金

※八戸市内及び近隣町村（三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額

※民間駐車場利用の場合、運転手1名分について団体割引適用

※フリーパス「かおパス」 一般1,500円、大学・専門学校生750円

※11月3日（日）は無料観覧デー

主催 | 八戸市美術館、青森放送

後援 | 八戸市教育委員会、青森朝日放送、青森テレビ、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM

助成 | 芸術文化振興基金

入場者数 | 6,699人

図録 | B5、132頁

編集：高橋麻衣、田村由衣／**執筆**：町村悠香（町田市立国際版画美術館学芸員）、高橋麻衣、田村由衣／**デザイン**：牧野沙紀（homesickdesign）／**制作進行**：須川麻柚子（homesickdesign）／**印刷**：川口印刷工業株式会社／**発行日**：初版2024年10月31日（木）、第2版2025年3月31日（月）／**発行**：八戸市美術館

ポスター | B2、片面

チラシ | A4、2頁

ハンドアウト | A3、2頁（作品リスト）

デザイン：牧野沙紀（homesickdesign）

展示作家 | 浅沼弘、井川丹、上野誠、江渡益太郎、大田耕士、加藤武夫、川崎正人、ケーテ・コルヴィッツ、古元、今純三、THE COPY TRAVELERS、佐藤米次郎、下山木鉢郎、関野準一郎、八戸市立江陽中学校生徒、八戸市立鯨中学校生徒、八戸市立鯨中学校はまなすの会、八戸市立湊中学校養護学級生徒、八戸市立南浜中学校生徒、福井平内、棟方志功、山口晴温

会場構成 | 佐藤慎也

担当学芸員 | 高橋麻衣（展覧会）、田村由衣（プロジェクト）

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

風のなかを飛ぶ種子
青森の教育版画

3. 関連プロジェクト+イベント

・コピトラとつくる\ココハドコダ!?/パラレルシティ

開催日 | 2024年8月7日(水)～11日(日)

アーティスト | THE COPY TRAVELERS

会場 | 八戸市美術館

観覧料・参加料 | 無料

参加者数 | 5人

内容 | 公募で集まった小学生とアーティストユニット・THE COPY TRAVELERSによる作品制作プロジェクトを実施。作品は展覧会で展示。

・ワークショップ「コピトラとつくるアタラシイハンガ」

開催日 | 2024年10月12日(土) 10:30～15:30

講師 | THE COPY TRAVELERS

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 4人

内容 | コピー機の上に様々な素材を置いてコピーする「コピササイズ」で、コラージュ作品を制作。

・アーティストトーク「コピトラとつくるパラレルシティ」

開催日 | 2024年10月13日(日) 13:00～14:30

出演 | THE COPY TRAVELERS

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 21人

内容 | 子どもたちとのプロジェクトについて語るアーティストトーク。

・講演会「教育版画運動とは一かつて、みんな版画家だった」

開催日 | 2024年11月4日(月・祝) 14:00～15:30

会場 | スタジオ

講師 | 町村悠香(町田市立国際版画美術館学芸員)

参加料 | 無料

参加者数 | 33人

内容 | なぜ学校で版画を彫ることになったのか、教育版画運動の歴史から学ぶ講演会。

・八戸市美術館開館3周年特別企画「虹の上をとぶ船」学芸員トーク& haruka nakamura ピアノ・インスタレーション

開催日 | 2024年11月9日(土) 19:45～20:15

出演 | haruka nakamura(演奏)、高橋麻衣(トーク)

会場 | ホワイトキューブ

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 49人

内容 | 学芸員による作品解説と、作品から想起される音楽を即興で奏でる、青森県出身の音楽家・haruka nakamuraのピアノ演奏。

・ワークショップ「銅版画をつくろう」

開催日 | ①2024年11月9日(土)、②12月1日(日)

各日10:30～16:30

講師 | 安田真理子

会場 | スタジオ

参加料 | 1,000円

参加者数 | ①8人②11人

対象 | 中学生以上

内容 | 銅版画の制作技法である「ドライポイント」と「エッチング」の2種類の作品を制作。

・座談会「坂本先生を語る」

開催日 | 2024年11月17日(日) 14:00～15:30

出演 | 上野修、坂本勝利、桎谷伸夫

会場 | ワークショップルーム

参加料 | 無料

参加者数 | 41人

内容 | 坂本小九郎の教え子たちが当時について語るトークイベント。

・ギャラリートーク

開催日 | ①2024年10月27日(日)、②2025年1月11日(土) 各日11:00～12:00

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | ①4人②25人

内容 | 担当学芸員が展覧会を解説。

・ギャラリートーク・プラス

①手話通訳付きツアー

開催日 | 2024年11月23日(土) 14:00～15:00

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 10人

②八戸市国際交流員による英語ツアー

開催日 | 2024年12月14日(土) 14:00～15:00

ガイド | ジュンジ・ヤン(八戸市国際交流員)

参加料 | 要展覧会チケット

参加者数 | 13人

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

風のなかを飛ぶ種子
青森の教育版画

内容 | 担当学芸員とともに、手話通訳や英語通訳付きで展覧会を巡る。

・haruka nakamura「虹の上をとぶ船」映像作品上映会

日時 | 2024年12月16日(月)、2025年1月8日(水)～1月12日(日) 各日10:00～19:00

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

内容 | 青森県出身の音楽家・haruka nakamuraが「虹の上をとぶ船」にインスピレーションを受けて制作した楽曲の映像を上映。

・出張授業「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」

→詳細はP.76を参照。

4. 主なメディア掲載

新聞(連載) |

- ・東奥日報、高橋麻衣「教育版画の芽吹き～八戸市美術館企画展－上－／今純三が実践の「種」に」2024年11月26日
- ・東奥日報、高橋麻衣「教育版画の芽吹き～八戸市美術館企画展－中－／風土育んだひとつのつながり」2024年12月3日
- ・東奥日報、高橋麻衣「教育版画の芽吹き～八戸市美術館企画展－下－／受け継がれていく精神」2024年12月10日

新聞 |

- ・デーリー東北「児童とアーティストユニットが共同制作／思い思いの街、完成／市美術館でイベント」2024年8月20日
- ・東奥日報「コピー機で理想の一枚を フィギュア、毛糸など使用／児童が作品制作／市美術館がプロジェクト」2024年8月23日
- ・東奥日報「八戸市美術館 きょうから企画展／本県の教育版画一堂に」2024年10月12日
- ・デーリー東北「教育版画の歴史たどる／八戸市美術館で企画展／「風のなかを飛ぶ種子」／ジブリ劇中画モデルなど250点」2024年10月17日
- ・東奥日報「鷲田めるろのあおりアート探訪39／青森の教育版画／幻想性と文学的想像力」2024年11月8日
- ・新婦人しんぶん、高橋麻衣「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画 受け取るのは子どもたち」2024年11月30日
- ・朝日新聞「ブックコンコルジェ森佳正の青森

ウォッチング／ジブリ映画との違い 味わって／版画「星空をペガサスと牛が飛んでいく」2024年12月17日

- ・デーリー東北「教育版画の世界に触れて／市美術館、田面木小で出張授業」2024年12月21日
- ・河北新報「八戸市美術館 来月まで企画展／教育版画の歴史たどる」2024年12月27日
- ・東奥日報「八戸／教育版画から何を感じた？／市美術館 田面木小で出張授業」2024年12月28日

テレビ |

- ・NHK青森「展覧会 風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画(お知らせ)」2024年10月14日～2025年1月10日(不定期)
- ・NHK青森「あおりもりもり／青森で「教育版画」がつくられてきた背景に迫る」2024年11月30日
- ・八戸テレビ「カルチャースポット八戸#25」2024年11月29日、12月1日

ラジオ |

- ・NHK青森「展覧会 風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画(お知らせ)」2024年10月14日～2025年1月10日(不定期)
- ・NHK仙台「Nandary」2024年11月30日

雑誌 |

- ・いけ花龍生11月号「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」2024年11月1日
- ・季刊あおりのき第20号「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」2024年11月15日
- ・地域創造1月号「今月のレポート／八戸市美術館／風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」2024年12月25日

WEB |

- ・八戸経済新聞「八戸市美術館で教育版画の企画展 20年ぶりのシリーズ展示も」2024年10月15日 (<https://hachinohe.keizai.biz/headline/2250/>)
- ・artscape、田村由衣「キュレーターズノート／『種子』を受け取り、共に学ぶー『風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画』」2024年12月4日 (<https://artscape.jp/article/27412>)
- ・はちまち「種は風に運ばれ、時代を超える。『風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画』開催。」2024年12月5日 (https://8machi.com/products/artmuseum_9?srsId=AfmBOoqkbuDQG8_uXyIKLOTPjoY4JbVoAkQ7omWXRiy_ixal68Z73Uqx)

その他 |

- ・市民の意見(機関紙)、永田浩三「戦後80年」2025年2月1日
- ・crossing cafe、高橋麻衣「青森の版画教育のルーツをたどる」2025年3月1日

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

風のなかを飛ぶ種子
青森の教育版画

5. 開催の様子



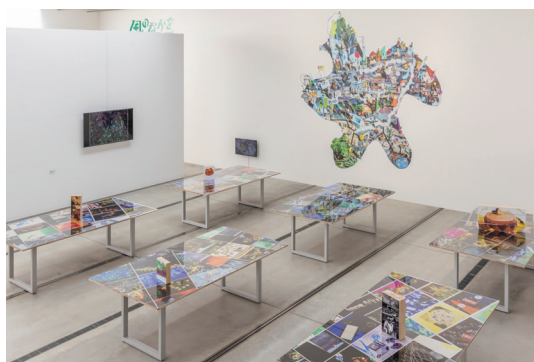
会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



プロジェクト



プロジェクト



プロジェクト



プロジェクト

1. 展覧会+プロジェクト

企画展

風のなかを飛ぶ種子
青森の教育版画



アーティストトーク



ピアノ・インスタレーション



座談会



ワークショップ（銅版画）



英語通訳付きギャラリーツアー

風のなかを飛ぶ種子



2024年10月12日(土)～2025年1月13日(月・祝)

・出品リスト番号はキャプション番号と一致します。また、出品リスト掲載順と展示順は必ずしも一致しません。
・リスト番号34、35、135、137は10月12日(土)～12月2日(月)、リスト番号36、136は12月4日(木)～1月13日(月・祝)の展示となります。リスト番号137は12月4日(木)～1月13日(月・祝)の期間は複製を展示します。

No.	作者	作品・資料名	版画集・シリーズ名	指導者／発行者	制作・発行年	技法・材質	寸法 (H×W×D/cm)	所蔵先
種の章								
01	今純三	測候所と八甲田			1930	リノカット、紙	15.8×36.0	青森県立郷土館
02	今純三	食事			1930	エッチング、紙	12.0×17.8	青森県立郷土館
03	今純三	専攻科の生徒たち			1932	石版、紙	20.8×12.2	青森県立郷土館
04	江渡益太郎	純三の家(1939年原画写生)			1978	多色木版、紙	28.0×54.0	青森県立郷土館
05	関野準一郎	今純三とそのアトリエ			1975	木版、紙	45.4×32.8	青森市
06	今純三	松尾鉱山精錬所			1938	エッチング、紙	28.0×49.4	青森県立郷土館
07	川崎正人	スケッチをする今純三先生			1937	エッチング、紙	12.0×9.0	青森県立郷土館
08	関野準一郎	タイトル不詳(砕氷場と馬車のある風景)			1937	エッチング、紙	40.5×54.5	青森県立郷土館
09	今純三	関野準一郎像			1935ごろ	石版、紙	12.2×11.0	青森県立郷土館
10	今純三	佐藤米次郎像			1936	石版、紙	6.9×5.3	青森県立郷土館
11	今純三	江渡益太郎像			制作年不詳	エッチング、紙	12.0×4.7	青森県立郷土館
12		アトリエ前の今純三と家族(複製)			1938撮影			青森県立郷土館
13		日本エッチング研究所所長西田武雄先生を囲むエッチング及び洋画の座談会(複製)			1935撮影			青森県立郷土館
14		青森本道中学校のエッチング講習会(複製)			1938撮影			青森県立郷土館
15	今純三	根城々趾より馬淵川眺望	『青森県画譜第1集』		1933	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
16	今純三	八戸市三日町、十三日町通り	『青森県画譜第3集』		1933	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
17	今純三	蕨島の海猫	『青森県画譜第2集』		1933	多色石版、紙	38.6×26.7	青森県立郷土館
18	今純三	種差海岸風景	『青森県画譜第11集』		1934	多色石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
19	今純三	県社三城神社	『青森県画譜第10集』		1934	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
20	今純三	櫛引八幡宮	『青森県画譜第11集』		1934	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
21	今純三	年中行事「えんぶり」	『青森県画譜第6集』		1934	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
22	今純三	漁村風景	『青森県画譜第11集』		1934	石版、紙	26.7×38.6	青森県立郷土館
23	今純三	(袋)	『エッチング小品集 26 八戸市のスケッチ』		1938	エッチング、紙	19.0×10.0	青森県立郷土館
23-1	今純三	白銀海岸(地蔵石付近)	『エッチング小品集 26 八戸市のスケッチ』		1938	エッチング、紙	4.4×12.2	青森県立郷土館
23-2	今純三	築港岸壁所見	『エッチング小品集 26 八戸市のスケッチ』		1938	エッチング、紙	6.0×10.5	青森県立郷土館
23-3	今純三	蕨島	『エッチング小品集 26 八戸市のスケッチ』		1938	エッチング、紙	4.7×12.0	青森県立郷土館
芽吹の章								
24	江渡益太郎	ひまわり			1972	多色木版、紙	41.5×37.6	八戸市美術館
25	下山木鉢郎	鮫港蕨島	『陸奥十二景』		1933	多色木版、紙	18.0×24.0	青森県立郷土館
26	下山木鉢郎	淋代放牧場	『陸奥十二景』		1933	多色木版、紙	18.0×24.0	青森県立郷土館
27	山口晴温	突き落とし(B)	『山のうた』		1960	木版、紙	31.5×40.5	青森市
28	関野準一郎	八戸港			1987	多色木版、紙	49.4×35.7	青森市
29	関野準一郎	奥入瀬溪流	『陸奥の四季』		1980	多色木版、紙	32.4×45.4	青森市
30	関野準一郎	岩木山	『陸奥の四季』		1976	多色木版、紙	33.0×46.0	八戸市美術館
31	佐藤米次郎	津軽獅子舞			1963	木版、紙	44.0×59.4	青森県立郷土館
32	加藤武夫	機関区			1948	木版、紙	22.5×29.5	青森県立郷土館
33	加藤武夫	ムダイ			1952	多色木版、紙	35.0×45.0	青森県立郷土館
34	上野誠 ※	男	『ヒロシマ三部作』		1959	木凹版、紙	51.0×32.0	町田市立国際版画美術館
35	上野誠 ※	女	『ヒロシマ三部作』		1959	木凹版、紙	51.0×32.0	町田市立国際版画美術館
36	上野誠 ※	はと	『ヒロシマ三部作』		1959	木凹版、紙	43.0×32.0	町田市立国際版画美術館
37	八戸市立小中野小学校 5年	スケート	『八戸市内小学校児童版画集 第一集』	指導：伊藤二子	1953	木版、紙	10.4×15.2	五所川原市教育委員会
38	八戸市立小中野小学校 5年	先生	『八戸市内小学校児童版画集 第一集』	指導：伊藤二子	1953	木版、紙	15.2×10.7	五所川原市教育委員会
39	八戸市立小中野小学校 4年	ともちゃん	『八戸市内小学校児童版画集 第二集』	指導：伊藤二子	1953	木版、紙	15.0×12.2	五所川原市教育委員会
40	上野誠	『生活版画』		明治図書出版	1956		24.0×18.5	町田市立国際版画美術館
41	八戸地方図画科研究会編	『八戸市内小学校児童版画集 第一集』			1953		23.8×18.0	五所川原市教育委員会
42	大田耕士	『版画をつくる子供たち』		大蔵出版	1955		21.5×15.6	那須歴史探訪館寄託
43	無着成恭	『山びこ学校—山形県山元村中学校生徒の生活記録』		青銅社	1951		18.4×13.0	個人蔵
44		『美しい暮らしの手帖』第1世紀14号		暮らしの手帖社	1951		25.5×18.0	個人蔵
45	平舘村立石浜中学校 3年	『つくし』		指導：福井平内	1953	木版、謄写版、紙	25.7×18.4	五所川原市教育委員会
46	平舘村立平舘小学校 3年	『はまべの子』No.1		指導：福井平内	1953	木版、謄写版、紙	18.0×26.0	五所川原市教育委員会
47	十二里村立十二里中学校生徒	『いろりばた』第三号		指導：清野利保	1953ごろ	木版、謄写版、紙	26.5×18.7	五所川原市教育委員会
48	平舘村立石浜中学校 2年	『海峡』第五集		指導：田中正太郎	1955	木版、謄写版、紙	26.5×18.9	五所川原市教育委員会
49	鯉ヶ沢町立西海小学校 6年A組	学級文集『貨物列車』3号		指導：小杉肇	1954	木版、謄写版、紙	26.0×18.0	五所川原市教育委員会
50	平舘村立平舘小学校 6年1組	『ぼくらのはんが』			制作年不詳	木版、謄写版、紙	26.5×18.7	五所川原市教育委員会
51	藤崎町立藤崎中学校 1年A組	学級文集『ともだち』		指導：清野利保	1954	木版、謄写版、紙	26.0×18.0	五所川原市教育委員会
52	車力村立富落小学校生徒	『友』		指導：工藤智英	1955	木版、謄写版、紙	26.5×18.0	五所川原市教育委員会
53	黒石町立黒石小学校生徒	『みつばちの子』12号		指導：鈴木喜代春	1952	木版、謄写版、紙	25.7×18.4	五所川原市教育委員会
54	黒石町立黒石小学校生徒	『みつばちの子』13号		指導：鈴木喜代春	1953	木版、謄写版、紙	25.7×18.4	五所川原市教育委員会
55	黒石町立黒石小学校 6年5組	『みつばちの子』15号		指導：鈴木喜代春	1953	木版、謄写版、紙	25.7×18.4	五所川原市教育委員会
56	黒石町立黒石小学校生徒	『みつばちの子』17号		指導：鈴木喜代春	1954ごろ	木版、謄写版、紙	25.7×18.5	五所川原市教育委員会
57	大田耕士編	『版画の教室—生活版画の手引き—』		青銅社	1952		18.3×13.2	那須歴史探訪館寄託
58	下中弥三郎編	『綴方風土記第二巻・東北編』		平凡社	1952		26.0×19.0	個人蔵
59	黒石町立黒石小学校 6年	岩木山		指導：鈴木喜代春	1952	木版、紙	11.7×14.0	五所川原市教育委員会
60	黒石町立黒石小学校 6年	ふくろかけ		指導：鈴木喜代春	1952	木版、紙	10.7×10.2	五所川原市教育委員会
61-1	鯉ヶ沢町西海小学校 6年	漁港の一日(表紙)	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	12.5×15.5	五所川原市教育委員会
61-2	鯉ヶ沢町西海小学校 6年	出港準備	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.0×14.2	五所川原市教育委員会
61-3	鯉ヶ沢町西海小学校 6年	船下げ	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	10.4×14.8	五所川原市教育委員会

ハンドアウト(1面)

61-4	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	出港	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.0 × 14.0	五所川原市教育委員会
61-5	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	見送る人々	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	10.3 × 14.7	五所川原市教育委員会
61-6	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	昼食	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.0 × 13.8	五所川原市教育委員会
61-7	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	出港の後	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.1 × 13.8	五所川原市教育委員会
61-8	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	のべなわはえ	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	8.7 × 14.0	五所川原市教育委員会
61-9	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	船押す	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	14.2 × 9.1	五所川原市教育委員会
61-10	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	帰港	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.0 × 14.1	五所川原市教育委員会
61-11	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	魚あげ	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.5 × 13.8	五所川原市教育委員会
61-12	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	目方をはかる	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	8.7 × 13.6	五所川原市教育委員会
61-13	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	魚の整理	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	8.9 × 14.2	五所川原市教育委員会
61-14	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	家へ帰る漁夫	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.5 × 14.2	五所川原市教育委員会
61-15	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	魚揚げ	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	9.0 × 14.0	五所川原市教育委員会
61-16	鯉ヶ沢町西海小学校 6 年	魚をつむ	『漁港の一日』	指導：中村久造	1956	木版、紙	8.8 × 14.2	五所川原市教育委員会
62	車力村立富海中学校 3 年	山から木を切って帰ってくる人	『漁港の一日』	指導：嶋祐三	1954	木版、紙	17.0 × 20.0	五所川原市教育委員会
63	平館村立石浜中学校 3 年	友だち		指導：田中正太郎	1956	木版、紙	33.0 × 23.8	五所川原市教育委員会
64	野辺地町立野辺地中学校 3 年	サイロの見える風景	木村鉄男版画集 「らくのう地帯」	指導：杉山久男	1956	ゴム版、紙	36.0 × 48.0	五所川原市教育委員会
65	佐井村立佐井小学校川目分校 1 年	りんご畑を通る汽車		指導：沢田温子	1960	紙	39.4 × 54.8	五所川原市教育委員会
66	青森市立真町小学校 5 年	ボール送り		指導：日下部道子	1967	木版、紙	45.0 × 22.5	五所川原市教育委員会
67	南郷村立中沢中学校 2 年	たばこあみ		指導：横島茂	1968	木版、紙	53.1 × 39.5	五所川原市教育委員会
68	江渡益太郎	りんご樹 (A)			1956	木版、紙	42.5 × 57.0	青森県立郷土館
69	江渡益太郎	りんご樹 (B)			1956	木版、紙	42.5 × 57.0	青森県立郷土館
70	倉石村立石沢小学校 5 年	林		指導：江渡益太郎	1955	木版、紙	36.1 × 25.7	五所川原市教育委員会
71	倉石村立石沢小学校 5 年	乳しぼり		指導：江渡益太郎	1956	木版、紙	23.0 × 30.2	五所川原市教育委員会
72		『はんが』 No.23		日本教育版画協会	1955.5		18.0 × 18.2	五所川原市教育委員会
254		『はんが』 特別号 No.8		日本教育版画協会	1956.8		20.9 × 14.9	五所川原市教育委員会
73	大田耕士	『版画をつくる子供たち』		電南書房	1956		18.0 × 10.8	個人蔵
74	倉石村立石沢小学校 5 年	夜汽車		指導：江渡益太郎	1955	紙	19.0 × 27.5	五所川原市教育委員会
75	倉石村立石沢小学校 5 年	馬洗い		指導：江渡益太郎	1955	紙	27.0 × 39.4	五所川原市教育委員会
76	倉石村立石沢小学校 5.6 年	連絡船		指導：江渡益太郎	1956	木版、紙	72.0 × 102.0	五所川原市教育委員会
77	平館村立平館小学校 3 年	舟と子供		指導：福井平内	1954	紙	25.7 × 36.5	五所川原市教育委員会
78	福井平内	平館灯台			1985	木版、紙	59.0 × 44.5	青森市
79	田子町立上郷中学校 3 年	父はいつでも働いている (1)		指導：浅沼弘	1959 ごろ	ドライポイント、紙	14.1 × 24.1	五所川原市教育委員会
80	田子町立上郷中学校 3 年	父はいつでも働いている (2)		指導：浅沼弘	1959 ごろ	ドライポイント、紙	18.2 × 27.1	五所川原市教育委員会
81	田子町立上郷中学校 3 年	父はいつでも働いている (3)		指導：浅沼弘	1959 ごろ	ドライポイント、紙	18.2 × 27.0	五所川原市教育委員会
82	田子町立上郷中学校 3 年	父はいつでも働いている (4)		指導：浅沼弘	1959 ごろ	ドライポイント、紙	18.2 × 26.8	五所川原市教育委員会
83	浅沼弘	はちのへ 1			1977	メゾチント、紙	59.5 × 36.0	八戸市美術館
84	野内村立野内中学校版画クラブ	私たちの村		指導：田中正太郎	1957	木版、紙	100.0 × 200.0	五所川原市教育委員会
85	棟方志功	大観自在頌の欄			1974	木版、彩色、紙	26.0 × 49.2	八戸市美術館
86	大田耕士	年賀はがき			1972		14.8 × 10.0	個人蔵
87		第 18 回全国版画教育研究大会資料		日本教育版画協会	1972		25.6 × 18.2	五所川原市教育委員会
開花の章								
88	八戸市立鯉中学校版画グループ	漁港 (表紙)	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	22.8 × 30.6	八戸市美術館
89	八戸市立鯉中学校版画グループ	漁夫	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	23.0 × 30.7	八戸市美術館
90	八戸市立鯉中学校版画グループ	朝の市場	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	22.8 × 31.0	八戸市美術館
91	八戸市立鯉中学校版画グループ	鉄道び	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	22.7 × 29.7	八戸市美術館
92	八戸市立鯉中学校版画グループ	北洋から帰った船	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	22.8 × 31.3	八戸市美術館
93	八戸市立鯉中学校版画グループ	風の日のドック	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	木版、紙	23.0 × 30.6	八戸市美術館
94	八戸市立鯉中学校版画グループ	あみをひく人	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	15.7 × 11.5	八戸市美術館
95	八戸市立鯉中学校版画グループ	かぜあみ	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	11.1 × 16.8	八戸市美術館
96	八戸市立鯉中学校版画グループ	流木をひろう人	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	10.9 × 16.8	八戸市美術館
97	八戸市立鯉中学校版画グループ	北の海からつれてこられたオットセイ	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	11.2 × 15.9	八戸市美術館
98	八戸市立鯉中学校版画グループ	いかほし	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	11.3 × 16.8	八戸市美術館
99	八戸市立鯉中学校版画グループ	漁夫の顔	『漁港』	指導：坂本小九郎	1957	ドライポイント、紙	16.1 × 11.1	八戸市美術館
100	八戸市立鯉中学校版画グループ	漁夫の顔		指導：坂本小九郎	1958	ドライポイント、紙	17.9 × 12.4	八戸市美術館
101	八戸市立鯉中学校版画グループ	三人の漁夫		指導：坂本小九郎	制作年不詳	ドライポイント、紙	18.0 × 12.7	八戸市美術館
102	八戸市立鯉中学校版画グループ	漁夫の話をきく少年 (表紙)	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	45.4 × 30.8	八戸市美術館
103	八戸市立鯉中学校版画グループ	怒る漁夫たち	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	31.0 × 45.5	八戸市美術館
104	八戸市立鯉中学校版画グループ	見送る母と子	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	30.3 × 45.7	八戸市美術館
105	八戸市立鯉中学校版画グループ	叫ぶ漁夫	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	30.4 × 45.9	八戸市美術館
106	八戸市立鯉中学校版画グループ	海の犠牲者	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	29.7 × 45.8	八戸市美術館
107	八戸市立鯉中学校版画グループ	海底の目	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	31.1 × 45.5	八戸市美術館
108	八戸市立鯉中学校版画グループ	船ゆうれい	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	30.3 × 46.0	八戸市美術館
109	八戸市立鯉中学校版画グループ	鯨会社をおそう漁夫たち	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	45.3 × 30.7	八戸市美術館
110	八戸市立鯉中学校版画グループ	海を流れてきた仏像	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	木版、紙	46.0 × 30.4	八戸市美術館
111	八戸市立鯉中学校版画グループ	アンコウの口から人の骨が出る (表紙)	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	ドライポイント、紙	24.9 × 17.7	八戸市美術館
112	八戸市立鯉中学校版画グループ	浜の女達	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	ドライポイント、紙	25.0 × 17.8	八戸市美術館
113	八戸市立鯉中学校版画グループ	船主と漁夫達	『海の物語』	指導：坂本小九郎	1958	ドライポイント、紙	17.6 × 25.1	八戸市美術館
114	八戸市立鯉中学校版画グループ	タイトル不詳	『海の怪奇』	指導：坂本小九郎	1960	ドライポイント、紙	24.9 × 17.7	八戸市美術館
115	八戸市立鯉中学校版画グループ	船ゆうれい	『海の怪奇』	指導：坂本小九郎	1960	ドライポイント、紙	24.8 × 17.8	八戸市美術館
116	八戸市立鯉中学校版画グループ	タイトル不詳	『海の怪奇』	指導：坂本小九郎	1960	ドライポイント、紙	17.7 × 24.9	八戸市美術館
117	八戸市立鯉中学校版画グループ	タイトル不詳	『海の怪奇』	指導：坂本小九郎	1960	ドライポイント、紙	25.0 × 17.9	八戸市美術館
118	八戸市立鯉中学校版画グループ	あとに残された者	『海の怪奇』	指導：坂本小九郎	1960	ドライポイント、紙	24.7 × 17.8	八戸市美術館
119	八戸市立鯉中学校 1 年 C 組	鯨の背で火をたいた漁夫ははねとばされた		指導：坂本小九郎	1959	ドライポイント、紙	62.0 × 53.0	五所川原市教育委員会
120	八戸市立鯉中学校版画グループ	本版画集「漁港」		指導：坂本小九郎	1957		38.1 × 28.9	五所川原市教育委員会
121	八戸市立鯉中学校版画グループ	坂本勝利版画集『めんよう』		指導：坂本小九郎	1959		37.8 × 27.3	五所川原市教育委員会
253		『はんが』 新 6 号		日本教育版画協会	1996.12		25.7 × 18.2	五所川原市教育委員会
122	八戸市立鯉中学校版画グループ	個人版画集『自画像からうたう仲間たち』		指導：坂本小九郎	1961		38.1 × 27.4	五所川原市教育委員会
123	八戸市立鯉中学校版画グループ	めんよう小屋の手入れ	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	22.5 × 15.2	五所川原市教育委員会
124	八戸市立鯉中学校版画グループ	草を食べさせる	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	22.5 × 15.2	五所川原市教育委員会
125	八戸市立鯉中学校版画グループ	めんようの親子と私	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	22.5 × 15.2	五所川原市教育委員会
126	八戸市立鯉中学校版画グループ	帰り道	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	22.5 × 15.2	五所川原市教育委員会
127	八戸市立鯉中学校版画グループ	草刈り	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	15.2 × 22.5	五所川原市教育委員会
128	八戸市立鯉中学校版画グループ	毛をかる	『めんよう』	指導：坂本小九郎	1959	木版、紙	22.5 × 15.2	五所川原市教育委員会

129	八戸市立鯉中学校版画グループ	自画像	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	24.8×15.2	八戸市美術館
130	八戸市立鯉中学校版画グループ	わかめを干す老婆	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	23.0×15.2	八戸市美術館
131	八戸市立鯉中学校版画グループ	タイトル不詳	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	15.3×22.6	八戸市美術館
132	八戸市立鯉中学校版画グループ	水を汲む少年	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	22.8×15.7	八戸市美術館
133	八戸市立鯉中学校版画グループ	夕焼け	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	22.5×15.4	八戸市美術館
134	八戸市立鯉中学校版画グループ	うたう仲間たち	『自画像からうたう仲間たち』	指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	15.0×22.8	八戸市美術館
135	古元 ※	北京労働人民文化宮			1951	木版、紙	13.0×14.5	町田市立国際版画美術館
136	古元 ※	鞍山鋼鉄廠の修復			1949	木版、紙	14.7×13.0	町田市立国際版画美術館
137	ケーテ・コルヴィッツ ※	鎌を研ぐ	『農民戦争』第3葉		1905	エッチング、ソフトグラ ンド・エッチング、紙	29.7×29.7	町田市立国際版画美術館
138	魯迅編	ケーテ・コルヴィッツ版画選集（復刻版）			1981（初版： 1936）		44.5×30.0	町田市立国際版画美術館
139	八戸市立鯉中学校はまなすの会	下駄のはなををなす老婆と孫		指導：坂本小九郎	1961	木版、紙	16.8×22.9	八戸市美術館
140	八戸市立鯉中学校はまなすの会	タイトル不詳		指導：坂本小九郎	1963 ごろ	木版、紙	22.7×30.5	八戸市美術館
141	八戸市立鯉中学校はまなすの会	不安		指導：坂本小九郎	1963 ごろ	木版、紙	30.2×22.5	八戸市美術館
142	八戸市立鯉中学校はまなすの会	車窓		指導：坂本小九郎	1963 ごろ	木版、紙	15.0×22.5	八戸市美術館
143	八戸市立鯉中学校はまなすの会	セメントをはこぶ人		指導：坂本小九郎	1963 ごろ	木版、紙	31.0×23.0	八戸市美術館
144	八戸市立鯉中学校はまなすの会	子どもを守る母		指導：坂本小九郎	1963 ごろ	木版、紙	30.0×22.7	八戸市美術館
145	八戸市立鯉中学校はまなすの会	ドックの船と	『うみねこのうた』第3集	指導：坂本小九郎	1962	木版、紙	22.7×15.1	八戸市美術館
146	八戸市立鯉中学校はまなすの会	飛ぶ	『うみねこのうた』	指導：坂本小九郎	1962 ごろ	木版、紙	23.0×15.2	八戸市美術館
147	八戸市立鯉中学校はまなすの会	ひなと親鳥	『うみねこのうた』	指導：坂本小九郎	1962 ごろ	木版、紙	23.5×15.0	八戸市美術館
148	八戸市立鯉中学校はまなすの会	ひなたち	『うみねこのうた』第3集	指導：坂本小九郎	1962	木版、紙	22.8×14.9	八戸市美術館
149	八戸市立鯉中学校はまなすの会	すをつくる	『うみねこのうた』	指導：坂本小九郎	1962 ごろ	木版、紙	15.1×22.6	八戸市美術館
150	八戸市立鯉中学校はまなすの会	うみねこの死	『うみねこのうた』第3集	指導：坂本小九郎	1962	木版、紙	14.7×22.5	八戸市美術館
151	八戸市立鯉中学校はまなすの会	さげぼ	『うみねこのうた』第3集	指導：坂本小九郎	1962	木版、紙	22.5×15.0	八戸市美術館
152	八戸市立鯉中学校はまなすの会	きぼろ	『うみねこのうた』	指導：坂本小九郎	1962 ごろ	木版、紙	15.2×22.6	八戸市美術館
153	八戸市立鯉中学校はまなすの会	『うみねこのうた』第3集		指導：坂本小九郎	1962		35.5×25.9	五所川原市教育委員会
154	いぬいとみこ	うみねこの空		理論社	1966		23.2×16.2	個人蔵
155	八戸市立南浜中学校 1年	うみうのくちばし	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	15.2×22.3	八戸市美術館
156	八戸市立南浜中学校 1年	うみうのあし	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	14.0×23.2	八戸市美術館
157	八戸市立南浜中学校 1年	波の上をとぶ	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	15.2×22.3	八戸市美術館
158	八戸市立南浜中学校 1年	波とどう人	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	14.9×22.3	八戸市美術館
159	八戸市立南浜中学校 1年	とびたつ	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	14.8×23.9	八戸市美術館
160	八戸市立南浜中学校 1年	月夜のうみう	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	15.0×24.0	八戸市美術館
161	八戸市立南浜中学校 1年	はねをそろえる	『うみうの物語』	指導：坂本小九郎	1964	木版、紙	22.5×15.3	八戸市美術館
162	八戸美術教育の会	『はまばうふう』No.1			1964	木版、謄写版、紙	26.4×18.4	五所川原市教育委員会
163	八戸市立鯉小学校 1年	三びきの子ぶた（表紙）		指導：阿部幹	1964	紙	30.5×37.5	五所川原市教育委員会
164	八戸市立江陽中学校生徒	ドックの船		指導：坂本小九郎	1969	木版、紙	45.8×30.2	八戸市美術館
165	八戸市立江陽中学校生徒	スマリウと舵		指導：坂本小九郎	1969	木版、紙	30.2×45.3	八戸市美術館
166	八戸市立江陽中学校生徒	ドックの船		指導：坂本小九郎	1969	木版、紙	45.6×30.3	八戸市美術館
167	八戸市立江陽中学校生徒	竜骨		指導：坂本小九郎	1969	木版、紙	30.3×45.2	八戸市美術館
168	八戸市立湊中学校養護学級生徒	船の一生 表紙	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.2×45.7	八戸市美術館
169	八戸市立湊中学校養護学級生徒	進水式	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	45.2×29.9	八戸市美術館
170	八戸市立湊中学校養護学級生徒	魚をたくさんとって	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.3×45.0	八戸市美術館
171	八戸市立湊中学校養護学級生徒	嵐と船	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.1×45.3	八戸市美術館
172	八戸市立湊中学校養護学級生徒	月と船と島	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.8×45.4	八戸市美術館
173	八戸市立湊中学校養護学級生徒	港にかえる	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.4×45.6	八戸市美術館
174	八戸市立湊中学校養護学級生徒	海ほづろ	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.4×45.5	八戸市美術館
175	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鯨のしっぽ	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.5×45.3	八戸市美術館
176	八戸市立湊中学校養護学級生徒	SOS	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	30.0×45.4	八戸市美術館
177	八戸市立湊中学校養護学級生徒	船の死	『船の一生』	指導：坂本小九郎	1972	木版、紙	45.5×30.5	八戸市美術館
178	八戸市立湊中学校養護学級生徒	大波のなかをすむ船（表紙）	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.4×46.4	八戸市美術館
179	八戸市立湊中学校養護学級生徒	灯台の光を見ながら	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	46.6×31.7	八戸市美術館
180	八戸市立湊中学校養護学級生徒	夜明けと船	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	30.7×46.4	八戸市美術館
181	八戸市立湊中学校養護学級生徒	うみねこと船団	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.6×46.3	八戸市美術館
182	八戸市立湊中学校養護学級生徒	イカつりのいさり火	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.4×46.8	八戸市美術館
183	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鯨ができて話をする	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.0×46.3	八戸市美術館
184	八戸市立湊中学校養護学級生徒	魚市場で	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.4×45.3	八戸市美術館
185	八戸市立湊中学校養護学級生徒	空いめんにうみねこの大群	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.3×46.4	八戸市美術館
186	八戸市立湊中学校養護学級生徒	あめ、鯨の背なかに	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.0×46.4	八戸市美術館
187	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鯨の尾ではねとばされる	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	46.4×31.6	八戸市美術館
188	八戸市立湊中学校養護学級生徒	おこった鯨は船をのみこむ	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.4×46.2	八戸市美術館
189	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鯨の腹のなかを旅する	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.2×47.1	八戸市美術館
190	八戸市立湊中学校養護学級生徒	そこには宇宙があった	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	46.3×31.4	八戸市美術館
191	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鯨のはなの穴から吹きあげられる	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	46.3×31.3	八戸市美術館
192	八戸市立湊中学校養護学級生徒	ふたたび太陽にあった	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	32.2×46.4	八戸市美術館
193	八戸市立湊中学校養護学級生徒	太陽のコロナのうでに	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	46.4×31.2	八戸市美術館
194	八戸市立湊中学校養護学級生徒	流れ星のようにおちる船	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.4×46.6	八戸市美術館
195	八戸市立湊中学校養護学級生徒	大うずまきにすくいこまれる	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.0×46.4	八戸市美術館
196	八戸市立湊中学校養護学級生徒	浜辺に流れついた船	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	30.9×46.1	八戸市美術館
197	八戸市立湊中学校養護学級生徒	虹にむかって船はとび立つた	『虹の上をとぶ船』	指導：坂本小九郎	1973	木版、紙	31.2×47.0	八戸市美術館
198	八戸市立湊中学校養護学級生徒	虹の上をとんだ船はどんなことであつたか （表紙）	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.5×31.2	八戸市美術館
199	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鳥の群れといっしょにとぶ	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.2×46.5	八戸市美術館
200	八戸市立湊中学校養護学級生徒	木は枯れ鳥は死ぬ	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.8×31.4	八戸市美術館
201	八戸市立湊中学校養護学級生徒	広島原爆ドームが見える	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.6×31.8	八戸市美術館
202	八戸市立湊中学校養護学級生徒	長崎の教会の彫刻	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.6×46.7	八戸市美術館
203	八戸市立湊中学校養護学級生徒	死の灰をかぶった第五福竜丸	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	32.0×46.4	八戸市美術館
204	八戸市立湊中学校養護学級生徒	原子力船「むつ」と漁船たち	『虹の上をとんだ船はどんなこと であつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.4×46.4	八戸市美術館

ハンドアウト（3面）

205	八戸市立湊中学校養護学級生徒	水爆の実験	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.2×31.3	八戸市美術館
206	八戸市立湊中学校養護学級生徒	戦争で死んだ人びとの骸骨	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.6×46.5	八戸市美術館
207	八戸市立湊中学校養護学級生徒	美しい夕やけの空を船はとんでいく	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.2×46.2	八戸市美術館
208	八戸市立湊中学校養護学級生徒	カニ座、ウミヘビ座、サソリ座のちかくをとる船	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.2×31.4	八戸市美術館
209	八戸市立湊中学校養護学級生徒	ほろびた星	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.4×46.5	八戸市美術館
210	八戸市立湊中学校養護学級生徒	溶岩のなかをすすむ船	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.5×31.3	八戸市美術館
211	八戸市立湊中学校養護学級生徒	鳥と船は地球へむかう	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.4×46.4	八戸市美術館
212	八戸市立湊中学校養護学級生徒	想像できないこと	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	31.4×46.4	八戸市美術館
213	八戸市立湊中学校養護学級生徒	花園になった地球	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	46.8×31.4	八戸市美術館
214	八戸市立湊中学校養護学級生徒	馬や牛たちもよろこびました	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	30.0×45.0	八戸市美術館
215	八戸市立湊中学校養護学級生徒	ダンス	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	30.0×45.0	八戸市美術館
216	八戸市立湊中学校養護学級生徒	サソリのあいさつ	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	30.0×45.0	八戸市美術館
217	八戸市立湊中学校養護学級生徒	たのしそうな魚市場	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	30.0×45.0	八戸市美術館
218	八戸市立湊中学校養護学級生徒	船に乗るお父さん	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	45.0×30.0	八戸市美術館
219	八戸市立湊中学校養護学級生徒	見まもる星座	『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』	指導：坂本小九郎	1974	木版、紙	45.0×30.0	八戸市美術館
220	八戸市立湊中学校養護学級生徒	魚が小さくなった	『とぶ船』	指導：坂本小九郎	1977 ごろ	ドライポイント、紙	35.7×47.4	八戸市美術館
221	八戸市立湊中学校養護学級生徒	ゾウとニョロニョロのお化け	『とぶ船』	指導：坂本小九郎	1977 ごろ	ドライポイント、紙	35.3×47.4	八戸市美術館
222	八戸市立湊中学校養護学級生徒	馬たちと空中の果物屋さん	『とぶ船』	指導：坂本小九郎	1977 ごろ	ドライポイント、紙	35.2×47.2	八戸市美術館
223	八戸市立湊中学校養護学級生徒	ダイダロスとイカロスとイカとサソリのあそび	『とぶ船』	指導：坂本小九郎	1977 ごろ	ドライポイント、紙	35.3×47.3	八戸市美術館
224	八戸市立湊中学校養護学級生徒	火山島の噴火と天使たち	『とぶ船』	指導：坂本小九郎	1977 ごろ	ドライポイント、紙	47.2×35.2	八戸市美術館
225	八戸市立湊中学校養護学級生徒	大島に乗って星空を飛ぶ子ども	『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ』	指導：坂本小九郎	1975	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
226	八戸市立湊中学校養護学級生徒	太陽にむかって飛ぶ鳥の群	『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ』	指導：坂本小九郎	1975	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
227	八戸市立湊中学校養護学級生徒	三つの太陽	『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ』	指導：坂本小九郎	1975	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
228	八戸市立湊中学校養護学級生徒	海辺の森と花	『虹の上をとぶ船総集編Ⅰ』	指導：坂本小九郎	1975	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
229	八戸市立湊中学校養護学級生徒	海神が現れる	『虹の上をとぶ船総集編Ⅱ』	指導：坂本小九郎	1976	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
230	八戸市立湊中学校養護学級生徒	サソリと白い鳥の争い	『虹の上をとぶ船総集編Ⅱ』	指導：坂本小九郎	1976	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
231	八戸市立湊中学校養護学級生徒	星空をベガスと牛が飛んでいく	『虹の上をとぶ船総集編Ⅱ』	指導：坂本小九郎	1976	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
232	八戸市立湊中学校養護学級生徒	花の太陽から花が降る	『虹の上をとぶ船総集編Ⅱ』	指導：坂本小九郎	1976	木版、紙	91.0×182.0	八戸市美術館
233	八戸市立湊中学校養護学級生徒	虹の上をとぶ船完結編		指導：坂本小九郎	1977	木版、紙	200.0×400.0	青森県立郷土館
255	八戸市湊中学校養護学級生徒	「船の一生」『虹の上をとぶ船』『虹の上をとんだ船はどんなことにであつたか』作品画像			2024	スライドショー	9 分 52 秒	八戸市美術館

風の章

235	大田耕士	エゲル			制作年不詳	木版、紙	69.0×52.5	那須歴史探訪館寄託
236	大田耕士	風俗 1939 年	菊岡久利「見える天使」口絵	大観堂	1940	エッチング、紙	8.9×6.0	個人蔵
237	読売新聞社編	版画のくに		あかね書房	1954		18.6×17.4	那須歴史探訪館寄託
238	大田耕士	たのしい版画			1954		21.5×15.7	那須歴史探訪館寄託
239	関野準一郎	大田耕士宛はがき			1984		14.8×10.0	那須歴史探訪館寄託
240		大田耕士写真			1996 ごろ			那須歴史探訪館寄託
241		坂本小九郎と大田耕士（複製）	『東北の子ども版画』より	東北電力	1992 撮影			八戸市美術館
256	八戸市湊中学校養護学級生徒	星空をベガスと牛が飛んでいく（レプリカ）			1976		36.3×69.0	那須歴史探訪館寄託

時の章

234	井川丹	あわいの声 ー『虹の上をとぶ船総集Ⅰ・Ⅱ』との対話ー			2023/ 2024	8ch スピーカーによる音楽インスタレーション / 2ch ヘッドフォンによる音楽再生	60 分（一部） / 15 分 × 8 点	作家蔵
242	THE COPY TRAVELERS	TCT 丸（トイブードルリゾートのオンピーク）			2024	インクジェットプリント、LED ライト、アクリル板	72.8×51.5	作家蔵
243	THE COPY TRAVELERS	TCT 丸（八坪の海岸線とトランプタワー）			2024	インクジェットプリント、LED ライト、アクリル板	72.8×51.5	作家蔵
244	THE COPY TRAVELERS	TCT 丸（きゅうりサーフィン上での闘い）			2024	インクジェットプリント、LED ライト、アクリル板	72.8×51.5	作家蔵
245	THE COPY TRAVELERS	TCT 丸（爆竹洋梨ーそれをバンコクの犬が見ている）			2024	インクジェットプリント、LED ライト、アクリル板	72.8×51.5	作家蔵
246	THE COPY TRAVELERS	TCT 丸（ブロンズ・ビリーが帰ってきた夜）			2024	インクジェットプリント、LED ライト、アクリル板	72.8×51.5	作家蔵
247	THE COPY TRAVELERS	THE COPY TRAVELERS の机上の空間 2024 八戸			2024	レーザープリント、LED ライト、アクリル板	63.0×148.5 LED ライト、アクリル板 × 3 台	作家蔵
248	淡路彩葉、淡路脩斗、川守田紗那、谷地佑維子、柳谷悠心	5 人のコピササイズ鳥瞰図	指導：撮影・編集：THE COPY TRAVELERS	2024		レーザープリント、アクリル板、テーブル	210.0×118.8×6 台	作家蔵
249	淡路彩葉、淡路脩斗、川守田紗那、谷地佑維子、柳谷悠心	コピササイズの全記録	指導：THE COPY TRAVELERS	2024		スライドショー	25 分 31 秒	作家蔵
250	淡路彩葉、淡路脩斗、川守田紗那、谷地佑維子、柳谷悠心	とっておきのカケラ	指導：THE COPY TRAVELERS	2024		インクジェットプリント、木材	33.6×20.0×7.7、35.6×14.2×5.1、25.8×20.5×7.7、32.0×60.0×5.1、20.5×21.4×5.1	作家蔵
251	淡路彩葉、淡路脩斗、川守田紗那、谷地佑維子、柳谷悠心	なんでも準備中?5つのドリームコピバラシティ	指導：THE COPY TRAVELERS	2024		インクジェットプリント	363.0×353.0	作家蔵
252	淡路彩葉、淡路脩斗、川守田紗那、谷地佑維子、柳谷悠心	ドリームコピバラシティに行ってきた!	指導：THE COPY TRAVELERS	2024		シングルチャンネル HD ビデオ	15 分 40 秒	作家蔵
257		「コピラとつくる\コホコダ? / パラレルシティ」ドキュメント			2024	シングルチャンネル HD ビデオ	26 分 51 秒	作家蔵

コレクションラボ007 大久保景造と八戸文化

1. 事業内容

八戸市の詩人・画家の大久保景造を、絵画―抽象、静物、風景、えんぶり―、合唱、市民創作オペラ、車門、挿絵、詩、あみゅーず（雑誌）の10の切り口で紹介する展覧会。

地方誌、地元新聞などの記録・資料から調査し、大久保の創作と、彼が関わった八戸の文化事象をまとめることで、主に1950年代からの50年間の八戸文化を記録するとともに、その時代の八戸文化にとって大久保の存在がいかに重要であったのかを明らかにした。

所蔵作品からは、初期の抽象画《鳥 No.1》、風景画、静物画を8点出品。その他は、作家の自宅に残っていたものや関係者から絵画や資料を借用して展示した。（出品作品・資料点数92点）

また、会場に「研究シート」を設置し、来場者が知っている大久保景造情報を提供できるようにした。交友のエピソードや、本人が執筆した雑誌の情報などが集まった。

2. 開催概要

会期 | 2024年3月23日（土）～7月8日（月）

開催日数 | 92日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 7,333人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A4、両面（作品リスト）

関連発行物 | 北方カルチベート vol.1 大久保景造と八戸文化（発行：八戸歴史文化発信事業実行委員会、協力：八戸市美術館）タブロー版、両面
執筆：大澤苑美／デザイン：佐々木遊／発行日：2025年3月

主催 | 八戸市美術館

協力 | 坂本朱実、大久保浩志

小野画廊、青森放送、油川育子（学校法人江渡学

園八戸文化幼稚園）、石橋司、石橋伸也、岩館千尋（元・うみねこ編集長）、大塚真由美、岡山由美子、奥平純代、小倉学（八戸クリニック街かどミュージアム）、音喜多泰憲（bar Junior）、金子真知子、木村行成、工藤成子、小滝勇、児玉真、酒菜屋、嵯峨昭彦、佐々木遊、重地えんぶり組、しもさき博之、瀬知素子、瀬知容子、高橋敦・高橋牧子、高橋寛子、田中達夫、田中勉、月館裕二、デーリー東北新聞社、東奥日報社、仲尾安司（元・アミューズ編集長）、中道寿也、長峰渉、八戸市立図書館、八戸テレビ放送、八戸パークホテル、帆風美術館、ばんや、藤田直哉・藤田しずえ、ニッ森護真、ものの芽舎、山村八紘

会場構成・展示物デザイン | 佐藤慎也

調査サポート | 山田泰子

担当学芸員 | 大澤苑美

3. 関連イベント

・ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

開催日 | ①2024年5月10日（金）②6月14日（金）
各日19:00～20:00

ゲスト | ①小倉学（八戸クリニック街かどミュージアム館長）、佐々木遊（アートディレクター・デザイナー、アソビス代表）②高橋敦（サクスプレイヤー）

司会進行 | 大澤苑美

会場 | ジャイアントルーム

観覧料・参加料 | 1,000円

参加者数 | 19人

内容 | お酒と作品鑑賞を楽しむイベント。大久保景造が好きだったジャズのレコードをかけながら、ゲストと大久保や展示にまつわる解説をした後、展覧会をおしゃべりしながら鑑賞。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「天鐘」欄 2024年4月5日

・デーリー東北「展覧会『大久保景造と八戸文化』開催中 八戸市美術館」2024年3月27日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ

コレクションラボ007

大久保景造と八戸文化

- ・デーリー東北「画家、詩人、ジャズバーのマスター、情報誌編集長 大久保景造さんの多才ぶり紹介」2024年4月13日
- ・デーリー東北、大澤苑美「八戸市美術館コレクションラボ007 大久保景造と八戸文化」(上) 画業 「抽象、写実、挿絵…多様な表現」2024年4月22日
- ・デーリー東北、大澤苑美「八戸市美術館コレクションラボ007 大久保景造と八戸文化」(下) 多彩な仕事「ジャズと地元への思い深く」2024年4月23日

テレビ |

- ・はちのへテレビ「カルチャースポットはちのへ」

WEB |

- ・artscapeキュレーターズノート、大澤苑美「まるで「大・八戸文化展」!——美術館で同時多発する「こと」のエネルギー」2024年5月29日 (<https://artscape.jp/article/14072/>)

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ007
大久保景造と八戸文化

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
大久保景造	(自画像)	不詳	キャンバス、油彩	41.0×31.8
大久保景造	EMPATHY No.1	1966年	キャンバスボード、油彩	31.7×40.8
大久保景造	EMPATHY No.9	1966年	キャンバスボード、油彩	31.7×40.8
大久保景造	(タイトル不明)	不詳	キャンバスボード、油彩	33.4×24.1
大久保景造	(タイトル不明)	1966年	キャンバスボード、油彩	22.7×15.7
大久保景造	作品1	1970年	キャンバスボード、油彩	31.7×40.8
大久保景造	(タイトル不明)	1976年	キャンバス、油彩	38.0×45.5
大久保景造	(タイトル不明)	不詳	キャンバスボード、油彩	33.4×24.1
大久保景造	(タイトル不明)	1966年	キャンバスボード、油彩	15.7×22.7
大久保景造	(タイトル不明)	不詳	キャンバスボード、油彩	22.7×27.3
大久保景造	(タイトル不明)	不詳	キャンバスボード、油彩	22.0×27.3
大久保景造	鳥 No.1	不詳	キャンバス、油彩	91.8×51.5
大久保景造	李朝と	不詳	キャンバス、油彩	60.6×72.7
大久保景造	芍薬と	不詳	キャンバス、油彩	41.2×32.0
大久保景造	木瓜と	不詳	キャンバス、油彩	41.0×31.9
大久保景造	茅葺と	不詳	キャンバス、油彩	45.6×53.0
大久保景造	道と	不詳	キャンバス、油彩	45.5×53.3
大久保景造	陽と	不詳	キャンバス、油彩	31.8×41.0
大久保景造	馬と	不詳	キャンバス、油彩	60.6×72.7
八戸テレビ	「春告祭 八戸えんぶり」	2001年	映像	8分45秒
青森放送	RAB特集「えんぶり考 ～南部のひびき」	1982年	映像	45分
大久保景造	八戸パークホテル緞帳 原画	1983年ごろ	紙、水墨	
八戸酒造	清酒「えんぶり」ケース	販売年不詳	紙、水彩	
大久保景造	(えんぶり スケッチ 東十日市)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 *
大久保景造	(えんぶり スケッチ 横町)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 *
大久保景造	(えんぶり スケッチ 上斗賀)	2005年	紙、水彩	33.6×24.8 *
大久保景造	(えんぶり スケッチ 売市)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 *
大久保景造	(えんぶり スケッチ 新組)	2005年	紙、水彩	33.6×24.8 *
大久保景造	(えんぶり スケッチ 櫛引)	2006年	紙、水彩	33.6×24.8 **
大久保景造	(えんぶり スケッチ 糠塚)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 **
大久保景造	(えんぶり スケッチ 重地)	2005年	紙、水彩	33.6×24.1 **
大久保景造	(えんぶり スケッチ 新組)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 **
大久保景造	(えんぶり スケッチ 妻神)	2006年	紙、水彩	33.6×24.1 **

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ

コレクションラボ007

大久保景造と八戸文化

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
大久保景造	机之図	不詳	紙、水墨	35.8×41.5 *
大久保景造	机之図	不詳	紙、水墨	51.4×63.8 **
日本ビクター	レコード《間宮芳生作品集（現代日本合唱曲選⑥）》	1970年		
全音楽譜出版社	楽譜《混声合唱のためのピエタ》	1975年		
八戸市民創作オペラ協会	パンフレット「八戸市民創作オペラ協会第6回公演 《炎の中の炎の心》」	1989年		
大久保景造 脚本	台本「創作オペラ《炎の中の炎の心》」	不詳		
内田勝彦 作曲	楽譜「創作オペラ《炎の中の炎の心（改訂版）》」	1966年		
	車門看板	不詳		
C A N D I D RECORD	Charles Mingus レコード 《Charles Mingus Presents Charles Mingus》	1961年		
日本ビクター	Bill Evans レコード 《Waltz for Debby》	1961年		
アルヒーフプロ ダクション	Johann Sebastian Bach レコード《組曲第二番口短調BWV1067・組曲第三番ニ長調BWV1068》	1966年		
大久保景造・絵	文明堂レジ袋	1990年ごろ		
大久保景造・絵	東奥日報「月曜随感」挿絵	1996～ 1997年		
大久保景造・絵	デーリー東北 連載「港の素顔」スケッチ	1979年		
大久保景造・絵	デーリー東北 新聞小説「河岸の家」挿絵	1980年		
大久保景造・絵	デーリー東北「新春短編小説」挿絵	1980年		
大久保景造・絵	高校時代に描いた挿絵のスクラップ	1952～ 1955年		
あるふあ詩社	大久保景造詩集 あるふあ選書 (1) 『ぼくものがたり』	1963年		
大久保景造	詩誌『冷え枯れ』	1978年		
アポロ詩話会	『義眼』	1957～ 1958年		
アポロ詩話会、 あるふあ詩社	詩誌『あるふあ』	1958～ 1991年		
詩集団くるーと	詩誌『くるーと』	1965～ 1967年		
北方春秋社	週刊『あみゅーず』(1号～12号)、『あみゅーず』(13号)、amuse (14号)	1971年		
*前期 **後期	サイズは平面作品は「縦×横」の順に記載。映像作品は「上映時間」を記載。			

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ007
大久保景造と八戸文化

6. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」



ほろ酔い鑑賞「ほろハチ」

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ007
大久保景造と八戸文化

7. 広報物

POSTCARD

コレクションラボ 007

大久保景造と八戸文化

Collection labo 007: OKUBO Keizo and Hachinohe Culture

2024年3月23日[土]～7月8日[月]

開館時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日(ただし4月30日は開館)、3月27日(水)、6月26日(水)
観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 大澤苑美 会場構成 | 佐藤慎也 ※一部
展示替えあり

画家として、抽象、具象、墨彩や水彩と多様な絵を描いたのみならず、詩人、ジャズ喫茶・
バーの店主、カルチャー誌の編集、合唱曲の作詞、市民創作オペラの台本作成など、
多彩な文化人であった大久保景造を紹介し、八戸のカルチャーシーンを概観します。

同時開催 ●展示室の冒険 会期 | 2024年4月20日(土)～6月24日(月) ●AOMORI GOKAN
アートフェス 2024 エンジョイ!アートファーム!! 会期 | 2024年4月13日(土)～9月1日(日)

 **八戸市美術館**
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字善町10-4
TEL: 0178-45-8338



ポストカード(表)

大久保景造《茅葺と》制作年不詳
45.60×53.0(cm) キャンバス、油彩

コレクションラボ007

大久保景造(1936～2006)は、抽象画で画家をスタートしたのち、郷土の風景や静物を写実的に描く具象へと画風を転向します。なかでも、茅葺の家屋や南部地域特有の曲り家を題材に好み、東北各地によく足を運びました。また、地元の祭り・八戸えんぶりをこよなく愛し、晩年まで多くの墨彩画や水彩画に描きました。



ポストカード(裏)

コレクションラボ008 彩る書

1. 事業内容

書の収蔵作品約300点の中から、八戸ゆかりの書家の作品を展示。鑑賞者それぞれが作品の楽しみ方を探る工夫として、鑑賞シートや実物大の複製作品を筆でなぞるコーナー、水書のコーナーを設けた。

鑑賞シートは鑑賞者の作品鑑賞のサポートとなると同時に、鑑賞シートに書かれた内容から、鑑賞者の多様な感じ方を捉えることができた。

体験コーナーや創作ワークショップにより書や墨、筆に親しむ機会を提供した。

講師 | 在家溪静(くるみのひろば)

参加料 | 無料

参加者数 | 15人

内容 | 書や墨、筆に親しんでもらう機会として、大人も子どもも楽しめる創作ワークショップを実施。折染めという方法で、和紙をインクにつけ、広げて乾かし、台紙を制作した。次に、水を含めると紫色や茶色に見える墨を使い、筆で、動物や好きなものなどを思い思いにかいた。参加者の作品は掛け軸に仕立て、1週間展示した。

2. 開催概要

会期 | 2024年7月13日(土)～10月28日(日)

開催日数 | 93日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 10,361人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A3、片面(作品リスト)

主催 | 八戸市美術館

会場構成 | 佐藤慎也

担当学芸員 | 田村由衣

3. 関連イベント

・ギャラリートーク

開催日 | 2024年7月21日(日)、8月18日(日)、9月15日(日)、10月20日(日) 各日11:00～12:00

参加料 | 無料

参加者数 | 16人(延べ)

内容 | 参加者と対話鑑賞をしながら、担当学芸員による解説を行った。

・墨っこあそび

開催日 | 2024年9月7日(日) 10:30～12:00

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ008
彩る書

4. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	
佐々木月花	甲骨文（臨書）	1994	紙、墨	131.3×69.0	*
佐々木月花	蘇東坡 黃州寒食詩卷一首（臨書）	2006	紙、墨	69.2×106.2	*
女鹿左織	杏花紅潤含宵露 柳葉青舒舒抹曉烟	1952	紙、墨	132.3×33.7	*
熊谷溪雨	源氏物語 須磨	1981	紙、墨	34.0×130.0	*
佐々木泰南	寒山（夏）	1974	紙、墨	130.8×66.8	*
佐々木泰南	子夜呉歌	1979	紙、墨	177.1×95.8	*
中村眉山	龍翻瀚海波涛壮 鶴出金籬燕雀驚	制作年不詳	紙、墨	136.8×34.0	*
音喜多七竜	靈湖山中遥濤如白馬來	1960	紙、墨	178.7×87.0	*
田名部房香	今日無事	2002	紙、墨	136.4×69.5	*
宇山博明	墨象	制作年不詳	紙、墨	90.0×68.2	*
宇山博明	水	制作年不詳	紙、墨	136.3×33.3	*
宇山博明	山	制作年不詳	紙、墨	136.5×33.4	*
宇山博明	土・風	制作年不詳	紙、黒漆	各134.7×68.6	*
和井田要	ゼツボウ	制作年不詳	紙、墨	34.2×68.0	*
和井田要	赤白黒	制作年不詳	紙、墨	67.0×131.0	*
和井田要	壹	制作年不詳	紙、墨	46.0×69.0	*
和井田要	實	制作年不詳	紙、墨	44.7×33.9	*
佐々木月花	佐理 離洛帖（臨書）	2000	紙、墨	70.0×137.6	**
熊谷溪雨	臨書 一条摂政集	1987	紙、墨	104.5×60.0	**
女鹿左織	旧裏春風似相淺 故似花行公令衣	1952	紙、墨	139.0×34.0	**
熊谷溪雨	劉長卿詩 「秋江渺々…」	1977	紙、墨	63.6×165.4	**
佐々木泰南	寒山（秋）	1969	紙、墨	128.5×68.0	**
佐々木泰南	山中寄諸弟妹 <王維詩>	1957	紙、墨	180.0×75.1	**
佐々木月花	壽	2014	紙、金泥	87×60	**
久保節	大鵬一挙九萬里	制作年不詳	紙、墨	137.0×33.3	**
田名部房香	巡る	1999	紙、墨	63.5×166.5	**
宇山博明	風	制作年不詳	紙、墨	47.8×61.1	**
宇山博明	空	制作年不詳	紙、墨	136.5×33.1	**
宇山博明	縄文	1975	紙、墨	135.3×68.3	**
宇山博明	無・柵	1952	紙、黒漆	各63.6×63.6	**
和井田要	セイゾン	制作年不詳	紙、墨	47.2×59.2	**
和井田要	解	1953	紙、墨	67.0×67.0	**
和井田要	子と馬	制作年不詳	紙、墨	46.8×65.0	**
和井田要	無	1961	紙、墨	140.0×70.0	**

*前期 **後期 サイズは平面作品は「縦×横」の順に記載。

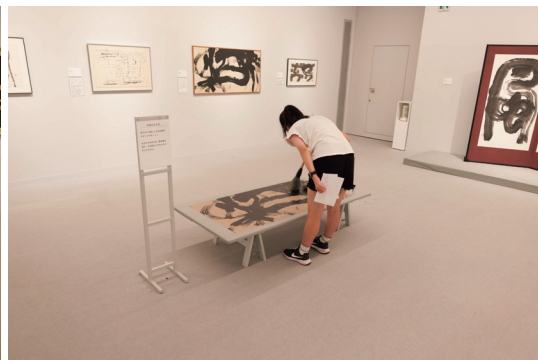
1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ008
彩る書

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



ギャラリートーク



ギャラリートーク



墨っこあそび



墨っこあそび



墨っこあそび

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ008
彩る書

6. 広報物

POSTCARD

コレクションラボ 008

彩る書

Collection Lab 008: Colors of Calligraphy

前期 | 2024年7月13日[土]～9月1日[日]
後期 | 2024年9月4日[水]～10月28日[月]

開館時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日(ただし、8月13日は開館)、9月2日(月) 観覧料 | 無料
主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 田村由衣 会場構成 | 佐藤慎也 ※展示替えあり

当館所蔵の書の作品を紹介します。墨の世界に浸り、濃淡や筆致などを感じながら、作品に面白みや趣の「彩り」を加える楽しみ方を展示します。

同時開催 ●tupera tuperaのかおてん。 会期|2024年7月6日(土)～9月1日(日) ●八戸市美術館 会期|前期:2024年9月19日(木)～22日(日) 後期:2024年9月26日(木)～29日(日)
●風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画 会期|2024年10月12日(土)～2025年1月13日(月・祝)

 **八戸市美術館**
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



ポストカード(表)

和井田要《赤白黒》制作年不詳
67.0×131.0(cm) 紙、墨

コレクションラボ008

画面いっぱいに、右から赤、白、黒と書かれています。力強く太い線や、かすれた勢いのある線は、ダイナミックで自由な筆の動きを感じさせます。それぞれの文字が重なって混ざり合い、文字を越えて、新たな造形が見えてくるようです。



ポストカード(裏)

コレクションラボ009 リビングルーム

1. 事業内容

住人が過ごし、くつろいだり、団らんしたりする部屋である「リビングルーム」をテーマに、収蔵作品を展示した。

リビングルームに見立てた展示室内に、テーブルセットやソファ、人工観葉植物などを置き、リラックスして鑑賞できる空間を提案した。会期途中には「模様替え」として、展示作品やその配置、家具の向きなどを変更した。

会期中に4回ギャラリートークを実施したほか、学校の団体見学や企業ツアーの案内などで対話鑑賞を行った。

2. 開催概要

会期 | 2024年11月2日（土）～2025年2月24日（月）

開催日数 | 96日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

観覧者数 | 7,098人

ポストカード | 10.0×14.8 (cm)、両面

ハンドアウト | A3、両面（ごあいさつ、章解説、作品リスト、展示作家紹介）

デザイン：類家舜

主催 | 八戸市美術館

会場構成 | 佐藤慎也

担当学芸員 | 篠原英里

3. 関連イベント

・ギャラリートーク

開催日 | ①2024年11月2日（土）、②12月22日（日）、③2025年1月11日（土）、④2月16日（日）
各日13:00～13:40

会場 | コレクションラボ

参加料 | 無料

参加者数 | 31人（延べ）

内容 | 担当学芸員によるギャラリートーク。問いかけや対話を交えながら作品解説を行い、鑑賞を促した。

4. 主なメディア掲載

WEB |

・artscape、篠原英里「展示空間と、観かたの自由さとの相関——『コレクションラボ009 リビングルーム』から」2025年1月29日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ009
リビングルーム

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)	
大久保景造	葡萄と	1991	キャンバス、油彩	23.1×15.9	
加賀利孝	花（仮題）		キャンバス、油彩	22.7×15.8	
月舘れい	百合		キャンバス、油彩	53.2×45.5	
渡辺貞一	壺Ⅱ	1969	キャンバス、油彩	27.0×16.0	
名久井由蔵	卓上	1959	板、油彩	32.1×41.3	
名久井由蔵	静物	1965	板、油彩	31.0×39.5	
渡辺貞一	青衣の食卓	1968	キャンバス、油彩	33.5×24.5	
月舘れい	魚のあるテーブル	2002	キャンバス、油彩	72.8×91.0	
月舘れい	西瓜		紙、水彩	38.0×45.5	*
月舘れい	鳥と西瓜	1980	紙、水彩	31.8×41.0	**
工藤甲人	胡蝶夢		紙本、着色	49.8×65.0	*
工藤甲人	海辺夢	1988	紙本、着色	45.5×72.5	**
久保田政子	馬（韻）		キャンバス、油彩	130.3×162.1	
渡辺貞一	野仏	1979	キャンバス、油彩	45.5×38.0	
岩沢喜作	友と咲かせた花々	1979	紙、木版	27.2×16.4	*
北岡文雄	雪の降る街	1966	紙、木版、多色刷	38.7×55.6	*
杉山光鳳	芙蓉図		紙本、着色	60.4×72.5	**
葛西四雄	北の浜（大畑）	1977	キャンバス、油彩	130.3×162.1	
石橋宏一郎	宮古湾風景	1982	キャンバス、油彩	37.9×45.5	
宇山博明	行是行		紙、墨	136.3×33.1	*
宇山博明	不可忘		紙、墨	135.5×34.2	**
下村正二	蒼い夏	1994	キャンバス、油彩	72.0×162.7	*
豊島弘尚	父の深い眠り	1987	キャンバス、油彩	40.6×40.6	**
福勢喜一	浜の子ども		キャンバス、油彩	42.6×79.0	**

*前期 **後期 サイズは平面作品は「縦×横」の順に記載。

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ009
リビングルーム

6. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



ギャラリートーク



ギャラリートーク

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ
コレクションラボ009
リビングルーム

7. 広報物

POSTCARD

コレクションラボ 009

リビングルーム

Collection Lab 009: Living room

2024年11月2日[土]～2025年2月24日[月]

開館時間 | 10:00～19:00(12月28日、1月2日、1月3日は10:00～17:00) 休館日 | 火曜日(2月11日、2月18日は開館)、12月29日～1月1日、2月5日、2月12日 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 篠原美里 会場構成 | 佐藤慎也 ※2024年12月24日[火]の休館日に模様替えを行い、一部展示作品が変わります。

リビングルームは、住人が過ごし、くつろいだり、団らんしたりする部屋です。本展では、リビングルームに見立てた展示室で、リラックスして作品をご鑑賞いただけます。

同時開催 ●風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画 会期|2024年10月12日[土]～2025年1月13日[月・祝] ●八戸アーティストファイル 会期|2025年2月15日[土]～4月7日[月]

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum



ポストカード(表)

コレクションラボ009



名久井由蔵
《静物》1965
31.0×39.5(cm)
板、油彩

テーブル上に置かれた花瓶やうつわの輪郭が、暗色の背景に鋭い白で浮かびあがっています。筆致からも感じられる鋭さは、名久井由蔵の作品にしばしば見られる表現です。鋭さに反し、全体は落ち着いた構図と色調で、じっくりと味わいたくなる作品です。

ポストカード(裏)

コレクションラボ 009

リビングルーム

Collection Lab 009: Living-room

2024年11月2日[土]～2025年2月24日[月]

開館時間 | 10：00～19：00（12月28日、1月2日、1月3日は10：00～17：00）

休館日 | 火曜日（2月11日、2月18日は開館日）、12月29日～1月1日、2月5日、2月12日 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 篠原英里 会場構成 | 佐藤慎也※12月24日の休館日に模様替えを行い、一部展示作品が変わります。

ごあいさつ

コレクションラボでは、コレクション（収蔵作品）のラボ（研究室）として、作品の魅力を探り、切り口や見せ方を工夫した小展示を行っています。そして、ここでの成果を、より大規模な展覧会や作家・作品研究の進捗などに活かしています。

9回目となる本展では、展示空間と鑑賞体験の関係性を探っています。美術館の展示室というと、一般的には崇高で静謐で、非日常的な空間というイメージがあるでしょう。しかし、ここでは、「リビングルーム」と題しているように、そうしたイメージとは異なる、日常的な感覚を伴う展示空間を設けています。そうすることで、いつもの自分で作品に向き合い、作品との心理的距離や感じる印象が変化するのではないかと考えています。

リビングルームは、住人が過ごし、くつろいだり、団らんしたりする部屋です。ご自宅のリビングルームにいる時のように、リラックスして作品鑑賞をお楽しみください。

第1室 テーブルを囲む

第1室には、部屋の中央にテーブルとチェアがあり、その周りを取り囲むように絵画作品が展示されています。ここで展示しているのは、花や果物の静物、食卓の風景など、テーブルが描かれている作品です。作品に近づいてじっくり見るのもよしですし、少し離れてテーブル越しに見るのもよしでしょう。チェアに腰掛けて、テーブルに少し肘もついても、ぼうつと作品を眺めるのもおすすめです。

No.8《魚のあるテーブル》を描いた月館れいは、他にもテーブルを描いた作品を多数残しています。月館は、毎日扱っているテーブルを眺めていると、イメージが湧いてきたそうです。あなたがテーブルを見て思い浮かべるのは、どんなイメージでしょうか。

No.	作品名	作家	制作年	技法、材質
1	葡萄と	大久保景造	1991	キャンバス、油彩
2	花	加賀利孝	不詳	キャンバス、油彩
3	百合	月館れい	不詳	キャンバス、油彩
4	薑い	渡辺貞一	1969	キャンバス、油彩
5	卓上	名久井由蔵	1959	板、油彩
6	静物	名久井由蔵	1965	板、油彩
7	青衣の食卓	渡辺貞一	1968	キャンバス、油彩
8	魚のあるテーブル	月館れい	2002	キャンバス、油彩
9	西瓜	月館れい	不詳	紙、水彩
10	鳥と西瓜	月館れい	1980	紙、水彩

※模様替え前（12/23まで）のみ展示

※模様替え後（12/25から）のみ展示

第2室 ソファでくつろぐ

第2室には、大きめのソファがあります。ここで展示しているのは、ソファに座ってゆっくり鑑賞するのにぴったりの作品です。特にソファの目の前には、比較的大きな作品を展示しています。普段、ソファに座る時は、テレビや窓の外を見たり、誰かとおしゃべりしたりしているでしょうか。今はその時と同じような心持ちで、作品を眺めながらくつろぎください。

模様替え前には風景画を、模様替え後には幻想的な雰囲気のある作品を主に展示します。あれこれ作品のことを考えてもよいですし、何も考えずに座って休憩するのもよいでしょう。作品とは関係のない今日の晩ご飯や、将来のことを考えてもよいでしょう。好きなように自分らしくお過ごしください。

No.	作品名	作家	制作年	技法、材質
11	胡蝶夢	工藤甲人	不詳	紙本、着色
12	海辺夢	工藤甲人	1988	紙本、着色
13	馬（騎）	久保田政子	不詳	キャンバス、油彩
14	野仏	渡辺貞一	1979	キャンバス、油彩
15	友と咲かせた花々	岩沢喜作	1979	紙、木板
16	雪の降る街	北岡文雄	1966	紙、木板、多色刷
17	美香園	杉山光風	不詳	紙本、着色
18	北の浜（大畑）	葛西四雄	1977	キャンバス、油彩
19	宮古湾風景	石橋宏一郎	1982	キャンバス、油彩
20	行是行	宇山博明	不詳	紙、墨
21	不可忘	宇山博明	不詳	紙、墨
22	蒼い夏	下村正二	1994	キャンバス、油彩
23	父の深い眼り	豊島弘尚	1987	キャンバス、油彩
24	浜の子ども	福勢喜一	不詳	キャンバス、油彩

※模様替え前（12/23まで）のみ展示

※模様替え後（12/25から）のみ展示

ガイド

- ・気になる作品があれば、作品近くに掲示しているNo.を確認し、この作品リストで作家や作品名、技法などをご覧ください。
- ・作家のことをもっと知りたい場合は、この裏面にある展示作家紹介をご覧ください。
- ・12月24日に模様替えを行います。その前後で一部の展示作品が入れ替わるほか、展示位置や家具の配置も変わります。
- ・展示作品の写真撮影と写真の個人利用（SNSやブログでの投稿を含む）は可能です。各著作権者の承諾を得ています。ただし、動画撮影およびフラッシュ・三脚を使用しての撮影はご遠慮ください。
- ・展示環境を清浄に保ち、作品を長期的に保存するために、展示室内では飲食を禁止しています。また、作品と壁にはお手を触れないようにお願いいたします。
- ・本展覧会について、ご感想・ご意見がありましたら、展示室内の案内員へお伝えください。



ハンドアウト（表）

展示作家紹介

大久保景造（1936-2006）OKUBO Keizo

作品 No. 1

八戸市出身。武蔵野美術学校（現武蔵野美術大学）に合格すると、家族の健康上の都合で断念。画家・岡山良一への影響や抽象画を描き始める。1958年、第8回モダンアート協会展で初出品・初入選し、以後3年連続入選。1961年、福勢喜一同じで創造美術展に入選。その後、作風が具象に変わり、静けさのある風景画や静物画を繊細なタッチで描いた。八戸市の丸光デパート、小野田館などで展覧を開催。ジブズ奨励会を経歴し、編集者、作詞家など多方面で活躍した。

月館れい（1921-2015）TSUKIDATE Rei

作品 No. 3, 8, 9（模様替え前）、10（模様替え後）

八戸市出身。八戸市で画家・西村健次郎の指導を受け、女子美術専門学校（現女子美術大学）へ進学。1948年、青森県八戸町出身の画家・鷹山宇一の勧めで出展した第33回三科展で、初出展・初入選を果たす。以降、毎年出展し、1964年に二科会会員に推荐され、1988年二科会の理事、1995年常務理事、2006年名誉理事に就任。東京都西東京市にアトリエを構え、テーブルと静物や人物、風景を組み合わせた油彩画をよく描いた。

名久井由蔵（1917-1979）NAKUI Yoshizo

作品 No. 5, 6

八戸市出身。同い年の渡辺貞一と同じく、青森美術研究所で学ぶ。1940年、第10回東奥美術展入選。1941年、第16回国展に渡辺とともに初入選し、以降毎年出展。1963年には会友に推荐された。生涯八戸市で制作を続け、1953年に芸術家5人（石橋一貴、瀬口嘉郎、神田順明、沢内桂、名久井）と五人会を結成し、1968年にはグループ展に入会するなど、県内の交友・展示に積極的だった。キャンバスではなく板に、鋭さのあるタッチで描いた。

久保田政子（1934- ）KUBOTA Masako

作品 No. 13

八戸市出身。東京都在住。鮫町の坂道を轍で叩かれながら登る荷馬車の馬や、兵隊と戦争へ行く馬の姿が、馬の画家・久保田の原体験となった。絵描きになりたてで上京。1956年、自由美術展に初出展し初入選。1957年、女流画家協会展グループ賞受賞。1958年、女流画家協会会員となる。2006年、青森県文化賞受賞。約50年に馬を1万頭描くと言ひ、自由に駆ける馬を描く。故郷の棚引八幡宮や無鳥神社には、自ら描いた絵馬を奉納した。

加賀利孝（1941-2019）KAGA Toshitaka

作品 No. 2

旧満洲出身。6歳で引き揚げる。青森県五戸町で育ち、武蔵野美術学校に進学。八戸市立第二中学校に勤めた後、1968年に教職を辞して絵に専念。銀座のセグサ画廊で八戸市の丸光デパートなどで展覧を開く。1985年、88年には上野の森絵画大賞展に入選。1986年、87年に森岡芸術展洋画部門市長賞、2004年に会長賞を受賞。盛岡市にアトリエを構えた。静物・風景・人物など様々なモチーフを、ざらりとした質感と巧みに際立たせた色彩で表れている。

渡辺貞一（1917-1981）WATANABE Teichi

作品 No. 4, 7, 14

青森市出身。本造町（現つがる市本造）出身の画家・松本満次が開設した青森美術研究所で学ぶ。各地で展覧を開催し、特に北海道を気に入っていた。戦後は東京都練馬区にアトリエを構え、国画会に選定する公募展の国展に出展し活躍した。1941年に第16回国展に初入選し、1958年に会員に推荐された。東北・北海道の道情や風習に着想を得た心象風景が代表作だが、本展示作品のように雲や水、人物を描いた小作品にも渡辺らしい深い色使いが表れている。

工藤甲人（1915-2011）KUDO Kojin

作品 No. 11（模様替え前）、12（模様替え後）

弘前市出身。父の転勤で転校した旧制青森県立田名部中学校（現県立田名部高等学校）の恩師・坂友に絵論を評論された。出征を経て終戦後に帰郷し、再び制作に臨んだ。1951年に第15回新制作展で新作家賞を受賞し、後に新制作協会会員となる。1962年に平塚市へ移住。1974年、朗画会結成に参加。1978年～83年に東京藝術大学で教授を務める。2007年には青森県立美術館で「工藤甲人展・夢と覚醒のはざまに-」が開催された。津軽地方の冬と、春を迎える喜びを原点とし、独自の作風を築き上げた。

岩沢喜作（1930-2003）IWASAWA Kisaku

作品 No. 15（模様替え前）

八戸市出身。父の転勤で転校した旧制青森県立田名部中学校（現県立田名部高等学校）の恩師・坂友に絵論を評論された。出征を経て終戦後に帰郷し、再び制作に臨んだ。1951年に第15回新制作展で新作家賞を受賞し、後に新制作協会会員となる。1962年に平塚市へ移住。1974年、朗画会結成に参加。1978年～83年に東京藝術大学で教授を務める。2007年には青森県立美術館で「工藤甲人展・夢と覚醒のはざまに-」が開催された。津軽地方の冬と、春を迎える喜びを原点とし、独自の作風を築き上げた。

北岡文雄（1918-2007）KITAOKA Fumio

作品 No. 16（模様替え前）

東京都出身。東京美術学校（現東京藝術大学）油画科に進学し、版画家・平塚運一から木版画を学んだ。1945年に旧満洲に移り、中国木刻（木版画）に出会う。帰国後は春陽会展に版画を出展した。1964年からアメリカで木版画を指導し、1966年には国展を開催。展示作品はこの頃の作で、アメリカの景色色々と思われる。1988年に町田市立国際版画美術館で開催。1997年、熱西等旭日小校章を受章。明確な色彩による風景の木版画を制作した。

葛西四雄（1925-1990）KASAI Yotsuo

作品 No. 18

津軽郡金田村（現平川市）出身。1951年に結核のため青森師範学校本科を中退し、療養生活を送る。この時に見た陸奥湾の風景が、後の漁村を描いた作品に繋がった。小学校教員を務めた後、画業に専念するために上京。弘前市出身の画家・奈良岡正夫に師事した。示現会では、1963年に会員に推荐され、1984年に理事に就任。日展では1985年に会員に推荐された。東京都世田谷区にアトリエを構え、青森の漁村の風景を描き、赤を重要な色として用いた。

宇山博明（1913-1997）UYAMA Hiroaki

作品 No. 20（模様替え前）、21（模様替え後）

青森市出身。終戦後に復員し、妻の疎開先・八戸市種差に居を構える。杉山光風と同じく八戸市で1947年に設立された「春光会」の設立メンバー。同会の八戸総合芸術展第1回には、月館れい、名久井由蔵、福勢喜一らが参加した。書家・大澤雅雄による書道芸術院結成に参加。1950年には第3回書道芸術院展で総理大臣賞を受賞。書道芸術院理事、審査員を務める。自らを造形家と称し、大膽な書だけでなく、油彩や染織、風鈴なども手がけた。

豊島弘尚（1933-2013）TOYOSHIMA Hironao

作品 No. 23（模様替え後）

上北郡横浜村（現横浜町）に生まれ、小学生の時に八戸市へ引越す。西村健次郎に学び、舞臺家の姉・和子がいいた東京へ移る。東京藝術大学卒業後、個展を精力的に開催。1974年、第8回文化庁在外芸術家派遣に選出され、北米・北緯に滞在。1998年に第21回安田火災東郷青児美術館大賞を受賞。1960年代までは人間の頭部をテーマに制作し、後に八戸や北沢、那須、家紋などが表れる。モチーフに複数の意味を持たせ、独自の世界観を表現した。

杉山光風（1903-1983）SUGIYAMA Koho

作品 No. 17（模様替え後）

宮城県出身。東京美術学校本科卒業。一時、横山大観に師事。1941年～62年、妻の実家の八戸市に住む。八戸市の文化芸術家らの交流を目的に1947年に設立された「春光会」の設立メンバー。春光会会長で日本画家の七尾英風、郷を得意とした柏木貫邦とともに、「八戸の三ぼろ」と呼ばれた。1953年、54年、56年の河北美術展に入選。1957年には八戸市丸光美術デパートで石橋宏一郎と二人展を開催。前道美術館の日本画の部で審査員を務めた。

石橋宏一郎（1911-1993）ISHIBASHI Koichiro

作品 No. 19

八戸市出身。1940年、上京して川端画学校に入学。画家・松本健介に勧められ、1943年、二科展に入選。1944年に出征し、終戦後に八戸市へ帰郷。塗料店を始める。画材を仕入れて市内の画家に販売した。二科展が1946年に再開すると、毎年出展。1953年に会友、1960年に会員に推荐された。石橋の活躍は、同郷の後輩・月館れいの背中を押した。石橋は、自らが生まれ育った「風土」をテーマに、力強いタッチで作品を描き続けた。

下村正二（1953- ）SHIMOMURA Shoji

作品 No. 22（模様替え前）

八戸市出身。在住。高校生の頃に油彩画を描き始め、卒業後は八戸・東京で職を覚えながら制作を続けた。1980年の八戸丸光デパートでの個展を機に絵描きになると決心し、上京。1985年には日伯現代美術展に入選し、銀座昭和画廊で個展を開催、八戸市へ帰郷した。1992年に第2回八戸市美術報奨を受賞。個展を中心に活動を続け、2024年12月5日～9日には八戸市美術館で開催展を開催。独学で獲得した写実的な描法で静物画や風景画を描く。

福勢喜一（1905-1996）FUKUSE Kiichi

作品 No. 24（模様替え後）

二戸市出身。1927年に八戸市の画家・福田寛、西村健次郎と結成した絵画団体「離郷社」は、戦前の八戸美術界を牽引した。また、「牧羊会」の主宰として水彩画展を開催。スピードスケート選手でもあり、1930年には全日本スピードスケート選手大会に出場した。戦後は中学校教師を務める。1956年、第1回スポーツ芸術展入選。1955年から3年連続河北美術展に入選。1960年代に前道美術展に3度入選。奥入瀬流流をはじめ、身近な風景をよく描いた。

ハンドアウト（裏）

tupera tupera のかおてん.

1. 事業内容

絵本を中心に活躍しているクリエイティブ・ユニットtupera tuperaによる参加・体験型の展覧会。「かお」をテーマに、見て、探して、体を使って楽しむ本展では、八戸会場特設コーナーとして絵本読み聞かせ映像の上映や工作広場を設けたほか、公開制作やトークイベント、サイン会、館内かお探し企画など、会期中様々な企画も実施。周辺店舗での連携メニューの展開や八戸ブックセンターでの「かおてん.の裏側展」など、中心街を周遊して楽しめる仕掛けも展開した。

2. 開催概要

会期 | 2024年7月6日(土)～9月1日(日)
開催日数 | 51日間
会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ、ジャイアントルーム
観覧料 | 一般1,000円、中・高校生600円、子ども500円(2歳以下無料)
※障がい者手帳提示の方は本人及び付添者1名に限り半額
※20名以上の団体は100円引き
フリーパス「かおパス」 | 一般1,800円、中・高校生1,100円、子ども800円(各種割引との併用不可)

入場者数 | 27,297人

主催 | 青森朝日放送
共催 | 八戸市美術館
企画協力 | PLAY! MUSEUM
協力 | 八戸ブックセンター
後援 | 青森県教育委員会、八戸市教育委員会、青森県PTA連合会、一般社団法人青森県私立幼稚園連合会、一般社団法人青森県保育連合会、コミュニティラジオ局BeFM

3. 関連イベント

・オープニングイベント①

「tupera tuperaによる公開制作」

開催日 | 2024年7月6日(土) 12:00～15:00

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料・観覧自由(要展覧会チケット)

内容 | tupera tuperaの2人が、青森にちなんだ顔作品を制作。でき上がった作品は、会期中カネイリ番町店ショーウィンドウに展示。

・オープニングイベント②

「tupera tuperaのかおてん.トーク&サイン会」

開催日 | 2024年7月6日(土) 16:00～17:30、サイン会17:30～

ゲスト | tupera tupera、草刈大介、佐藤万紀

会場 | スタジオ

参加料 | 無料(要展覧会チケット)

内容 | tupera tuperaと、展覧会を企画し共に歩んできた草刈大介と佐藤万紀(ブルーシープ)が、巡回してきたこれまでの「かおてん.」を振り返る。トークの様子は青森朝日放送公式YouTubeチャンネルで同時配信。トーク終了後にサイン会を実施した。

・八戸会場特設コーナー(工作広場、絵本読み聞かせ映像)

誰でも参加できる工作広場や、展示されている原画・立体作品のモチーフとなった絵本の読み聞かせ映像の上映を、八戸会場の特設コーナーとして設置。

日時 | 会期中

場所 | 展覧会会場内

参加料 | 無料(要展覧会チケット)

・周辺エリア連携企画①「かおてん.」の裏側展

会期 | 2024年7月6日(土)～9月1日(日)

会場 | 八戸ブックセンター ギャラリー

観覧料 | 無料

内容 | 「かおてん.」ができるまでに描かれたアイデアスケッチや、展覧会公式ワークブック『かおPLAY!』の原画など、展覧会の舞台裏をのぞくことができる貴重な資料を展示。展示期間中、いつでも参加できるワークショップも展示会場内で開催。

1. 展覧会+プロジェクト

共催展

tupera tupera のかおてん.

・周辺エリア連携企画②美味しくLet's「かおPLAY!」

内容 | 美術館の周辺店舗にて、皿に盛られたパーツを自分で並べ替え、オリジナルの「かお」をつくることのできるメニューを提供。また、半券サービスも実施。

周辺店舗・チケットサービス | estacion エスタシオン：アイスクリームサービス、カネイリ喫茶：50円割引（メニュー問わず）、八戸グランドホテル：ドリンク1杯サービス

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
tupera tupera のかおてん.

4. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



公開制作



サイン会

1. 展覧会+プロジェクト

共催展

tupera tupera のかおてん.

5. 広報物



ポスター



チラシ (表)



チラシ (裏)

第61回八戸市美術展

1. 事業内容

八戸市文化協会が実施する公募展「八戸市美術展」を、八戸市美術館との共同主催により実施。書道・絵画・写真・工芸あわせて454点の応募作品があり、前期・後期にわたって展示され、会期中に入賞者表彰式が執り行われた。

また、園児から高校生までの公募作品965点を展示紹介する「第37回八戸市学生書道展」と、南部菱刺しや裂織、編み物、ラタンなど12団体からの出展、協賛による「生活文化展」が同時開催され、実演コーナーが設置されるなど多彩なジャンルの作品や活動が美術館全館を彩った。

2. 開催概要

会期 | 前期:2024年9月19日(木)～9月22日(日)、後期:2024年9月26日(木)～9月29日(日)

会場 | ホワイトキューブ

観覧料 | 無料

入場者数 | 4,564人(前期:1,197人、後期:2,567人)

主催 | 八戸市文化協会

共催 | 八戸市美術館

後援 | 八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、デーリー東北新聞社

※同時開催

第37回八戸市学生書道展

会期 | 2024年9月19日(木)～9月22日(日)

会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

共催 | 八戸市文化協会、八戸市美術館

後援 | 八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、デーリー東北新聞社

協賛 | 八戸三八城ライオンズクラブ、株式会社金入、株式会社はちのへ額装、協和貿易株式会社、株式会社墨運堂、株式会社北斗園、株式会社文宝堂

第48回八戸市文化協会生活文化展

会期 | 2024年9月26日(木)～9月29日(日)

会場 | スタジオ、ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 八戸市文化協会

後援 | 八戸市、東奥日報社、デーリー東北新聞社

協賛 | 東京木目込人形八戸、ステンドグラスラボ Vivace、八戸おもと同好会、八戸菊花会、スタジオ・マルシェ、モード由記

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
第61回八戸市美術展

3. 開催の様子



会場風景（前期）



会場風景（学生書道展）



会場風景（後期）



会場風景（後期）



会場風景（生活文化展）



会場風景（生活文化展）

1. 展覧会+プロジェクト

共催展

第61回八戸市美術展

4. 広報物

THE 61TH ART EXHIBITION OF HACHINOHE-2024

THE 61TH ART EXHIBITION OF HACHINOHE-2024

THE 61TH ART EXHIBITION OF HACHINOHE-2024

HCA

八戸市美術展

前期 書道

9/19 木 ~ 22 日

■ 時 間 10:00~18:00
最終日は16:00まで

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

■ 入場料 無 料

後期 絵画・写真・工芸

9/26 木 ~ 29 日

■ 時 間 10:00~18:00
最終日は16:00まで

■ 出品申込 8月5日(月)~8日(木) 10時から18時まで
出品申込書に出品料を添えて文化協会事務局まで

■ 入賞者表彰式 日時: 9月29日 午前11時 場所: 八戸グランドホテル

■ 懇 親 会 日時: 9月29日 午後12時30分 場所: 八戸グランドホテル
会費: 3,000円

[主 催] 八戸市文化協会
[共 催] 八戸市美術館
[後 援] 八戸市・八戸市教育委員会
東奥日報社・デーリー東北新聞社

[事務局] 八戸市文化協会
八戸市番町14番地(八戸グランドホテル内1階)
TEL/FAX 43-1149

<https://hachibunka.wixsite.com/hachinohe-bunka>

QRコード

ポスター

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
第57回八戸市小学校図画工作展

第57回八戸市小学校図画工作展

1. 事業内容

八戸市内小学校の授業で児童が制作した作品を展示。

2. 開催概要

会期 | 2024年2月1日(土)～2月2日(日)

開催日数 | 2日間

会場 | ギャラリー1・2

観覧料 | 無料

入場者数 | 2,497人

主催 | 八戸市小学校図画工作科教育研究会

共催 | 八戸市美術館

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリー東北「八戸／自由な発想 作品ずらり／
きょうまで市小学校図画工作展」2025年2月2
日

4. 開催の様子



会場風景



会場風景



講評会



講評会

帆風美術館×八戸市美術館共催 新春屏風展～デジタル光筆画で見る屏風の世界～

1. 事業内容

帆風美術館と八戸市美術館が共同主催し、帆風美術館が所蔵しているデジタル光筆画で複製された屏風、狩野永徳筆《檜図屏風》(原品：東京国立博物館蔵)を、新春にあわせて展示。また、お茶会、琴や尺八の演奏、落語などのイベントを合わせて実施し、日本の伝統文化に触れる機会を提供した。

2. 開催概要

会期 | 2025年1月2日(木)～1月20日(月)

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

入場者数 | 4,877人

主催 | 帆風美術館、八戸市美術館

3. 関連イベント

・新春お茶会体験

開催日 | 2025年1月4日(土) 12:00～15:00

講師 | 青森県立三本木高校茶道部

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 200円

参加者数 | 100人

内容 | 新春にあわせ、高校生が点てたお茶を振る舞い、お茶会を通じて日本の伝統的なおもてなしの心を体験する。

・新春 琴と尺八の調べ

開催日 | 2025年1月11日(土) 14:00～15:30

出演 | 松の実會 鈴木操良慈社中、高谷峯韻、土嶺懐山、高橋巧山

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

参加者数 | 72人

内容 | 琴と尺八による演奏で新春を寿ぐ。

・お正月を楽しむ 羽子板づくり

開催日 | 2025年1月13日(月) 10:00～12:00、13:00～15:00

講師 | 庭田薫(画家)

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 1,000円

参加者数 | 26人(延べ)

内容 | 無地の羽子板に古布やリボンなどで装飾を施し、作成後は羽根つきをして伝統的な正月の遊びを体験する。

・新春 落語と漫談の夕べ

開催日 | 2025年1月19日(日) 14:00～15:30

出演 | 大地球、ケン・シラハタ

会場 | スタジオ

木戸銭 | 1,000円

参加者数 | 34人

内容 | 新春にあわせ、落語など伝統芸能に触れる機会とする。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デリー東北「八戸市美術館で新春屏風展」
2024年12月29日

・東奥日報「檜図屏風 新春に彩り」2025年1月10日

1. 展覧会+プロジェクト

共催展
新春屏風展

5. 開催の様子



会場風景



会場風景



新春お茶会体験



琴と尺八の調べ



羽子板づくり



落語と漫談の夕べ

1. 展覧会+プロジェクト

共催展

ボランティア書道教室
俊文書道会
書の発表会 超大作展

ボランティア書道教室 俊文書道会 書の発表会 超大作展

1. 事業内容

「障がいの有無にかかわらず書を楽しもう」を合言葉に、障がい者と健常者を合わせて約30名の会員が所属しているボランティア書道教室「俊文書道会」、その会員の作品64点を展示。ほかにも久保田久美絵のペーパーフラワーが会場内に飾られた。俊文書道会と八戸東高校書道部のコラボレーションによる書のパフォーマンスも行われ、10m×4mの作品を揮毫した。

2. 開催概要

会期 | 2025年1月18日(土)～1月26日(日)

開催日数 | 8日間

会場 | ホワイトキューブ、ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

入場者数 | 2,368人

主催 | ボランティア書道教室 俊文書道会

共催 | 八戸市美術館

3. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デリー東北「気力あふれる大作一堂／俊文書道会市美術館で作品展」2025年1月19日
- ・東奥日報「巨大な書 見る者圧倒／市美術館 俊文書道会が超大作展」2025年1月19日
- ・デリー東北「ガオー」2025年1月21日

4. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



書のパフォーマンス

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト
エンジョイ!アートファーム!!

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 メイン企画 エンジョイ!アートファーム!!

1. 事業内容

青森県内の5つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、十和田市現代美術館、八戸市美術館）が連携した「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」での、当館のメイン企画。本アートフェスの共通テーマ「つらなりのはらっぱ」から、美術館を象徴する空間「ジャイアントルーム」を“はらっぱ”に見立て、八戸市に在住する5人のアーティストがプロジェクトを同時多発的に展開した。ダンスの制作、作品鑑賞や大きな絵の制作、写真撮影やトークプログラムなど、来館者とアーティストが交流しながら様々な活動が同時多発的に行われた。変化していくジャイアントルームの様子は、訪れる人によって使い方が決められていく「はらっぱ」のような場でもあり、美術館のコンセプト「出会いと学びのアートファーム」が体现され、来場者とアーティストが関わる場となった。また、アートフェスの関連企画の他、Edulinksやオトノワコネクトといった市民団体が主体となった親子対象のワークショップも開催された。

2. 開催概要

会期 | 2024年4月13日（土）～9月1日（日）

開催日数 | 123日間

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 八戸市美術館

入場者数 | 68,430人

ポスター（エンジョイ!アートファーム!!）| B2、片面

チラシ（エンジョイ!アートファーム!!）| A4、両面

デザイン：野間真吾

チラシ（エンジョイ!パフォーマンスピクニック）| A4、両面

チラシ（AOMORI GOKAN アートフェス 2024 共通企画「Aomori GENKI-RO Trip at八戸市美術館」）| A4、両面
デザイン：類家舜

参加アーティスト | 磯島未来、漆畑幸男、しばやまいぬ、蜂屋雄士、東方悠平

会場構成 | 佐藤慎也

アートディレクション | 野間真吾

映像撮影編集 | 神智

担当学芸員 | 平井真里、大澤苑美、高橋麻衣

3. プロジェクト

・磯島未来《あなたからダンスを紡ぐ》

活動日 | 2024年4月13日（土）、21日（日）、5月19日（日）、6月9日（日）、22日（土）、7月7日（日）、27日（土）、8月25日（日）

各日①10:30～12:30②14:30～16:30

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 15組（26人）

内容 | 公募によって県内外から訪れた参加者から、これまでに経験した出来事や、生きる上で大事にしていることなどを磯島が聞きとり、その話をもとに、その人らしさが凝縮したダンスの振付をその場で考案。振付を磯島や参加者自身が踊り、その場に集まった人たちに向けて披露した。振付はアーカイブ映像にし、会期中にジャイアントルームで展示した。また、生み出した振付を作品に再編し、1日限りの「ダンスパフォーマンス」を実施した。

関連プログラム |

・ダンスパフォーマンス

日時 | 2024年8月4日（日）①11:30～②14:30～

参加アーティスト | 磯島未来

場所 | スタジオ

参加者数 | ①29人②36人

参加料 | 無料

内容 | 《あなたからダンスを紡ぐ》プロジェクトで作りだした振付を再編して構成し、ダンス作品として披露。

・漆畑幸男《幸福の絵描き》

作品展示期間 | 2024年4月13日（土）～9月1日（日）

大きな絵制作期間 | 2024年4月13日（土）～6月3

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

日(月)

大きな絵展示期間 | 2024年6月5日(水) ~7月1日(月)

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 100人以上(延べ)

内容 | 漆畑は、過去作品約100点の展示とあわせて、4月から6月の間、ほぼ毎日ジャイアントルームに滞在。

来場者と交流しながら、共に大きな1枚の絵《平安の大花》(縦8メートル、横6メートル)を制作した。大きな絵は、4月から5月にかけて、100人を超える人々によってペイントされ、6月からはジャイアントルームで展示。展示空間に更なる彩りを与えた。また、来場者が付箋に書いた展示作品についての感想や解説を集め、参加型の「みんなの画集」プロジェクトも展開。作品画像とともにファイリングし、誰でも閲覧できる形でジャイアントルームに設置した。

同時に、スケッチをぬり絵にし、誰でも楽しめるようジャイアントルームのテーブルに設置。時には漆畑によるぬり絵教室が開催され、自然発生的に“こと”が起こるきっかけにもなった。

・しばやまいぬ《くにゆぎの森3D》

開催日 | 2024年4月13日(土) ~9月1日(日)

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 660人(新種発見シート)

内容 | 4月から5月にかけて、プロジェクトの世界観を表した版画作品《夜は短しとびだせ乙女》を公開制作。本作の完成後、5月から7月にかけて「くにゆぎ」の木を制作。「くにゆぎ」は“くにゆくにゆ”という擬態語と、虫がよく集まる木のひとつ「クヌギ」を掛け合わせた造語で、想像力によって成長する。徐々にジャイアントルームに出現し、7月初旬には「くにゆぎの森」がつくられた。

この森には版画をもちいてつくられた虫が隠されており、来場者は“虫捕り”を楽しむことができた。また、新種の虫を考案して描くこともでき、描かれた虫は新種図鑑に記録され、一部はしばやまいぬによって版画で制作された。

しばやまいぬは会期中、毎日に近い頻度で滞在し、来場者と交流しながら公開制作を続けた。虫の制作には、八戸市美術館のアートファーマーが参加。

・蜂屋雄士《はちや写真館 家族と写真のプロジェクト》

活動日 | 2024年5月18日(土)、6月2日(日)、6月16日(日)、6月30日(日) (4月28日(日)プロジェクトトライアル) 各日①10:00~10:45②11:00~11:45③13:00~13:45④14:00~14:45⑤15:00~15:45
作品展示期間 | 2024年8月10日(土) ~9月1日(日)

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 14組

内容 | 蜂屋が撮る家族写真と、家族が自分たちで撮る家族写真の両方を比べてみることで、家族のあり方を味わうプロジェクトを実施。参加者は持参した家族写真で、蜂屋に家族紹介した後、蜂屋が美術館の内外で、家族を撮影した。

8月には、それらの写真をジャイアントルームで展示。蜂屋が撮影した写真の下には、その日に撮影した写真3枚のネガフィルムも展示した。

また、美術館近隣の福祉施設の利用者を招いた写真撮影も実施。参加者が漆畑(参加アーティスト)の展示作品の中から好きな1点を選び、その作品と参加者が並んだ姿を蜂屋が写真に収め、参加者にプレゼントした。

・東方悠平《自由の像、不自由なバナナ》

開催日 | 2024年4月13日(土) ~9月1日(日)

場所 | ジャイアントルーム

内容 | ベトナムでの長期滞在など、東南アジアとの関わりが深い東方が、ベトナムの野生のバナナを手がかりに、品種改良やプランテーションといった歴史的背景にも目を向けながら「自由」について考えるプロジェクトを行った。東方がベトナムで野生のバナナを探す映像をはじめ、「バナナ」と「自由」にまつわるインスタレーションを展開。また、会期中はベトナムの文化について話した後、自由をテーマに絵日記を描く異文化交流イベント「バナナ・ワールドカフェ」を実施。さらに、外国人労働者をテーマにした映画上映や、八戸市近隣に住むベトナム人と共に、バナナを栽培する隣町の農園などを巡る「バナナ・ピクニック」を開催した。会期後半では、自由の女神像の顔を模した構造物が建てられ、その内部や周辺の壁で、イベント参加者の制作物を展示した。

関連イベント |

・異文化交流イベント「バナナ・ワールドカフェ」

日時 | ①2024年5月12日(日)②8月25日(日) 各日10:30~12:00

参加アーティスト | 東方悠平

会場 | ジャイアントルーム

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

参加者数 | 12人 (延べ)

内容 | ベトナムの文化を紹介した後、参加者が「自由」「不自由」を感じたエピソードを絵日記に描いた。

・映画上映&トークショー「海辺の彼女たち」

日時 | 2024年7月13日(土) 第1部: 13:00~14:30、トークショー: 14:45~15:15、第2部: 15:30~17:00

参加アーティスト | 東方悠平、渡邊一考(映画プロデューサー)

会場 | スタジオ

参加者数 | 34人 (延べ)

内容 | 日本で働く外国人労働者をテーマに、青森県外ヶ浜町で撮影された映画を上映。本映画のプロデューサー・渡邊一孝をゲストとして招いたオンライントークショーも実施。

・バナナ・ピクニック

日時 | 2024年7月28日(日) 13:00~17:00

参加アーティスト | 東方悠平

会場 | 八戸市美術館、観光農園「アグリノ里」、いちよう公園

参加者数 | 20人

内容 | 八戸近隣に住むベトナム人と交流しながら、隣町にあるバナナの育つ観光農園と、4分の1サイズの自由の女神像が建つ「いちよう公園」を訪ねた。その後、美術館に戻り、それぞれが印象に残った当日の思い出を描いた。

4. 関連イベント

・エンジョイ!パフォーマンスピクニック

開催日 | 2024年5月6日(月・祝) 10:00~17:00

演出 | 構成 | パフォーマンスプロジェクト | 居間theater (東彩織、稲継美保、宮武亜季、山崎朋)

場所 | ジャイアントルーム、スタジオ、ホワイトキューブ、コレクションラボ、マエニワ

コラボレーター・俳優 | 福田毅

アーティスト | 磯島未来、漆畑幸男、しばやまいぬ、蜂屋雄士、東方悠平、小林源治、安田美央、久保田久美絵、山本裕美

出店 | カネイリミュージアムショップ、méli-mélo、Rira Cafe、蜜芋屋Hana、Pizza217

参加費 | 無料

参加者数 | 60組 (200人)

内容 | 美術館を「はらっぱ」に見立て、アートとの出会い方や、美術館での過ごし方を模索してイベ

ント。参加者は、美術館の好きな場所にレジャーシートを広げ、飲食を楽しんだり、おしゃべりしたり、好きな過ごし方を楽しんだ。同時に、会場ではプラカードを持ったアーティストが巡回し、来場者の言葉から紡がれる音やダンス、絵のプレゼント、ぬり絵教室、展示作家の詩の朗読など、小さなパフォーマンスを参加者に届けた。この“場”づくりに関わったすべての人たちの活動が、1つの演劇作品となったイベントでもあった。

・AOMORI GOKAN アートフェス 2024 共通企画「Aomori GENKI-RO Trip at 八戸市美術館」

開催日 | 2024年8月18日(日) 19:00~21:00

場所 | スタジオ、マエニワ

出演 | 辰田翔(音楽家・作曲家)、志津野雷(写真家・映像作家、Cinema Caravan 主宰)、八戸郷土芸能の団体

出店 | たなぶ酒飯、カネイリミュージアムショップ、香彩珈琲みな実、Pizza217

参加者数 | 約140人

内容 | アートフェスの共通企画として、5館を巡回した作品・栗林隆《元気炉》の当館会期(当館では8/18、19、21)中に開催。作品鑑賞に加えて、栗林と共に活動する映像作家・志津野雷、音楽家・辰田翔による映像上映とライブを行った。映像は、栗林が出展したドクメンタ15のドキュメント映像作品“Beyond documenta”。本映像の音楽を八戸スペシャルとしてアレンジし、辰田と八戸郷土芸能がコラボして生演奏を行った。マエニワでは会場のライブ上映や飲食店の出店があり、美術館の内外が賑わった。

・アーティストトーク

開催日 | 2024年8月24日(土) 10:30~12:30

参加アーティスト | 磯島未来、漆畑幸男、しばやまいぬ、蜂屋雄士、東方悠平

場所 | スタジオ

参加費 | 無料

参加者数 | 16人

内容 | 「エンジョイ!アートファーム!!」に参加したアーティスト全5人が一同に集まり、それぞれが会期中に行った活動を振り返ってトークした。アーティストが1人ずつ活動について話し、その後にアーティスト同士の交流の中で感じたことや、ジャイアントルームの今後の使い方について語り合った。

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

5. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「その日しかできないダンスを／市美術館『エンジョイ!アートファーム!!』／磯島さん／来館者の経験聞き制作」2024年4月20日
- ・東奥日報「館内でピクニック／一緒に演奏も」2024年5月12日
- ・デーリー東北「魔法の森で新種発見／ユニークな虫／親子で考案」2024年7月10日
- ・東奥日報「GOKANアートフェス／5施設／20万人突破」2024年8月8日
- ・デーリー東北「西丁さん親子20万人目／市美術館でセレモニー」2024年8月9日
- ・デーリー東北「『AOMORI GOKAN アートフェス』アーティストトーク／八戸市美術館での企画参加5人」2024年9月2日

雑誌 |

- ・あおり紀行「五館がつらなる初開催のアートフェスへ／八戸ゆかりのアーティストと作る展示（5館アートフェス）」2024年5月下旬

テレビ |

- ・岩手放送「じゃじゃじゃTV／エンジョイ!アートファーム!!、元気炉紹介」2024年8月17日

ラジオ |

- ・コミュニティラジオ BeFM「エンジョイ!アートファーム!!紹介」2024年4月25日
- ・コミュニティラジオ BeFM「パフォーマンスピクニック・GWイベント紹介」2024年5月2日
- ・コミュニティラジオ BeFM「エンジョイ!アートファーム!!について」2024年5月17日
- ・NHK仙台放送局「ナンダリー／アートフェス紹介」2024年6月28日

Web |

- ・八戸経済新聞「青森県内の5美術館でアートフェス／観光案内付きのガイドブックも」2024年4月25日
- ・八戸経済新聞「八戸で『エンジョイ!アートファーム!!』5人の作家が制作過程を公開」2024年4月25日
- ・八戸経済新聞「八戸市美術館でピクニックと

アートを楽しむイベント／飲食の提供も」2024年5月1日

- ・朝日新聞「八戸市美術館／市民参加型のアートプロジェクト展開中」2024年6月14日
- ・Kappo (Web版)「八戸市美術館メイン企画『エンジョイ!アートファーム!!』／参加型プロジェクトで、アートフェスの一員に」2024年8月9日
- ・八戸経済新聞「八戸市美術館『エンジョイ!アートファーム!!』の作品が完成／体験型展示も」2024年8月20日

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

6. 開催の様子



会場風景



漆畑幸男／幸福の絵描き



磯島未来／あなたからダンスを紡ぐ



しばやまいぬ／くにゆぎの森3D



東方悠平／自由の像、不自由なバナナ



蜂屋雄士／はちや写真館 家族と写真のプロジェクト



エンジョイ!パフォーマンスピクニック



栗林隆／《元気炉》2022 展示風景

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

**AOMORI
GOKAN
アートフェス
2024**

AOMORI GOKAN アートフェス 2024
「つらなりのはらっぱ」メイン企画

Enjoy! Art Farm!!

2024.4.13 SAT.—9.1 SUN.

会場 | 八戸市美術館 ジャイアントルーム
 開館時間 | 10:00—19:00
 休館日 | 火曜日、6月26日(水)
 ただし、4月30日(火)、8月13日(火)は開館
 入館料 | 無料
 八戸市美術館 〒031-0031
 青森県八戸市大字番町10-4
 Tel | 0178-45-8338
<https://hachinohe-art-museum.jp>

磯島未来
 漆畑幸男
 しばやまいぬ
 蜂屋雄士
 東方悠平

八戸市
美術館
Hachinohe
Art Museum



**AOMORI
GOKAN
アートフェス
2024**

AOMORI GOKAN アートフェス 2024
「つらなりのはらっぱ」メイン企画

Enjoy! Art Farm!!

2024.4.13 SAT.—9.1 SUN.

会場 | 八戸市美術館 ジェイアントルーム
開館時間 | 10:00—19:00
休館日 | 火曜日、6月26日(水)
ただし、4月30日(火)、8月13日(火)は開館
入館料 | 無料
八戸市美術館 〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
Tel | 0178-45-8338
<https://hachinohe-art-museum.jp>

磯島未来
漆畑幸男
しばやまいぬ
蜂屋雄士
東方悠平

八戸市
美術館
Hachinohe
Art Museum

[illegible]

55

1. 展覧会+プロジェクト

プロジェクト

エンジョイ!アートファーム!!

エンジョイ!パフォーマンスピクニック チラシ(表)

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」 関連企画

栗林隆 《元気炉》

「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」の開催地を巡回する栗林隆《元気炉》(げんきろ)が、八戸市美術館でも展示されます。

展 示

2024.8.18 (日) 8.19 (月) 8.21 (水)

八戸市美術館 (スタジオ) 10:00 — 19:00

音楽イベント

Aomori GENKI-RO Trip at 八戸市美術館

《元気炉》に加えて、栗林と共に活動する映像作家・志津野真、音楽家・栗田潤の映像とライブを楽しむ、一夜限りのイベントです。

2024.8.18 (日) 19:00 — 21:00

八戸市美術館

Aomori GENKI-RO Trip at八戸市美術館 チラシ(表)

エンジョイ!パフォーマンスピクニック チラシ(裏)

AOMORI GOKAN アートフェス 2024 「つらなりのはらっぱ」 関連企画

栗林隆 《元気炉》

「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」の開催地を巡回する栗林隆《元気炉》(げんきろ)が、八戸市美術館でも展示されます。

展 示

2024.8.18 (日) 8.19 (月) 8.21 (水)

八戸市美術館 (スタジオ) 10:00 — 19:00

音楽イベント

Aomori GENKI-RO Trip at 八戸市美術館

《元気炉》に加えて、栗林と共に活動する映像作家・志津野真、音楽家・栗田潤の映像とライブを楽しむ、一夜限りのイベントです。

2024.8.18 (日) 19:00 — 21:00

八戸市美術館

Aomori GENKI-RO Trip at八戸市美術館 チラシ(裏)

2. コレクション

収集

1. 八戸市美術館美術品等収集理念・方針

理念

地域の芸術や文化、まちの歩みに寄り添いながら、未来を見据え、多様な価値観を創出し、人を育むための美術資料の収集を行う

方針

- ・八戸市を中心とした近隣地域ゆかりのもの
- ・八戸地域における新たな魅力の創造や学びにつながるもの
- ・八戸の美術を美術史全体の中で位置づけられるもの

2. 八戸市美術館美術品等収集委員会

概要

美術品などを適正かつ公正に収集するため、八戸市美術館美術品等収集委員会規則に基づき、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例等に精通した専門家で構成する「八戸市美術館美術品等収集委員会」を設置し、収集候補作品に係る調査審議を実施。

委員

会長 | 塩田純一（美術評論家、前新潟市美術館館長、元青森県立美術館美術統括監）

副会長 | 滝尻善英（青森県文化財保護協会会長、八戸市文化財審議委員委員長）

委員 | 池田亨（青森県立美術館美術統括監）

委員 | 藤浩志（美術家、秋田公立美術大学教授）

委員 | 吉田尊子（岩手県立美術館学芸普及課課長）

開催状況

日時 | 2024年5月24日（月）10:30～12:30

場所 | スタジオ

内容 | 収集候補美術品等に係る調査審議

3. 作品収集状況

令和6年度収集作品 | 19点

内訳：工芸18点（寄贈）、版画1点（管理替え）

収蔵作品総点数

区分	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書	写真	教育版画	計
購入	14	56	55	9	56	49	0	0	239
寄贈・ 管理換	50	1,218	224	8	167	209	16	538	2,430
計	64	1,274	279	17	205	258	16	548	2,669

2. コレクション

収集

令和6年収蔵作品一覧

作者名	作品・資料名		制作年	素材・技法	サイズ (cm)
西野こよ	ミッドナイトムーン	*	1986	麻・木綿、菱刺し・刺繍	160.0×100.0
西野こよ	海嘯	*	1987	麻・木綿、刺繍	188.0×136.0
西野こよ	郡波	*	1990	麻・木綿、菱刺し	192.0×130.0
西野こよ	結	*	1991	麻・木綿、菱刺し	190.0×130.0
西野こよ	寂	*	1992	麻・木綿、刺繍	183.0×119.0
西野こよ	衣の幻想	*	1993	麻・木綿、菱刺し	126.0×182.0
西野こよ	静寂	*	1994	麻・木綿、刺繍	122.0×193.0
西野こよ	潮騒	*	1995	麻・木綿、刺繍	195.0×139.0
西野こよ	潮溜り	*	1997	麻・木綿、刺繍	184.0×145.0
西野こよ	水面	*	1997	麻・木綿、刺繍	206.0×100.0
西野こよ	満潮	*	1998	麻・木綿、刺繍	180.0×124.0
西野こよ	氷映	*	1999	麻・木綿、刺繍	182.0×123.0
西野こよ	潮霞む	*	2001	麻・木綿、刺繍	189.0×133.0
西野こよ	花の宴	*	2002	麻・木綿、菱刺し	202.0×196.0
西野こよ	潮溜り	*	2002	麻・木綿、刺繍	180.0×130.0
西野こよ	ふるさとの便り	*	2004	麻・木綿、菱刺し	205.0×148.0
西野こよ	奥入瀬の流れ	*	2004	麻・木綿、刺繍	100.0×190.0
西野こよ	初夏の奥入瀬	*	2005	麻・木綿、刺繍	181.0×111.0
棟方志功	大観自在頌の柵	**	1974	紙、木版・彩色	26.0×49.2

*寄贈 **管理替え

管理

1. 収蔵品修復

以下の資料の状態調査と修復テストを行った。

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
豊島弘尚	自画像	1954	キャンバス、油彩	91.0×65.0
豊島弘尚	Space of crack or the last empty	1972	キャンバス、アクリル	91.5×80.0
豊島弘尚	乃鷗の船たち来る・I	1998	キャンバスに銀箔、墨・岩絵具・油彩	181.8×227.3
豊島弘尚	森影光る・夜・I	2001	キャンバス、墨・岩絵具・油絵具・鉛板	181.8×227.3

(委託先：有限会社修復研究所21)

サイズは「縦×横」の順に記載。

2. 収蔵品撮影

デジタル撮影 | 99点

フィルム撮影 | 99点

(委託先：株式会社フォトセンター惣門)

3. 収蔵品貸出

作品貸出 | 該当なし

画像貸出

件数 | 2件

作者名	作品・資料名	媒体名	掲載日／発行日	利用方法
八戸市立湊中学校 養護学級生徒	虹の上をとぶ船総集編Ⅱ 花の太陽から花が降る	第55回青森県言語障がい児 教育研究大会 八戸大会要項	2024年 11月29日	表紙に使用
工藤甲人	蝶出づる山	2025年青森みちのく銀行カレ ンダー	2024年 11月1日	カレンダーへ掲載

4. その他

毎月の昆虫調査および年2回の空気環境調査を行った（委託先：イカリ消毒株式会社八戸営業所）。また、作品の保存管理のため、中性紙で保存箱（18点）を製作。

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

1. 事業内容

八戸市美術館の建物の魅力や特徴を、一緒に学び、学んだことを他の誰かに自分の言葉で伝える実践（ガイド）を通して、美術館と人をつなぎ、新たなコミュニティを育むことを目的に、2021年より実施。毎月最終土曜日の建築ツアーに加えて、毎年新規メンバーの募集および講座を行っている。講座では館長や、建築写真家の阿野太一の話を直接聞いて学ぶ場を設けたほか、十和田市現代美術館サポーターとの交流や、青森国際芸術センターの視察を行った。また、ガイドの視点で八戸市美術館の建築の魅力を伝えるパンフレットを制作した。

2. 開催概要

期間 | 通年

登録人数 | 33人（1期生10人、2期生6人、3期生7人、4期生10人）

チラシ | A4、片面

デザイン：類家舜

パンフレット | A5変形三つ折、両面

イラスト・デザイン：緒方彩乃

担当 | 山内伶奈

3. 活動内容

・建築ツアー実施

開催日 | 毎月最終土曜日①10:30～②13:30～

・建築ツアーガイド講座

十和田市現代美術館「げんびサポーター」との交流会

開催日 | 2024年5月19日（日）13:30～15:30

内容 | 館内のガイド、交流会（筆談コミュニケーション体験）。

・第1回講座

開催日 | 2024年11月24日（日）13:30～16:00

内容 | 館長レクチャー、八戸市美術館の概要説明、館内の見学など。

・第2回講座

開催日 | 2024年12月8日（日）9:00～17:30

内容 | 国際芸術センター青森（ACAC）の見学、ACACガイドとの交流。

・第3回講座

開催日 | 2024年12月22日（日）14:00～16:00

内容 | 建築写真家・阿野太一との建築ツアー。

・第4回講座

開催日 | 2024年12月28日（土）13:00～16:00

内容 | 先輩ガイドによるツアー、個人ワーク、グループワーク。

・建築紹介パンフレット「知りたいハチビ!vol.2」

制作

イラスト・デザイン：緒方彩乃

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

4. 開催の様子



建築ツアー



十和田市現代美術館「げんびサポーター」との交流会



第1回講座



第3回講座

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

5. 広報物／パンフレット

アートファーマープロジェクト

4期生募集!

八戸市美術館建築ツアーガイド講座

美術館の建物の特徴や魅力を来館者に伝える、「八戸市美術館建築ツアーガイド」4期生を募集します!
館長による講義を授けたり、参加者同士で話し合った上から、それぞれのガイドさんオリジナルのツアーコースでご案内します。先輩ガイドのみさんと一緒に、楽しく活動しましょう!

毎月、最終土曜日
①10時30分～②13時30分～
館内のガイドを行っています。

10代・70代の先輩ガイドが活躍中!

先輩ガイドの声
「世代を超えた人との出会いが楽しみです!」
「会社とは別の『もう1つの職場』」
「なっています。」
「仲間と活動する中で、それぞれの個性の活きに刺激を受けています。」

参加条件
人とお話しするのが好きな方!
活動を一層に盛り上げていただける方!

定員
10名程度

申込方法
電話又はメールで以下をお知らせください。
①参加者名
②連絡先電話番号
③学生の学年

申込・問合せ先
八戸市美術館
【電話】0178-45-8338(10:00~19:00/火曜休)
【Email】art@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

公式HP

講座スケジュール

第1回講座

八戸市美術館のコンセプトや、建物の特徴を学びます。

日時 11月24日(日) 13時30分~16時
場所 八戸市美術館1階 ジャイアントルーム
内容 館長レクチャー
八戸市美術館の概要説明
館内の見学 など

第2回講座 館外研修

他の美術館の建築や特徴を知り、美術館建築についての理解を深めます。

日時 12月8日(日) 9時~18時(予定)
集合場所 八戸市美術館
内容 国際芸術センター青森(青森市)の見学
(青森市までの移動はマイクロバスを使用予定です。)

第3回講座

建築写真家・阿野太一さんと、八戸市美術館の建築の魅力を学びます。

日時 12月22日(日) 14時~16時
場所 八戸市美術館1階 ジャイアントルーム
内容 建築写真家・阿野太一さんの建築ツアー
質問・おしゃべりタイム

第4回講座

グループワークを交えながら、自分のガイドコースを作ります。

日時 参加者と開催日時を相談して決定します。
場所 八戸市美術館1階 ジャイアントルーム(予定)
内容 先輩ガイドによる建築ツアー
個人ワーク(ガイドコースの作成)
グループワーク

チラシ

● 八戸市美術館 建築ツアーガイド ●

知りたい! ハチビ!

vol.2 ホワイトキューブの白と黒、あなただけの色に染めて~

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

TEL: 0178-45-8338 / FAX: 0178-24-4531
公式HP: <https://hachinohe-art-museum.jp>
2025年3月発行 (Illustration: J. Design / 建築家)

八戸市美術館 (ハチビ) では、アートファーマーによる建築ツアーガイドを定期開催しています。アートファーマーとは、アートでコミュニティを結ぶ、八戸市美術館の市民スタッフの総称です。美術館の建築ツアーで特徴的なのは、決まったコースがないこと。ガイドは八戸市美術館の建築物の魅力や特徴について仲間とともに学び、自分の個性を活かして伝えたいという意欲を満ち、職人も年代も異なる人々とのコミュニケーションの機会を生まれます。ツアーコースも紹介するポイントもガイドの視点ごとに異なり、ガイドと来館者、来館者と来館者で会話しあうユニークな建築ツアーも、ぜひ何回でもお楽しみください。このパンフレットでは、そんなちょっと変わったガイドの一部をご紹介します。

パンフレット (表)

アートファーマー ガイド紹介

01 ナカムラメイさん
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

02 よしのぶさん
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

03 いとうさん
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

04 たかもりさん
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

05 にづるさん
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

06 ペペサ
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

07 We are 建築ツアーガイド!!
建築家
建築家としての経験を活かして、来館者の疑問や疑問を丁寧に解説します。

パンフレット (裏)

3. アートファーマー

きむらとしろうじんじん南部町剣吉野点2024

きむらとしろうじんじん南部町剣吉野点2024

1. 事業内容

2022年、2023年に続いて、2024年も陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんを招聘し、アートファーマープロジェクトとして野点を実施した。この野点では、じんじんが素焼きのお茶碗と陶芸窯・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など、その土地の様々な場所に出現。参加者がその場で絵付けしたお茶碗をその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地の・その日・そのときの風景の中で」お茶を楽しんでもらう。

今年度は八戸市連携中枢都市圏である南部町で開催した。野点開催地を探すおさんぽ会を経て、当日は公募で集まったプロジェクトスタッフ（アートファーマー）がじんじんと共に野点を運営した。また、南部町役場の職員や町内会の方々の協力を得た。

3年連続で参加したという人や、午前中から見に来た人もおり、お茶碗の絵付けを楽しみにしている様子が見えたり、天気にも恵まれ、プロジェクトスタッフたちは穏やかな雰囲気でも運営を行った。また、同時開催として遊び場を生み出す「ごちゃまぜひろば」（ごちゃまぜひろば実行委員会主催）を実施した。

2. 開催概要

期間 | 2024年7月13日（土）～10月6日（日）

アーティスト | きむらとしろうじんじん

アートファーマー参加人数 | 24人

説明会・おさんぽ会チラシ | A4、両面

野点ポスター | A2、片面

野点・ごちゃまぜひろばチラシ | A4、両面

デザイン：類家舜（ごちゃまぜひろばは表面のみ）

担当 | 篠原英里、大澤苑美、松倉寛幸

3. 活動内容

・説明会

開催日 | ①2024年7月13日（土）10:00～12:00頃、②7月14日（日）10:00～11:45頃、③7月15日（月・祝）10:00～12:00頃

会場 | ①桜本町公民館（南部町）、②八戸市美術館スタジオ、③桜本町公民館（南部町）

参加料 | 無料

参加者数 | ①10人、②4人、③2人

内容 | 野点の運営を手伝うプロジェクトスタッフ希望者向けに、野点説明会を開催。

・おさんぽ会

開催日 | ①2024年6月10日（土）②6月11日（日）③7月15日（土）④7月16日（日）各日13:00～17:00頃

会場 | ①剣吉駅周辺、②南部町役場周辺、③剣吉駅周辺

参加料 | 無料

参加者数 | ①10人、②11人、③18人

内容 | きむらとしろうじんじんとおさんぽをして野点の開催候補地を探した。

・体験説明会

開催日 | 2024年10月4日（金）

会場 | 剣吉駅前

参加料 | 無料

参加者数 | 13人

内容 | プロジェクトスタッフ向けに道具や準備の仕方を実際に確認する体験説明会を開催。

・きむらとしろうじんじん南部町剣吉野点2024

開催日 | 2024年10月6日（日）昼ごろから日暮れまで

会場 | 剣吉駅前

参加料 | お茶碗絵付：2,500円、お抹茶：300円

参加者数 | お茶碗絵付：35人、お抹茶：20人、来場者：300人、プロジェクトスタッフ（アートファーマー）：14人

内容 | プロジェクトスタッフと共に野点を開催。

3. アートファーマー

きむらとしろうじん南
部町剣吉野点2024

4. 開催の様子



説明会



説明会



おさんぽ会



おさんぽ会



おさんぽ会



野点準備



野点



野点

3. アートファーマー

きむらとしろうじんじん南
部町剣吉野点2024

5. 広報物

2024年10月6日(日)
野点本番 開催決定!
南部町で野点を開催するため、
じんじんさんが京都からやってきます!!

八戸市美術館×南部町
きむらとしろうじんじんの
南部町野点
2024
説明会
おさんぽ会

詳しくは裏面へ!

7月13日(土)・14日(日)・15日(月・祝)
10:00~17:00ごろ

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

途中参加
部分参加 OK!

説明会・おさんぽ会 チラシ(表)

きむらとしろうじんじん野点って?

陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんが素焼きのお茶碗と陶芸家・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など、その土地のさまざまな場所に出現。参加者がその場で絵付けをしたお茶碗をその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地・その日・そのときの風景の中で」お茶を楽しんでもらう…陶芸お抹茶屋台・移動式カフェ・旅回りのお茶会です。

説明会
じんじんさんに来て野点を知ろう

10月に南部町で開催するにあたり、一緒に運営するスタッフを募集しています。参加してみたい方は、ぜひ説明会にご参加ください。(説明会だけの参加もOKです。)

おさんぽ会
野点の開催場所を探そう

じんじんさんと一緒におさんぽしながら、10月6日(日)の野点開催地を南部町の中で探します。おさんぽだけの参加も大歓迎。(1日だけの参加や途中参加もOKです。)

日程

南部町とごんぽこう	美術館から南部町へ行くこう	開催場所をみんなで決める日!
7月13日(土) 集合場所 板本町公民館 10:00ごろ 野点説明会 12:00ごろ 板本町公民館 12:00ごろ お昼休み 13:00ごろ 板本町公民館 13:00ごろ おさんぽ会 14:00ごろ 板本町公民館 15:00ごろ 板本町公民館 16:00ごろ 板本町公民館 17:00ごろ 解散	7月14日(日) 集合場所 八戸市美術館 10:00ごろ 野点説明会 11:45ごろ 八戸市美術館 12:45ごろ お昼休み 13:15ごろ バス乗車 13:15ごろ 南部町行き 13:15ごろ おさんぽ会 16:30ごろ 南部町役場前 16:30ごろ 板本町公民館 17:00ごろ 板本町公民館 17:00ごろ 解散	7月15日(月・祝) 集合場所 板本町公民館 10:00ごろ 野点説明会 12:00ごろ 板本町公民館 12:00ごろ お昼休み 13:00ごろ 板本町公民館 13:00ごろ おさんぽ会 14:00ごろ 板本町公民館 15:00ごろ 板本町公民館 16:00ごろ 板本町公民館 17:00ごろ 板本町公民館 17:00ごろ 解散

参加方法
1.参加者氏名、2住所、3連絡先、4参加日時を電話または
八戸市美術館HP申込フォームでお知らせください。
申込フォーム <https://hachinohe-art-museum.jp/contact/>
主催・申込先 八戸市美術館 0178-45-8338
この事業は(18歳)未満の児童・児童館開館時の支援を受けて実施しています。

説明会・おさんぽ会 チラシ(裏)

2024.10.6日
昼ごろから日暮れまで
会場 南部町剣吉駅前

八戸市美術館×南部町
きむらとしろうじんじん
なんぶちょうけんよしのだて
南部町剣吉野点 2024

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

お茶碗絵付け 2,500円 お抹茶 300円
入場無料 申込不要 雨天決行

陶芸お抹茶屋台・移動式カフェ・旅回りのお茶会です
同時開催 ごちゃまぜひろば

主催 八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字剣吉10-4
TEL 0178-45-8338 e-mail art@city.hachinohe.aomori.jp
協力 南部町、剣吉ストリート活性化委員会

野点・ごちゃまぜ広場 ポスター/チラシ(表)

大人も子供も一緒に楽しむ日曜日
ごちゃまぜひろば
vol.5 南部町剣吉駅前で遊ぼう!

主催 八戸市美術館
実行委員会
後援 南部町役場
愛入協議会
後援 南部町

入場無料!

みんなにとって「駅」って
どんな場所だろう?
通話や読書の通話点?
それとも友人との待ち合わせ場所?
まちの玄関口でもある駅を遊び場にしたら
一体どんな風景が見えるだろう...
答えは当日のお楽しみ!

10月6日(日)
12:00頃~17:00頃
剣吉駅前に集まれ!
(南部町大字剣吉字大坊13)

※小学生未満のお子様は保護者同伴でのご来場をお願いします。

お問い合わせ
タノカファーム(田中緑乃) ☎080-6148-2973

野点・ごちゃまぜ広場 チラシ(裏)

創作ゲーム展 あそらぼ!ep3.自然と共に

1. 事業内容

八戸在住の映像作家・マーティー松橋をはじめとした「あそらぼ!実行委員会」による冬休みイベント。3年目の開催となる2024年は「自然と共に」をテーマに、アートファーマーがフィールドワークを行いながら展示作品「巨大すごろく」を制作するとともに、会期中の運営を行った。

2. 開催概要

期間 | 2024年12月21日(土)～2025年1月6日(月)

対象 | 中学生以上

活動人数 | 30人(運営メンバー17人、クラフターメンバー13人)

チラシ | A4、両面

デザイン: 増田くみ子

主催 | あそらぼ!実行委員会、八戸市美術館

担当 | 山内伶奈

3. 活動内容

①キックオフミーティング

開催日 | 2024年6月15日(土) 13:30～16:30

場所 | 会議室

②初夏のフィールドワーク

開催日 | 2024年7月6日(土) 10:00～16:00

場所 | 青葉湖ほか(美術館集合後バス移動)

③秋のフィールドワーク

開催日 | 2024年9月7日(土) 10:00～16:00

場所 | 階上岳・種差海岸ほか(美術館集合後バス移動)

④活動日

内容 | 展示作品「巨大すごろく」の制作

開催日 | 2024年7月15日(月・祝)、7月28日(日)、

8月24日(土)、10月19日(土)、11月9日(土)、11月9日(土)、12月7日(土) 各日13:30～16:30

追加活動日 | 2024年10月20日(日)、10月26日(土)、10月27日(日)、11月2日(土)、11月4日(月・祝)、11月10日(日)、11月16日(土)、11月17日(日)、11月23日(土)、12月1日(日)、12月8日(日)、12月15日(日) 各日13:30～16:30

場所 | 会議室、ワークショップルームほか

・創作ゲーム展 あそらぼ!ep3.自然と共に

開催日 | 2024年12月21日(土)～2025年1月6日(月)

会場 | スタジオ、ワークショップルーム

観覧料 | 無料

入場者数 | 2,940人

内容 | 「巨大すごろく」の展示、来場者の案内や見守り、来場者が自由に創作体験できるワークスペースの運営。

※賑わい創出事業の詳細はp.88を参照

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・東奥日報「アートなゲーム みんな夢中／市美術館冬休みイベント」2025年1月12日

3. アートファーマー

創作ゲーム展 あそぼ！
ep3.自然と共に

5. 開催の様子



キックオフミーティング



初夏のフィールドワーク



活動日



追加活動日



会場風景



会場風景

3. アートファーマー

創作ゲーム展 あそらぼ！
ep3.自然と共に

6. 広報物

創作ゲーム展

あそらぼ！ep3

自然と共に



ファンタジーキルド
伝説的作家、戸川幸夫の創作

2024年
12/21(土) ~ 12/28(土)

2025年
1/2(木) ~ 1/6(月)

📍 場所：八戸市美術館 スタジオ ● 時間：10:00～18:00 (12/28, 1/2, 3, 6は10:00～17:00)

あそらぼ！実行委員会とは
映画作家・マザー・和歌山 (八戸市在住)を中心に活動する
遊びの研究所。遊びをとおして「笑顔」を育み、新しい楽し
さを創造することを目的として「ものづくりで遊ぶ」「仲間と
遊ぶ」「自然の中で遊ぶ」をコンセプトに活動しています。

入場料無料

詳しくはこちら ▶▶▶
八戸市美術館ゲームページ

八戸市
美術館
Hachinohe
Art Museum

チラシ (表)

今年のテーマは「自然と共に」。

「あそらぼ！実行委員会」と美術館の市民スタッフ「アートファーマー」が
ミニゲームいっぱい「巨大すごろく」を共同制作しました。

自然とあそんでうまれた、創作の世界をお楽しみください。

オリジナルのランプをつくりまそう！

あそらぼ！ワークショップ①
「クリスマスランプをつくろう」

2024年
12月21日(土) 10:15～12:15
22日(日) 13:30～15:30

【講師】鈴木真史 (工芸家)
【定員】各回10組
【参加料】1,000円
【場所】ワークショップルーム
【申込】12月9日(月)10:00受付開始

あそらぼ！ワークショップ②
「和風ランプをつくろう」

2025年
1月4日(土) 13:30～15:30
5日(日) 10:15～12:15

【講師】鈴木真史 (工芸家)
【定員】各回10組
【参加料】1,000円
【場所】ワークショップルーム
【申込】12月9日(月)10:00受付開始

あそらぼ！トークプログラム
「何もないから工夫する
ー好奇心が生み出すものー」

2025年
1月5日(日) 14:00～16:00

【講師】川村久美 (映画のカメラマン、マデッソハウスの店主)
【定員】30名
【場所】ジャイアントルーム

冬休みのイベントスケジュール

2024年 12月	21日(土) 22日(日)	あそらぼ！創作ゲーム展 (～1月6日) あそらぼ！ワークショップ①
4日(土) 5日(日)	■「デジタル光画展で見る屏風の世界」 新春 お茶会体験 12:00～15:00 【定員】各回100名 【申込費】200円 あそらぼ！ワークショップ② あそらぼ！トークプログラム	
11日(土) 12日(日)	■屏風のなかを飛ぶ親子 青森の版画教育 ギャラリートーク 11:00～12:00 ■コレクションラボ 009 リビングルーム ギャラリートーク 13:00～13:40 ■「デジタル光画展で見る屏風の世界」 新春 雪と花の展へ 14:00～ 【定員】各回10組 【申込】1,000円 【申込】12月20日(金)10:00受付開始	
13日(月)	■「デジタル光画展で見る屏風の世界」 お正月を楽しむ 羽子振づくり ①10:00～12:00 ②13:00～15:00 【講師】山田 隆 【定員】各回10組 【申込】1,000円 【申込】12月20日(金)10:00受付開始	

同時開催中

■屏風のなかを飛ぶ親子 青森の版画教育
2024年1月13日(月)～14日(火)まで
【観覧料】一般1,000円、小学生・中学生500円
高校生以下無料 ※各回観覧1回限り

■コレクションラボ 009 リビングルーム
2025年2月24日(日)まで

■版画展「デジタル光画展で見る屏風の世界」
2025年1月2日(日)～1月20日(日)

八戸市
美術館
Hachinohe
Art Museum

〒031-0001 青森県八戸市大字町10-4
Tel. 0178-45-8338 Fax. 0178-24-4531
開館時間 10:00～19:00
休館時間 12月28日～31日は10:00～17:00
※休館日 毎週火曜日、12月29日～1月1日
※一部駐車場はございません。(無料の駐車場2台あり)

チラシ (裏)

美術館広報部

1. 事業内容

アートファーマーならではの視点と発想で美術館事業の情報や魅力を発信することを目指し、広報部を発足。7月から月1回のペースで講座やミーティングを行った。

2. 開催概要

活動期間 | 2024年7月～ 10回

登録者数 | 9人

チラシ | A4、片面

担当 | 山内伶奈

3. 活動内容

活動日・内容 |

2024年7月15日（月・祝）キックオフミーティング

8月24日（土）聞き書きワークショップ（ゲスト：瀬尾夏美）

9月8日（日）ミーティング

10月19日（土）インタビュー&ライティング講座（ゲスト：栗本千尋）

11月17日（日）ミーティング

11月30日（土）建築紹介映像撮影

12月7日（土）ミーティング

2025年1月13日（月・祝）ミーティング

2月9日（日）ミーティング

3月23日（日）ラジオ番組制作についてのレクチャー（ゲスト：藤ヶ森高子・ニッ森護真 [BeFM]）

メディア出演 | 2025年3月27日（木）18:10 ごろ
BeFM ゆうらじはちのへ内

3. アートファーマー

美術館広報部

4. 開催の様子



活動日



活動日



活動日



メディア出演

5. 広報物

アートファーマープロジェクト

美術館広報部 メンバー募集

美術館で感じたことを発信してみよう！

美術館広報部では、美術館での体験やインタビューをおして、参加者ならではの視点で「なぜ、そのような取り組みをしているのか？」「私はどのように感じたのか？」を記録・発信していきます。

活動内容

- ・簡単な動画の制作
- ・ラジオ収録
- ・ホワイトボードでの情報発信
- ・web記事の作成(資料利用者を取材)

など、メンバーと相談しながら活動します。

活動日程

キックオフミーティング

日時 | 7/15 月- 10:15~12:30
場所 | スタジオ

八戸市美術館について在籍員も館長からレクチャーを受けたあと、活動内容やスケジュールを相談します。

8月の活動日

日時 | 8月24日 (土) 13:00~16:00
場所 | ギャラリー1

前半は「記録」を手法とするアートプロジェクトを手掛けるアーティスト・瀧尾夏美さんから、人々の活動を記録していくうえで大切にしていることについてお話を伺います。後半は通常の活動です。

9月の活動日

日時 | 9月7日 (土) 13:30~16:30
場所 | ワークショップルーム

10月の活動日

日時 | 10/19 (土) 10:15~12:30
場所 | ジャイアントルーム

八戸市在住のライター・栗本千尋さんから、多くの人に向けて分かりやすい発信をしていくためのインタビュー＆ライティングについてお話を伺います。

定員

10名程度

参加条件

中学生以上(参加無料)

※すべての方に参加できなくてもOK!

11月以降の活動日程は、決まり次第参加者にお知らせします。

申込

7/14(日)まで

電話又はメールで、①参加者氏名②電話番号③学生の方は学年をお知らせください。

活動期間

通年、毎月1回、全体活動日があります。

申込・問い合わせ先

八戸市美術館
TEL : 0178-45-8338
Mail : artcity.hachinohe.aomori.jp

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

チラシ

アートファーマーミーティング2025

1. 事業内容

八戸市美術館の活動に参加するアートファーマーが集い、各プロジェクトの活動報告や他のプロジェクトのアートファーマーと交流を行う機会として、アートファーマーミーティングを開催。ゲストとして、居間 theaterの稲継美保を迎え、活動に対するコメントや質問、また、居間 theaterの活動紹介を行った。また終了後には、お茶会を開催し、アートファーマー同士やゲストとの交流の機会を持った。

それぞれの活動を客観的に振り返るとともに、今後の活動への気づきや学びを得て、活動のモチベーションアップにつなげることを目的として開催している。

2. 開催概要

開催日 | 2025年3月20日 (木・祝) 13:30~17:30

ゲスト | 稲継美保 (居間 theater)

進行 | 佐藤慎也 (八戸市美術館館長)、山内伶奈

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 30人 (うち、アートファーマー12人)

チラシ | A4、片面

デザイン：類家舜

担当 | 山内伶奈

3. 開催の様子



アートファーマーミーティング



アートファーマーミーティング

4. 広報物



チラシ

アートファーマー企画 MEETIUM

1. 事業内容

アートファーマーの自主企画として、アートファーマープロジェクト「建築ツアーガイド」で活動する八戸北高校3年(当時)・佐々木美保さんが主体となり、交流を生み出す場について考えるワークショップ「MEETIUM」を企画・実施。テーマに対するいろんな世代の考えを共有しながら、よりよい八戸にするための「企画書」づくりを目指した。

2. 開催概要

第2回テーマ「八戸市美術館だからこそできる「人との交流」とは？」

日時 | 2024年5月19日(日) 10:30~12:00

会場 | スタジオ

参加料 | 無料

参加者数 | 12人

内容 | 八戸市美術館だからこそできる「人との交流」について考える、グループ討議と発表。

主催 | Meetium

3. 開催の様子



活動の様子



活動の様子



活動の様子

4. 学校連携

学校連携事業

1. 事業内容

八戸市美術館では、アートの学びを重視し、小学校・中学校・高等学校などの教育機関との連携強化を計画に掲げている。令和2年度に設置した「学校連携プロジェクトチーム」は、小中高の教員と美術館学芸員、専門家で構成されており、児童生徒の個々の価値観や美意識を醸成し、一人ひとりがアートを通して自立する機会をつくるために、互いにアイデアを出しながら協力し、活動している。これまでの活動の中で、教員は、美術館との連携授業やプロジェクトを考えたり、実際にそれを実践して観察し、授業へ活かしたりしている。また、校種の異なる教員と協力、交流することで、多くのことを学び合っている。同時に、八戸市美術館の学芸員も、教員から教育のあり方を学び、美術館の事業に活かしている。令和6年度は、引き続きプロジェクトを実施するとともに、出張授業、校内研修を行い、子どもたちの学びの場を広げ、学校との連携の在り方を拡充した。

2. 開催概要

実施期間 | 通年

担当 | 篠原英里、田村由衣、類家舜

3. 実施プログラム

・学校連携プロジェクトチーム

①全体会議

開催日 | 2024年6月20日（木）、11月21日（木）

参加者数 | 小学校：7人、中学校：5人、高等学校：3人、専門家：三澤一実（武蔵野美術大学教授）、学芸員：2人、学校連携コーディネーター：1人

内容 | プロジェクトチームのメンバー（小中高教員、美術教育専門家、美術館スタッフ）による全体会議を2回開催し、今後の活動について話し合った。また、三澤から全国の美術教育の事例を学ぶなど、授業に活かせる会議を行った。

②みんなでじっくり鑑賞ナビ

開催日 | 2022年6月1日（土）、6月22日（土）

参加メンバー | 柴田由美子（八戸市立東中学校）、清野恵（青森県立八戸東高等学校）

参加者数 | 10人、11人

内容 | 展覧会「展示室の冒険」の学校連携企画として、学校連携プロジェクトチーム所属の先生2名による鑑賞のナビゲートを行った。

③美術館新聞部プロジェクト

開催日 | 2021年3月22日（月）から継続して活動

参加校名 | 八戸市立大久喜小学校、青森県立八戸工業高等学校

参加者数 | 14人

内容 | 小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。美術館来館者や周辺店舗への取材、イラストカットづくりなどを経て、令和7年3月末に第4号を刊行した。

④「はみ出す力展vol.6～図工・美術の授業展2024～」開催

会期 | 2025年1月23日（木）～1月26日（日）

会場 | ギャラリー1・2

内容 | 「はみ出す力」をテーマに、各地の幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校や大学などで行われた造形美術の授業実践を紹介する展覧会を八戸で開催した（これまで埼玉県で開催）。学校連携プロジェクトメンバーが出展し、設営撤収作業を行った。

・学校連携

①朝鑑賞ファシリテーター研修

開催日 | 2024年7月3日（水）、11月13日（水）

場所 | 八戸市立多賀小学校、八戸市立鮫中学校

参加者数 | 12人、12人

内容 | 学校での朝鑑賞推進のため、希望する学校に教員向けの対話鑑賞のファシリテーション研修を行った。

②出張授業「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」

開催日 | 2024年12月3日（火）、12月9日（月）、12月11日（水）、12月18日（水）

場所 | 青森県立八戸東高等学校、八戸市立江陽中学校、八戸市立鮫小学校、八戸市立田面木小学校

4. 学校連携

学校連携事業

参加者数 | 268人 (延べ)

内容 | 展覧会「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」に関連し、教育版画に触れる機会や美術館へ足を運ぶきっかけづくりとして、希望する学校への出張授業を実施。

③学校連携事業活動報告冊子作成

内容 | 美術館の利活用を促進するため、令和2年度～6年度までの学校連携事業を紹介する冊子を作成し、市内の学校や全国の美術館などに配布。

サイズ : A4、24頁

編集 : 田村由衣、篠原英里、類家舜／執筆 : 田村由衣、篠原英里、大澤苑美／デザイン : 東北のデザイン社／発行日 : 2025年3月／発行 : 八戸市美術館

4. 学校連携

学校連携事業

4. 学校受け入れ実績

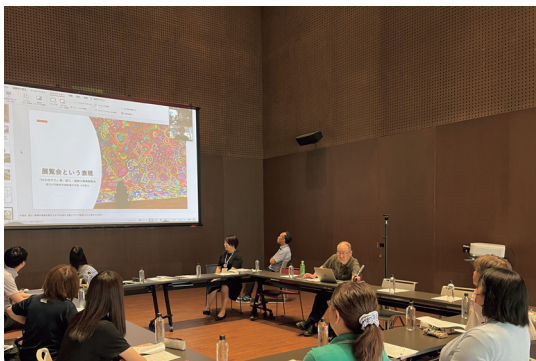
来館日	学校名	学年	児童・生徒数
2024年5月29日（水）	八戸市立小中野中学校	1学年	15人
2024年6月3日（月）	八戸市立下長小学校	3学年	59人
2024年6月21日（金）	八戸市立多賀小学校	3・4学年	32人
2024年7月3日（水）	八戸市立南浜中学校	全校生徒	21人
2024年7月8日（月）	八戸市立城北小学校	3学年	55人
2024年7月18日（木）	青森県立八戸中央高校		72人
2024年7月18日（木）	青森県立八戸第二養護学校	小学生	5人
2024年7月19日（金）	青森県立八戸第二養護学校	中学生	10人
2024年7月19日（金）	八戸市立鮫中学校		43人
2024年7月19日（金）	青森県立八戸聾学校	3・4・5学年	7人
2024年7月31日（水）	八戸工業大学第二高等学校	2学年	40人
2024年9月5日（木）	八戸市立第三中学校	2学年	4人
2024年9月5日（木）	八戸市立大館中学校		19人
2024年9月5日（木）	三戸町立三戸小学校	5学年	47人
2024年9月12日（木）	五戸町立切谷内小学校	5学年	8人
2024年9月20日（金）	八戸市立多賀小学校	1・2学年	30人
2024年9月27日（金）	八戸市立八戸小学校	2学年	4人
2024年11月6日（水）	八戸中央高校通信制		17人
2024年11月7日（木）	八戸市立明治中学校		41人
2024年11月15日（金）	八戸市立城北小学校	3学年	53人
2024年11月21日（木）	南部町立南部小学校	5・6学年	37人
2024年11月21日（木）	八戸市立市川中学校	1学年	29人
2024年11月22日（金）	八戸市立桔梗野小学校	5学年	8人
2024年11月22日（金）	八戸市立小中野小学校		41人
2024年11月28日（木）	八戸市立田面木小学校	3学年	30人
2024年11月29日（金）	八戸市立白鷗小学校	5学年	35人
2024年12月26日（木）	八戸あおば高等学院		19人
2025年2月6日（木）	青森県立八戸高等支援学校		12人
2025年2月7日（金）	八戸市立江南小学校		6人
2025年2月10日（月）	八戸市立田面木小学校	5学年	37人

来館児童・生徒数 | 836人

4. 学校連携

学校連携事業

5. 開催の様子



全体会議



みんなでじっくり鑑賞ナビ



みんなでじっくり鑑賞ナビ



美術館新聞部プロジェクト



はみ出す力展vol.6～図工・美術の授業展2024～



はみ出す力展vol.6～図工・美術の授業展2024～



朝鑑賞ファシリテーター研修



出張授業「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」

4. 学校連携

学校連携事業

6. 制作物

「とれたて! すまーと!」
SMILE ART

第4号
2025年3月発行

新開部キョウクアール「すまうまくん」

「風の中を飛ぶ種子 青森の教育版画」
(令和6年10月12日～令和7年1月13日)

《星空をベガサスと牛が飛んでいく》『虹の上をとぶ船 総集編II』
八戸市立津中学校養護学級生徒作 1976、八戸市美術館蔵

石の作品は、あの有名な宮崎駿監督の映画『魔女の宅急便』の劇中画のモデルとして知られています。私たちの身のまわりには、実はさまざまなところに版画があります。特に青森県では、小学校の頃から版画にふれる機会があります。それは今純三をはじめとする青森の版画家たちが広め、さらに教師でもある大田耕士が中心となった「教育版画運動」の影響で、全国にも広がっていったのです。

《無島の海猫》『青森県画譜第2集』
今純三 作 1933、青森県立郷土館蔵

次に、私たち美術館新聞部お気に入りの版画作品をご紹介します。八戸に住む私たちにとって身近な無嶋神社とワミネコが、細かいてころまで美しく表現されています。

今純三は、青森の自然や暮らしをテーマにたくさんの作品を制作し、青森を代表する版画家として知られています。みなさんぜひ版画作品の繊細な美しさをじっくり感じてみてください!
(田端祐次、絶名 様)

《次郎の金魚》
「浮世絵コンチは タイカンする江戸文化」
2025年4月19日(土)～6月15日(日)

なになに
Youは何しに美術館へ?
Why did you come to the Hachinohe Art Museum?

インタビュー 大久喜小学校 5年 副島 美穂 6年 岩崎 聖

今年の抱負を書き初めました!

親子で来た You 馬内さん親子
前田、祖母ときた時、子供がホワイトボードに楽しく絵を描いていたのでまた来たそうです。木のおもちゃが楽しかったので子供が遊べることを増やしてほしいという要望がありました。文字は「クラゲ」で、意味は、クラゲの気分だったそうです。

台湾から来た You キキさん

日本のお店で働いている彼の付き添いで来たそうです。近くのホテルに泊まっていて、美術館を訪れたのは去年と今年で2回目だそうです。

書道2段の You 畑中さん
版画が好きで美術館を見に来ています。2年前に違う企画展を見に行ったことがあるそうです。お仕事を休んで、東京から半日ほど滞在して美術館に来るのを楽しんでいます。『流』の意味は、「新しいチャレンジ」をしていきたいからだそうです。

美術館設計者の You 西澤さん
スイスに住んでいる建築家の貝島純代さんを案内するために来ていました。今までの展覧会は全て見てきているそうです。「外」は、去年はアイデアを溜め込んでまとめることが多かったため、今年は外にいろんな情報を発信していきたいと思ったそうです。

1年ぶりに再会した大学生の You 楽拳
別々の大学に入っている大学生2人組です。所属しているサークルに關する一文字を書いてくださいました。八戸市美術館へ来たのは初めてのようですが、大学生になってから美術館や博物館へ行き地域のつながりについて学んでいるそうです。
(インタビューサポート: 佐々木美穂、石橋愛菜、山野下心愛、川村有葉)

夫婦でデートにきた You 高橋さん夫妻
美術館に来るのは初めてで、ホワイトボードで絵を描いたりしていました。今年の一文字は、高橋さんの「流」には流れるように生きていく。高橋さんの「健」には健康に生きるという意味が込められているそうです。

美術館新聞部制作「とれたて!すまーと!」(表)

ハ戸彩画堂
SAIGADO さんに
お邪魔しました!

住所:
八戸市城下1丁目2-10
1階は画廊売り場、2階はギャラリーとカフェがあります。

ハ戸美風景展・ミニ額装展 見学
油絵、水彩画、アーティスト八橋馬などたくさんのお客さん作品がありました。部員のみんな楽しく見学し、絵のアイデアをもらうことができました。

本報八橋馬 すまうまくん

インタビューしました

Q. おすすめの画材は何ですか。
A. お客様がほしいものに合った画材を紹介しています。

Q. めずらしい画材はありますか。
A. 画の形をした筆や、変わった形のペインティングナイフなど、おもしろい画材があります。

Q. 絵を描くのに慣れていない人は、どんな画材から始めるといいですか?
A. 水だけで描けるものや、後かたづけが簡単なものなど、ライフスタイルに合わせた画材をおすすめしています。

Q. 商品の仕入れにこだわりはありますか。
A. 見ていて楽しいものや、手にとりやすい価格のものです。材料の良さや、どれくらいめずらしいかよく見てから仕入れています。

Q. 普段は絵を描きますか。
A. 絵は描きません。自分の考えにとらわれず、お客様の気持ちになって画材を選ぶためです。お客さんが作品に使う色や道具を見て、仕入れのヒントにしています。
(赤井亜子、宮内瑞穂)

買ったもののレビュー!

チューブしぼり 筆
★★★★★
残り少ない絵の具を出すときのイライラが軽減。間にはさんで巻くだけで簡単に使えて良い!

筆
★★★★★
描きごちがなめらかで描きやすく、筆が硬いもので色が整いやすい!

顔彩(画彩の絵具)
★★★★★
墨と分顔色の2つを買いました。墨は思ったより発色がよく、筆淡が出しやすい!分顔色は簡単にグラデーションができて楽しい!

《編集後記》
今回の新聞では「裝飾」をぜひ見てほしいです。彩画堂さんのコーナーは担当の2人が手描きで枠やタイトル、花や鳥などの裝飾を描きました!手描きでしか味わえない温かみのある記事になっているのでぜひ!そこにも注目してみてください。
新聞の中にたくさんいる「すまうまくん」もメンバーみんなで描きました。同じ柄のすまうまくんを見つけてみてね!
次号もお楽しみに!
(編集長: 八戸工業高校 佐々木 美穂)

そ...くり...?な すまうまくん
大久喜小学校 6年 岩崎 聖

リビングスペースへ すまうまくん
大久喜小学校 6年 高橋 万葉

美術館新聞部制作「とれたて!すまーと!」(裏)

4. 学校連携

学校連携事業

2020—2025

八戸市美術館
学校連携事業
活動報告



「八戸市美術館学校連携事業活動報告」

大学・高専連携事業

1. 事業内容

美術館の特徴である「アートの学び」の具現化に向けて、美術館の事業の柱の1つである大学との連携により大学ならではの資産を活用したアートを通じた人材育成に関する事業を行っている。
八戸学院まちなかラボをはじめとする様々な活動スペースの利活用や、大学と連携した事業の方向性を探り、人材育成や地域の活性化、アクセシビリティの向上につなげる事業を展開した。

2. 開催概要

期間 | 2024年4月～2025年3月

委託先 | 八戸学院地域連携研究センター

担当 | 番沢裕子

3. 実施プログラム

・三校連携創作体験ワークショップ

内容 | 八戸学院大学・八戸工業大学・八戸高専の三校の教員が講師となり、美術とは異なる分野の視点からワークショップを開催する。

①アートな吹き流し制作ワークショップ

開催日 | 2024年6月16日(日) 13:30～16:00

講師 | 池田拓馬(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科准教授)、船山哲郎(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科講師)

会場 | スタジオ

参加者数 | 21人

②音のなる絵本を創ろう

開催日 | 2024年11月3日(日) ①13:00～14:00

②14:30～15:30

講師 | 桶本まどか(八戸工業大学工学部工学科システム情報工学コース助教)

会場 | スタジオ

参加者数 | 22人(①11人(同行者19人)②11人(同行者13人))

③ブリリアント・ミネラル

開催日 | 2024年11月9日(日) 10:30～12:30

講師 | 土屋範芳(八戸工業高等専門学校校長)

会場 | スタジオ

参加者数 | 19人

・学生×社会人のアートの学び実践講座事業 Accessibility向上実践会議

講師 | 大谷郁(東京都庭園美術館学芸員)

会場 | スタジオ

内容 | 近年、ミュージアムにおける重要な基本概念となっている「多様性(Diversity)、公平性(Equity)、アクセシビリティ(Accessibility)、包摂性(Inclusion)」の4つの視点をベースに、学生と社会人が共にディスカッションなどを行いながら、「利用のしやすさ=アクセシビリティ」について考え、実践に繋げる講座

①第1回「誰もが利用しやすい美術館とは？」

開催日 | 2024年10月18日(金) 18:30～20:40

参加者数 | 9人

②第2回「美術館の利用しやすさを考える パート1」

開催日 | 2024年11月16日(土) 13:30～15:40

参加者数 | 12人(内3人は、車いすアドバイザーとしてご参加)

③第3回「美術館の利用しやすさを考える パート2」

開催日 | 2024年12月7日(土) 13:30～15:40

参加者数 | 11人(内2人は、外国籍の方のご参加)

・美術館のアクセシビリティ向上事業

内容 | 子育て世代が美術館に気軽に来館できる機会と、学生の実践的な学びの機会を創出するため、八戸学院まちなかラボを活用した取組を行う。

①託児スペース

開催日 | ①2024年8月31日(土)②9月29日(日)

③10月14日(月・祝)④11月3日(日)⑤12月22日(日)⑥2025年1月26日(日) 各日10:00～16:00

会場 | 八戸学院まちなかラボ

利用者数 | 40人(①10人②6人③2人④11人⑤5人⑥6人)

利用料 | 無料

内容 | 美術館の展覧会の会期中、「八戸学院まちなかラボ」に、保育士を目指している学生が運営

4. 学校連携

大学・高専連携事業

する託児スペースを開設する。

②ハッピーファミリーアワー

開催日 | ①2024年8月23日(金)②12月26日(木)③2025年2月26日(水) 各日10:00～13:00

会場 | キッズスペース(ジャイアントルーム内)

内容 | 展覧会開催期間中に、小さな子どもとその家族が気兼ねなく鑑賞できる日「ハッピーファミリーアワー」を運営する。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「七夕吹き流し思い思いに／八戸学院制作ワークショップ／家族連れ、ユニークな素材使い」2024年6月20日
- ・デーリー東北「美術館、親子で気軽に／八戸短大生が鑑賞サポート」2024年8月29日
- ・デーリー東北「物語に合う音探そう／市美術館親子連れ、絵本に効果音」2024年11月8日

4. 学校連携

大学・高専連携事業

4. 開催の様子



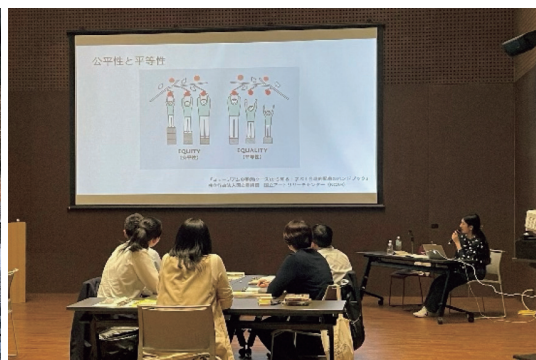
アートな吹き流し制作ワークショップ



音のなる絵本を創ろう



ブリリアント・ミネラル



Accessibility向上実践会議



託児サービス



ハッピーファミリーアワー

4. 学校連携

大学・高専連携事業

5. 広報物

【八戸市委託】令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携「創作体験ワークショップ」

ハ戸セタ祭り
アートな
吹き流し
制作ワークショップ

八戸も少費財を認め、吹流し制作の制作ワークショップを実施いたします。よく目にするものとは一味違う、アートな吹き流しを制作いたします。ご興味のある方は、是非ご参加ください。

6月16日(日)
13:30～16:00
(受付13:00～13:30)

会場：八戸市美術館 1階「スタジオ」

講師：池田 拓馬
船山 哲郎

要申込：※参加費は無料のQRコードより申込フォームの記入をお願いします。
16月14日(金)7時

お問い合わせ：八戸学院地域連携研究センター
TEL:0178-25-2789
E-mail:research@hachinohe-u.ac.jp

アートな吹き流し制作チラシ

R6「大学資産を活用したアートの学び事業」の三校連携
「創作体験ワークショップ」

音のなる絵本を創ろう

パソコンを使って、絵本に音楽をつけて、オリジナルの音のなる絵本を創ろう！

会場：八戸市美術館 スタジオ

対象：小学生以下
開催日時：2024年11月3日(日)
第1部 (13:00～14:00)
第2部 (14:30～15:30)
定員：各回10組

参加費：無料

講師：八戸工業大学 助教 橋本まどか
(システム情報工学コース)

お問い合わせ・申し込み先
八戸学院地域連携研究センター
mail: research@hachinohe-u.ac.jp
tel: 0178-25-2789

申込フォーム
https://qr.paps.jp/w/2999

音のなる絵本を創ろうチラシ

【八戸市委託】令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業
三校連携「創作体験ワークショップ」

ブリリアント・ミネラル

2024年11月9日(土)
10:30～12:30
会場：八戸市美術館
ジャイアントルーム

定員10名(中学生以上)
当日受付あり(若干名)

参加無料

講師：八戸工業高等専門学校 校長 土屋 純芳
専門：資源工学・地球工学

お問い合わせ先
八戸学院地域連携研究センター事務局(担当：有光・船山)
TEL:0178-25-2789 E-mail: research@hachinohe-u.ac.jp

ブリリアント・ミネラルチラシ

【八戸市委託事業】令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業
アクセシビリティ
向上実践会議

アクセシビリティとは＝利用のしやすさ

「美術館の魅力を知ってほしい」「あの人にも美術館を楽しんでほしい」など、さまざまな思いがある人たちに「美術館に来てもらうためにはどうしたらいいのかな?」「どうやったらもっと多様な人たちが集う美術館になるのかな?」など、参加者自身で体験し、課題を出し合い、その解決策を共に考え実践につなげるワークショップを実施します

参加無料 全3回 ※すべて参加できなくてもOK

1. 10月18日(金) 18:30～20:30
2. 11月16日(土) 13:30～15:30
3. 12月7日(土) 13:30～15:30

定員 30名 ※先着順、定員になり次第締め切ります。

会場 八戸市美術館 1Fスタジオ

Accessibility向上実践会議チラシ

【八戸市委託事業】令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業
Accessibility向上実践会議

プログラム

第1回 誰もが利用しやすい美術館とは?
アクセシビリティの基本的な考え方を学んでから、八戸市美術館を視察してみよう!

第2回 美術館の利用のしやすさを考える①②
車椅子を利用する方や、外国人の方にインクルーシブを促して、美術館を利用しづらい人の悩みを聞き「利用しやすくなるための策」をみんなで考えてみよう

講師 大谷 郁氏
東京都美術館 学芸員
東京藝術大学特任助手として大学と美術館の連携事業「とびらプロジェクト」に専事し、美術館での社会的な学びの場づくりに関心を持つ。2020年より現職。学校との連携の他、障害のある方や乳幼児と家族、外国にルーツがある人々など、様々な対象に向けたプログラムの企画に取り組み。

お申込みフォーム
https://qr.paps.jp/ARzx

申込み締め切り 10月15日(火)
10月15日(火) 10:00～12:00
https://qr.paps.jp/ARzx

美術館が好きな方や美術館の取組に興味がある方、どなたでもご参加ください。外国人の方も大歓迎!やさしいにほんごでお話します!

お問い合わせ先 八戸学院地域連携研究センター
research@hachinohe-u.ac.jp
0178-25-2789

Accessibility向上実践会議チラシ

【八戸市委託】「令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業」

八戸市美術館
×
託児ルーム

当日受付無料

子育て世代の方々に美術館をお気軽にご利用いただけるように八戸学院大学短期大学部の教員と保育士を目指している学生による無料託児室を開設します

8月31日(土) 9月29日(日)
10月14日(月) 11月3日(日)
12月22日(日) R7 1月26日(日)

八戸市美術館 2階「まちなカラボ」
10:00～16:00

※美術館来園者のためのサービスです
※自由、おむつや飲み物をお持ちください
※入場人数に限りがございますので、ご利用できない場合もあります

お問い合わせ先 八戸学院地域連携研究センター
0178-25-2789 research@hachinohe-u.ac.jp

託児ルームチラシ

【八戸市委託事業】令和6年度大学資産を活用したアートの学び事業

当日受付
HAPPY FAMILY HOUR

八戸学院大学短期大学部
八戸市美術館

保育士を目指している幼児保育学科の学生と教員がサポートいたします
①展覧会鑑賞時のサポート
②キッズスペースでの託児サービス

8月23日(金)
10:00～13:00

対象者：小さい子どもがいるご家族
受付：キッズスペース

お問い合わせ先 八戸学院地域連携研究センター
0178-25-2789 research@hachinohe-u.ac.jp

ハッピーファミリーアワーチラシ

5. イベント

賑わい創出事業

1. 事業内容

美術館にまだ来たことがない、美術館は敷居が高いと思っている市民向けに、美術分野にこだわらず一定の集客が見込める事業を実施し、美術館を身近なものに感じてもらうとともに、中心街活性化に寄与することを目的に、様々なイベントを開催した。

2. 実施プログラム

・美術館の夏休み2024

①夏休み工作室

開催日 | 2024年7月24日(水)～7月29日(月)
10:00～16:00

場所 | スタジオ

参加費 | 無料

参加者数 | 491人

内容 | スタジオを開放し、当館にある材料や道具を使って自由に工作を行えるイベント。工作例を3種類ほど準備し、誰でも気軽に工作ができるようにした。

②お面・うちわづくり

開催日 | 2024年7月31日(水)～8月4日(日)

場所 | マエニワ

参加費 | 200円

協力 | (株) Galanos

内容 | 色塗りをしてオリジナルのお面やうちわを作成した。

③「かおかおかお」オリジナルブローチを作ろう!

開催日 | 2024年8月1日(木)～8月2日(金) 11:00～15:00

場所 | スタジオ

参加費 | 無料

共催 | こどもはっち

④テラスでビアガーデン

開催日 | 2024年7月31日(水)～8月4日(日)

場所 | マエニワ

内容 | 出店者が飲食販売し、2階テラスを飲食スペースとして開放した。

・ヨルニワ

内容 | 八戸市更上閣・八戸ポータルミュージアムはっち・八戸市美術館を会場に、キッチンカーや飲食屋台と音楽ライブを楽しむ屋外イベント。

①第1回

開催日 | 2024年6月8日(土) 18:00～20:00

出演者 | I.M.O (Immortal Memory Orchestra)

場所 | マエニワ

参加者数 | 822人

参加料 | 無料

②第2回

開催日 | 2024年10月5日(土) 18:00～20:00

出演者 | WILD WIND BIG BAND

場所 | マエニワ

参加者数 | 305人

参加料 | 無料

チラシ | A4

デザイン | 八戸市文化創造推進課

・音楽のタベ

①第1回

開催日 | 2024年7月20日(土) 18:00～20:00

場所 | マエニワ

出演者 | 八戸ジャズ楽団

参加者数 | 497人

参加料 | 無料

②第2回 (Aomori GENKI-RO Trip at 八戸市美術館)

開催日 | 2024年8月18日(日) 19:00～21:00

映像 | 志津野雷 (写真家・映像作家・Cinema Caravan主宰)

音楽 | 辰田翔 (音楽家・作曲家)

場所 | スタジオ、マエニワ

参加者数 | 140人

参加料 | 無料

※詳細はp.52を参照。

③第3回

開催日 | 2024年9月20日(金) 18:00～20:00

出演者 | triangle Square

場所 | マエニワ

参加者数 | 204人

参加料 | 無料

5. イベント

賑わい創出事業

・はちのへ木の魅力たっぷり おもちゃフェスティバル

開催日 | 2024年9月14日(土)～9月16日(月・祝)

各日10:00～17:00

場所 | ジャイアントルーム、ギャラリー1・2、スタジオ

入場者数 | 2,063人

参加料 | 無料

共催 | (特非) はちのへ未来ネット

内容 | 八戸を代表する作家の作品を中心に、グット・トイ広場、人形劇やお話会のほか、ジャイアントルームにツリーハウスを展示。

・創作ゲーム展 あそぼ!ep3.自然と共に

開催日 | 2024年12月21日(土)～2025年1月6日(月)

会場 | スタジオ、ワークショップルーム

観覧料 | 無料

入場者数 | 2,940人

内容 | 「巨大すごろく」の展示、来場者の案内や見守り、来場者が自由に創作体験できるワークスペースの運営。

①ワークショップ「クリスマスランプをつくろう」

日時 | ①2024年12月21日(土) 10:15～12:15②12月22日(日) 13:30～15:30

講師 | 鈴木篤史

会場 | ワークショップルーム

参加料 | 1,000円

参加者数 | ①3組②10組

内容 | オリジナルのクリスマスランプをつくるワークショップ。

②「和風ランプをつくろう」

日時 | ①2025年1月4日(土) 13:30～15:30②1月5日(日) 10:15～12:15

会場 | ワークショップルーム

講師 | 鈴木篤史

参加者数 | ①10組②8組

参加料 | 1,000円

内容 | オリジナルの和風ランプを作るワークショップ。

③トークプログラム「何もないから工夫するー好奇心が生み出すものー」

開催日 | 2025年1月5日(日) 14:00～16:00

講師 | 川村久美(畑のカフェ・マデッコハウス店主)

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

参加者数 | 30人

内容 | 畑のカフェ・マデッコハウスを営む川村久

美氏を講師に招き、好奇心と自由な発想を育むヒントを探る。

・振り返り会

開催日 | 2025年2月15日(土) 13:30～15:30

場所 | スタジオ

・八戸えんぶり in 美術館

開催日 | 2025年2月18日(火) 13:30～13:50

出演 | 榎引上えんぶり組

場所 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

内容 | 榎引上えんぶり組によるえんぶり披露。

・キッチンカー出店

開催日 | 平日中心に不定期

場所 | マエニワ

内容 | 美術館前広場にキッチンカーが出店。

5. イベント

賑わい創出事業

3. 開催の様子



夏休み工作室



ヨルニワ



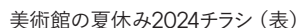
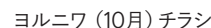
はちのへ木の魅力たっぷり おもちゃフェスティバル



八戸えんぶり in 美術館

賑わい創出事業

11



5. イベント

開館3周年アーカイブ展

開館3周年アーカイブ展

1. 事業内容

展覧会とプロジェクトの2つの活動が行われる八戸市美術館の3年間の多彩な活動の一端を、写真と映像で振り返った。

2. 開催概要

会期 | 2024年11月1日（金）～11月18日（月）

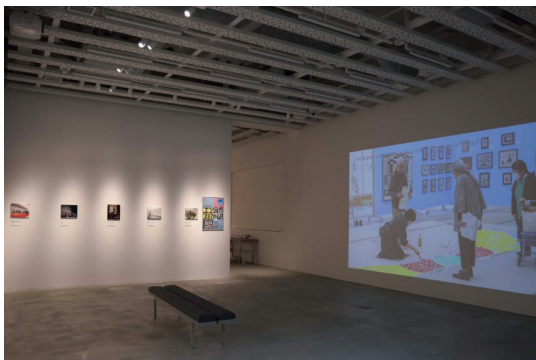
会場 | ギャラリー1・2

観覧料 | 無料

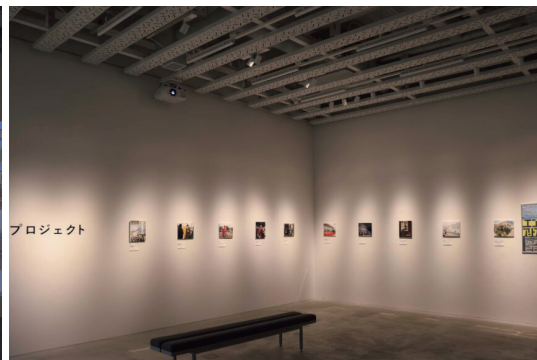
入場者数 | 1,961人

写真・映像 | 神智

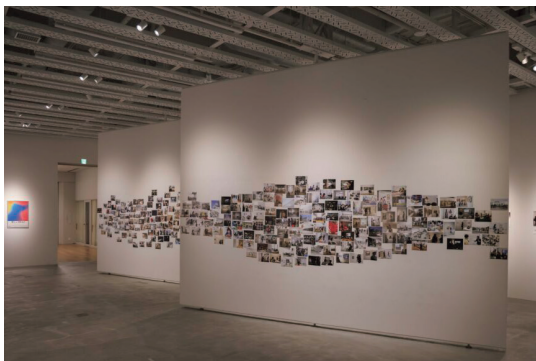
3. 開催の様子



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

6. その他事業

5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN

1. 事業内容

青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、十和田市現代美術館、八戸市美術館の5つの美術施設による連携の取組を推進するための組織として、2020年7月に「青森アートミュージアム5館連携協議会」(事務局：青森県立美術館)が設立された。県民および観光客の県内周遊を促進し、美術館への入館者数の増加につなげるため、5館連携の基盤を活用して、青森のアートの魅力を国内外への情報発信および周遊促進に係る事業を行っている。

2. 実施内容

・5館共通ウェブサイトを活用した館の基本情報、 展覧会スケジュールの情報発信

URL | <https://aomorigokan.com>

・「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」の開催

内容 | AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会が設立され、2024年4月13日(土)～9月1日(日)に5館で共同企画「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」を開催。また、アートフェス公式ウェブサイトを開設した。

八戸市美術館では、このアートフェスのメイン企画として「エンジョイ!アートファーム!!」を開催。詳細はp.51参照。

アートフェス公式ウェブサイトURL | <https://aomori-artsfest.com>

3. 主なメディア掲載

新聞(連載) |

- ・デリー東北「AOMORI GOKAN アートフェス 2024 つらなりのはらっぱ 連載」2024年4月24日、5月1、8、15、22日、6月5、12、19、26日、7月3、10、17、24日、8月7、14、21日、9月4日

新聞 |

- ・デリー東北「AOMORI GOKAN アートフェス / 5施設連携きょう開幕」2024年4月13日
- ・東奥日報「アートな県内周遊いかが / 5美術館 / 今日から初の合同展」2024年4月13日
- ・公明新聞「青森県の美術館5館が連携し / 各地域の個性的な魅力を提供」2024年5月1日
- ・陸奥新報「県内5美術館施設初のアートフェス / 連携効果入場者30万人 / 当初の目標大きく上回る」2024年9月16日
- ・東奥日報「県内アート / 点から面へ / 5美術館に30万人、周遊増」2024年10月9日
- ・東奥日報「周遊 / 観光と連携重要 / 日銀支店分析 / 経済効果は49億円」2025年3月3日

雑誌 |

- ・集英社「e'Clat MUSEUM 出会い発見ワクワクに満ちた初の機会」2024年4月1日
- ・プレスアート「Kappo仙台闊歩 SCOPE 5つのスポットでアートと文化を楽しむ 新形態のアートフェスがスタート」2024年5月1日
- ・集英社「SPUR アートな感性で旅する青森」2024年6月23日
- ・白泉社「月刊MOE 青森アートとクラフトの旅」2024年7月3日

テレビ |

- ・青森放送「RABニュースリーダー オープニングセレモニーの様子、杉本館長インタビュー」2024年4月12日
- ・NHK青森「あっぶるワイド オープニングセレモニーの様子」2024年4月12日
- ・青森朝日放送「ハレのちあした オープニングセレモニーの様子、栗林氏、蜷川氏インタビュー」2024年4月12日
- ・青森放送「1550ニュースリーダーwith 10万人セレモニー」2024年6月20日
- ・青森テレビ「ひるおび内「ATVニュース」 10万人セレモニー」2024年6月20日
- ・青森朝日放送「ハレのちあした 15万人セレモニー」2024年7月17日
- ・青森放送「RABニュースリーダー 15万人セレモニー」2024年8月7日

6. その他事業

5館連携プロジェクト
AOMORI GOKAN

WEB |

- ・オリジナル「Time Out Tokyo ゴールデンウィークに行くべき芸術祭5選」2024年4月19日
- ・JAL「SKYWARD アートに浸かる青森」2024年4月19日
- ・星野リゾート「のれそれ青森キャンペーン 青森県×JAL×星野リゾート共同企画」2024年6月3日
- ・昭文社ホールディングス「ことりっぷ 4/13-9/1 | 青森でつらなるアート体験『AOMORI GOKAN アートフェス 2024』」2024年6月13日
- ・集英社「SPUR.JP 【青森旅行】『AOMORI GOKAN アートフェス 2024』の楽しみ方から、おすすめスポットまで」2024年7月24日
- ・アートビート「Tokyo Art Beat 【2024年版】シルバーウィークに見たい展覧会12選（東日本編）」2024年8月26日

はちとまネットワーク

1. 事業内容

フェリー航路でつながる工業都市である青森県八戸市と北海道苫小牧市は、平成30年より、交流連携協定を締結し、様々な分野で交流を行っている。文化分野において、八戸市美術館は、苫小牧市美術博物館と連携を行っている。令和6年度はネットワーク会議が八戸市で開催された。

連携事業としては、お互いのまちに住むアーティストを招聘しあってワークショップを実施することとし、令和6年度は、八戸市美術館で、苫小牧市出身・在住の金属工芸家・彫刻家の藤沢レオを招聘し、ワークショップを実施した。

2. 実施内容

・はちとまネットワーク会議

開催日 | 2024年11月7日(木)～11月8日(金)

会場 | 八戸グランドホテル、八戸市美術館

内容 | 実施事業の報告、情報交換、次年度の事業に向けた打合せ。

・連携事業

①藤沢レオ 「みんなの一筆」ワークショップ

開催日 | 2024年11月8日(金) 14:00～15:00

会場 | マエニワ

参加者 | デイサービス番町、デイサービスみやぎ、デイサービス岩泉町 約30人(延べ)

3. 開催の様子



藤沢レオ 「みんなの一筆」ワークショップ



藤沢レオ 「鉄たたけます。」ワークショップ

内容 | 近隣高齢者向けデイサービス施設に声をかけ、3施設から集まった高齢者とスタッフが参加する絵画ワークショップを行った。一枚の紙にひとり筆描いて隣の人に渡していき、複数人で1枚の絵を完成させた。

②藤沢レオ 「鉄たたけます。」ワークショップ

開催日 | 2024年11月9日(土) 10:00～12:00、13:00～15:00

会場 | マエニワ

内容 | 親子および一般向けの鉄を加工するワークショップを実施。熱した鉄を叩いて、ねじって、キーホルダーをつくった。

参加者 | 48人(うち体験38人)

HACHINOHE ZINE CLUB

1. 事業内容

八戸ブックセンターと協働し、ZINE（ジン、自分でつくる雑誌）を制作する活動である「HACHINOHEZINE CLUB（ハチノヘジンクラブ）」を実施。メンバーが自分のつくりたいZINEについて語ったり、ZINEづくりに関する情報を交換しあうミーティングや、ブックセンターが開催する「八戸ブックフェス」への出店などを行った。

2. 開催概要

活動期間 | 2024年4月～2025年3月

活動人数 | 約20人

主催 | 八戸ブックセンター、八戸市美術館

担当 | 太田博子（八戸ブックセンター）、高橋麻衣

3. 活動内容

・完成まで近づけよう

開催日 | 2024年4月27日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

・最終調整をしよう

開催日 | 2024年5月11日（土）14:00～16:00

会場 | ワークショップルーム

・ZINE展示発表会

開催日 | 2024年5月18日（日）14:00～17:00

会場 | スタジオ

出展作家 | あまちゃん、inter-mission上平、風見鶏BOOKS、香炉ゆうり、たつきち、たむこ、田茂順子、シンドウ、染井吉野、トロイメライ、中居まなみ、にしむらゆうき、深谷桃子、藤川晶、やえ、れとろん

・本のまち八戸ブックフェス2024へ向けて①

開催日 | 2024年6月29日（土）14:00～16:00

会場 | スタジオ

・本のまち八戸ブックフェス2024へ向けて②

開催日 | 2024年7月27日（土）14:00～16:00

会場 | スタジオ

・本のまち八戸ブックフェス2024へ向けて③

開催日 | 2024年8月31日（土）14:00～16:00

会場 | スタジオ

・本のまち八戸ブックフェス2024直前ミーティング

開催日 | 2024年9月14日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

・本のまち八戸ブックフェス2024

開催日 | 2024年9月29日（日）10:30～15:30

会場 | マチニワ

出展作家 | inter-mission、トロイメライ、Chieko Tazawa、たつきち、たもじゅんこ、松浦奈々、深谷桃子、風見鶏Books、染井吉野、れとろん

・HACHINOHE ZINE CLUBミーティング

開催日 | 2024年11月24日（日）14:00～16:00

会場 | アトリエ

・HACHINOHE ZINE CLUBワークデー

開催日 | 2025年1月25日（土）14:00～16:00

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

・ZINEステップアップ講座①

開催日 | 2025年2月16日（日）14:00～16:00

講師 | 佐々木遊（Creative&Design アソビス アートディレクター）

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

・ZINEステップアップ講座②

開催日 | 2025年3月22日（土）14:00～16:00

講師 | 佐々木遊（Creative&Design アソビス アートディレクター）

会場 | 八戸ブックセンター 読書会ルーム

6. その他事業

HACHINOHE ZINE
CLUB

4. 開催の様子



活動の様子



活動の様子



活動の様子



ZINEステップアップ講座



ZINE展示発表会



本のまち八戸ブックフェス2024

6. その他事業

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)

共に創る!アートのまちづくり魅力発見事業(共創パートナー事業)

1. 事業内容

「アートのまちづくり」の具現化に向けて、文化的視点で街の良さや楽しみ方を市民に再認識してもらうことで市街地活性化につなげる。そのことを目的として、歴史・文化・芸術などの活動団体・個人を市が「共創パートナー」として登録し、文化的な財産・スポットとして広く発信する。(八戸歴史文化発信事業実行委員会との協働事業)

2. 実施概要

・LINE公式アカウント「ヨッテミッテ」

運用開始日 | 2024年7月5日

友だち登録数 | 497人(R7.3.31現在)

内容 | 共創パートナーなどから情報収集を行い、歴史・文化・芸術関連のイベント情報を発信した(毎週金曜日)。八戸歴史文化発信事業実行委員会が運営するウェブサイト「はちのへヒストリア」に、共創パートナーなど紹介のページ、イベントカレンダーの機能を追加し、ヨッテミッテで配信する情報と連携した。また、アカウント宣伝用のカードを作成し、配布した。

・街なかアートマップ

マップ | B3、両面

発行 | 2025年3月

発行部数 | 20,000部

設置・配付先 | 八戸市美術館、各パートナー施設・店舗など

内容 | 中心街および周辺地区で、アート(文化)に関わるギャラリーの併設や展示、積極的な文化活動などを行っている店舗、施設のうち、美術館活動を一緒に行うパートナーを紹介するリーフレットを作成した。

・パートナー・ミーティングの開催

開催日 | 2025年3月24日(月)

開催場所 | スタジオ

参加者 | 18人(民間13人、行政5人)

概要 | 共創パートナー同士が交流し、情報交換を行った。

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「八戸市美術館LINEアカウント開設 市内の文化イベント情報配信」2024年8月29日

・デーリー東北「アートと新たな出会いを／街歩き用地図完成」2025年4月12日

6. その他事業

共に創る!アートのまちづくり
魅力発見事業(共創
パートナー事業)

4. 制作物



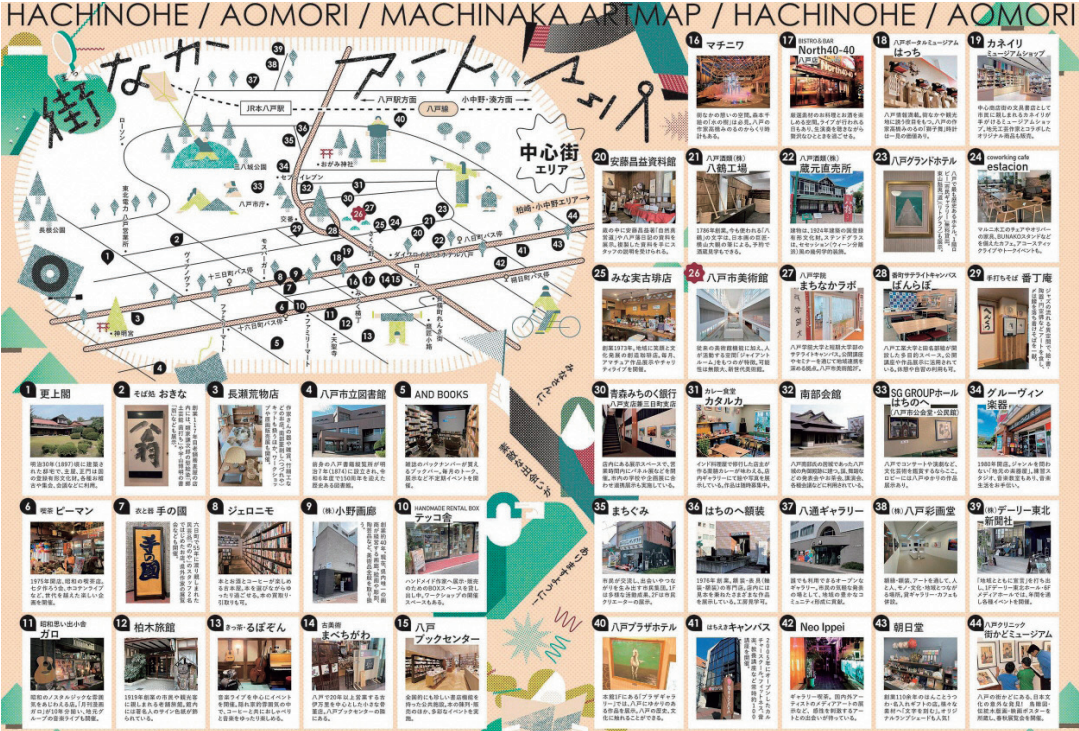
ヨッテミッテ カード(表)



ヨッテミッテ カード(裏)



HACHINOHE / AOMORI / MACHINAKA ARTMAP / HACHINOHE / AOMORI
街なかアートマップ(表)



HACHINOHE / AOMORI / MACHINAKA ARTMAP / HACHINOHE / AOMORI
街なかアートマップ(裏)

博物館実習

1. 事業内容

十和田市現代美術館と合同で、学芸員資格取得のために必要な博物館実習を実施した。

2. 実施概要

期間 | 2024年8月20日（火）～8月24日（土）

実施場所 | 八戸市美術館（8月20日～22日）、十和田市現代美術館（8月23日～24日）

受講者 | 6人

7. 貸館

貸館

1. 特別貸館

2件

貸出期間 | 2025年1月29日（水）～2月3日（月）
事業名 | 第39回八戸工業大学第二高等学校美術
コース作品展
主催 | 八戸工業大学第二高等学校
会場 | ジャイアントルーム、ホワイトキューブ

貸出期間 | 2025年2月6日（木）～2月13日（木）
事業名 | スノーズレンルーム
主催 | 八戸市障がい福祉課
会場 | ブラックキューブ

2. 貸館説明会

第1回

開催日 | 2024年8月31日（土）
会場 | スタジオ

第2回

開催日 | 2025年3月29日（土）
会場 | ワークショップルーム

3. 一般貸館

105件

貸出期間 | 2024年4月3日（水）～4月7日（日）
事業名 | 茅舎雪景
主催 | 佐藤義弘
会場 | ギャラリー

貸出期間 | 2024年4月11日（木）～4月14日（日）
事業名 | 第33回大日本書芸院八戸地区書道展
主催 | 大日本書芸院八戸地区連合
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年4月22日（月）

事業名 | キッチンカー出店 AGERU

主催 | AGERU

会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年4月22日（月）

事業名 | 令和6年度 第1回八戸市まちの魅力創
生ネットワーク会議

主催 | 八戸市政策推進課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年4月26日（金）

事業名 | 空き巣対策に関する打ち合わせ

主催 | 八戸市都市政策課

会場 | 会議室2

貸出期間 | 2024年4月28日（月）～5月2日（日）

事業名 | 原紀子水彩画展

主催 | 原紀子

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2024年5月11日（土）

事業名 | 看護連盟三八支部連絡会

主催 | 青森県看護連盟三八支部

会場 | 会議室1

貸出期間 | 2024年5月16日（木）～5月19日（日）

事業名 | ビエンナーレ 第2回八美の会絵画展

主催 | 八美の会

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年5月22日（水）～5月26日（日）

事業名 | 私の活真 久木田恭輔展

主催 | 久木田恭輔

会場 | ジャイアントルーム、ギャラリー

貸出期間 | 2024年5月23日（木）

事業名 | 空き巣対策に関する打ち合わせ

主催 | 八戸市都市政策課

会場 | 会議室2

貸出期間 | 2024年5月25日（土）～26日（日）

事業名 | 三遊亭楽八独演会～楽八落語大祭～

主催 | 池田砂妃

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2024年5月27日(月)
事業名 | 八戸商業高校ヒアリング
主催 | 八戸市広報統計課
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2024年6月7日(金)～6月9日(日)
事業名 | 明山應義油絵展
主催 | 明山應義
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年6月12日(水)～6月13日(木)
事業名 | 呼吸するアオモリ
主催 | 工藤いずみ
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年6月21日(金)～6月23日(日)
事業名 | 日本病院薬剤師会東北ブロック 第13回学術大会
主催 | 八戸市立市民病院
会場 | ギャラリー1・2、スタジオ

貸出期間 | 2024年6月28日(金)～6月30日(日)
事業名 | 米内安芸写真教室 第21回写真展「Step by step」
主催 | 米内安芸写真教室
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年7月3日(水)～7月5日(金)
事業名 | ステージラボ八戸セッション
主催 | 一般財団法人地域創造
会場 | スタジオ、ワークショップルーム、マエニワ

貸出期間 | 2024年7月6日(土)～7月7日(日)
事業名 | 第41回青森二紀グループ展
主催 | 青森二紀グループ
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2024年7月6日(土)～7月8日(月)
事業名 | 第63回黒潮書展〔前衛・創作・臨書〕
主催 | 黒潮書道会
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2024年7月8日(月)
事業名 | リオンの朗読会
主催 | リオンの会
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年7月11日(木)
事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年7月12日(金)～14日(日)
事業名 | 第6回東光会東北支部展
主催 | 東光会東北支部
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年7月12日(金)
事業名 | 東北DA会議
主催 | サントリーフィールドエキスパート株式会社東北事務所
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年7月12日(金)
事業名 | 空き家対策に関する打合せ
主催 | 八戸市都市政策課
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2024年7月12日(金)
事業名 | ポップコーン販売
主催 | 株式会社レッドコンパス
会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年7月19日(金)～7月21日(日)
事業名 | アトリエオガワ絵画教室作品展 第21回樹の会展
主催 | アトリエオガワ絵画教室・ピアノ教室
会場 | ギャラリー1・2、スタジオ

貸出期間 | 2024年7月22日(月)
事業名 | キッチンカー出店
主催 | シーラカンスコーヒー
会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年7月26日(金)～8月7日(水)
事業名 | 山上新平展「KANON」
主催 | 八戸ブックセンター
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年7月27日(土)～7月28日(日)
事業名 | HAPPY CRAFT in マエニワ
主催 | happy mouse
会場 | マエニワ

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2024年7月27日(土)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | シーラカンスコーヒー

会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年8月9日(金)～8月11日(日)

事業名 | 日野口和子作品展

主催 | 日野口和子

会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2024年8月12日(月)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2024年8月15日(木)～19日(月)

事業名 | 画業50周年詩画集出版記念 稲田悦子の油絵と詩「続“切り”足りなくて」

主催 | 稲田悦子

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年8月22日(木)

事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング

主催 | 八戸市市民連携推進課

会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年8月24日(土)～25日(日)

事業名 | HAPPY CRAFT in マエニワ

主催 | | happy mouse

会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年8月24日(土)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | シーラカンスコーヒー

会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年8月26日(月)

事業名 | 八戸市役所オープンオフィス2024 1DAYジョブセミナー

主催 | 八戸市人事課

会場 | スタジオ、ギャラリー1

貸出期間 | 2024年8月31日(土)～9月1日(日)

事業名 | 日本習字作品展

主催 | 日本習字香墨会

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年8月31日(土)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | シーラカンスコーヒー

会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年9月6日(金)～8日(日)

事業名 | 第52回北奥羽現展

主催 | 北奥羽現展

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年9月7日(土)～8日(日)

事業名 | 第53回八戸市児童生徒発明くふう展

主催 | 第53回八戸市児童生徒発明くふう展実行委員会

会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年9月11日(水)

事業名 | 東光会東北支部勉強会

主催 | 東光会東北支部

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年9月26日(木)

事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング

主催 | 八戸市市民連携推進課

会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年10月2日(水)～11日(木)

事業名 | 吉田初三郎パネル展

主催 | 八戸市観光課

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年10月4日(金)～6日(日)

事業名 | 季心書道展

主催 | 季心書道会

会場 | ジャイアントルーム展示エリアI

貸出期間 | 2024年10月11日(金)～13日(日)

事業名 | 気になる自閉症の世界 Ao

主催 | Ao

会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年10月11日(金)

事業名 | キッチンカー出店

主催 | COCO ROAD

会場 | マエニワ

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2024年10月12日(土)～13日(日)
事業名 | MOA美術館八戸児童作品展
主催 | MOA美術館八戸児童作品展実行委員会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年10月17日(木)
事業名 | キッチンカー出店
主催 | BE SMILE
会場 | マエニワ

貸出期間 | 2024年10月17日(木)～18日(金)
事業名 | 女性チャレンジ講座
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年10月18日(金)～20日(日)
事業名 | イーゼル会ラスト絵画展
主催 | イーゼル会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年10月19日(土)
事業名 | 看護連盟三八支部連絡会
主催 | 看護連盟三八支部
会場 | 会議室1

貸出期間 | 2024年10月20日(日)
事業名 | 茶の湯体験会
主催 | はちえきキャンパス江戸千家教室
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年10月26日(土)
事業名 | ブックデザイナーの仕様書展 スペシャルトーク
主催 | 八戸ブックセンター
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年10月27日(日)
事業名 | ふらっとダイアログ日和
主催 | 青森県黒石市ココロのアトリエ空間まんどろ
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年10月28日(月)
事業名 | 令和6年度 第2回市地域スポーツ・文化活動検討協議会
主催 | 八戸市教育委員会学校教育課
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年11月6日(水)
事業名 | 東光会東北支部勉強会
主催 | 東光会東北支部
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年11月10日(日)
事業名 | 世界の文化 体験プログラム
主催 | 八戸学院地域連携研究センター
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年11月14日(木)
事業名 | 令和6年第8回八戸市総合計画等推進市民委員会
主催 | 八戸市政策推進課
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年11月15日(金)
事業名 | KAI-GO!! セミナー
主催 | 八戸学院地域連携研究センター
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年11月21日(木)
事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年11月23日(土)～24日(日)
事業名 | 八戸市鷗盟大学 第45回大学祭 総合美術展
主催 | 八戸市鷗盟大学
会場 | ジャイアントルーム展示エリアI・II、ギャラリー1・2、スタジオ

貸出期間 | 2024年11月25日(月)～28日(木)
事業名 | 藤村竹風 古希展(書)
主催 | 書道研究部門会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年11月29日(金)～12月1日(日)
事業名 | 八戸陶芸合同展 アマチュア陶芸家達の祭典
主催 | 八戸陶芸愛好会
会場 | ジャイアントルーム展示エリアI、ギャラリー1

貸出期間 | 2024年11月30日(土)～12月2日(月)
事業名 | 名知らぬ一隅の三人展
主催 | 木村和子
会場 | ギャラリー2

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2024年11月30日(土)
事業名 | シン・クレイジーバスツアー
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム、スタジオ

貸出期間 | 2024年12月1日(日)
事業名 | フォーチュンシアター八戸インプロ公演
「It's My Life」
主催 | フォーチュンシアター
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年12月5日(木)～9日(月)
事業名 | 下村正二油絵展
主催 | 下村正二
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2024年12月6日(金)～8日(日)
事業名 | THE 切り絵'S 習作展
主催 | 中澤均
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2024年12月6日(金)
事業名 | リオンの朗読会
主催 | リオンの会
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年12月7日(土)
事業名 | 版画の世界～ドライポイントの制作と「風のなかを飛ぶ種子」展の鑑賞
主催 | 八戸市学校教育課
会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2024年12月7日(土)
事業名 | 看護連盟三八支部連絡会
主催 | 青森県看護連盟三八支部
会場 | 会議室1

貸出期間 | 2024年12月8日(日)
事業名 | KAI-GO!! 交流会
主催 | 八戸学院地域連携研究センター
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2024年12月14日(土)
事業名 | こうせん・美術館アートコラボ
主催 | 八戸工業高等専門学校
会場 | ジャイアントルーム、スタジオ、ギャラリー1・2

貸出期間 | 2024年12月19日(木)
事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2024年12月21日(土)～22日(日)
事業名 | 40-36
主催 | 俊文書道会
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2024年12月21日(土)～22日(日)
事業名 | MONO Qloom paper
主催 | Qloom paper
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2025年1月4日(土)～5日(日)
事業名 | 書文化研究寄遠會「求」展
主催 | 書文化研究寄遠會
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2025年1月11日(土)～12日(日)
事業名 | 第38回青森県中学校選抜美術展
主催 | 青森県中学校教育研究会美術部会
会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリア1

貸出期間 | 2025年1月15日(水)～20日(月)
事業名 | 明るい選挙ポスターコンクール作品展
主催 | 八戸市選挙管理委員会
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2025年1月15日(水)～20日(月)
事業名 | 第17回税に関する絵はがきコンクール作品展
主催 | 八戸法人会女性部
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2025年1月25日(土)～2月2日(土)
事業名 | デジタル×アート展
主催 | 青森県地域生活文化課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2025年1月25日(土)
事業名 | 美術部・総合文化部合同部活動
主催 | 八戸市教育委員会学校教育課
会場 | ワークショップルーム

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2025年2月1日(土)～2日(日)
事業名 | 令和6年度八戸市中学校美術部・総合
文化部合同部活動
主催 | 八戸市学校教育課
会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年2月7日(金)～24日(月)
事業名 | 第28回NHKハート展
主催 | NHK青森放送局、八戸市、NHK厚生文化
事業団、全国社会福祉協議会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2025年2月7日(金)
事業名 | 女性チャレンジ講座受講生ミーティング
主催 | 八戸市市民連携推進課
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2025年2月8日(土)
事業名 | 親子で楽しむ絵本ワークショップ ネコ
でたのしむ物語の世界
主催 | 一般財団法人TOCOL
会場 | ジャイアントルーム、スタジオ

貸出期間 | 2025年2月9日(日)～10日(月)
事業名 | 重文字幸悦 陶器展
主催 | 重文字幸悦
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2025年2月9日(日)
事業名 | 北奥羽現展総会
主催 | 北奥羽現展
会場 | 会議室2

貸出期間 | 2025年2月18日(日)～23日(木)
事業名 | 八戸工業大学感性デザイン学部卒業制
作展
主催 | 八戸工業大学
会場 | ジャイアントルーム、スタジオ

貸出期間 | 2025年2月26日(水)
事業名 | 東光会東北支部勉強会
主催 | 東光会東北支部
会場 | ジャイアントルーム

貸出期間 | 2025年2月28日(水)～3月2日(土)
事業名 | 第61回八戸市中学校生徒美術展
主催 | 八戸市中学校教育研究会美術部会

会場 | ギャラリー1・2、スタジオ、ジャイアントルー
ム展示エリア

貸出期間 | 2025年3月7日(金)～3月9日(土)
事業名 | 棟方志功大賞 県下小・中学生のあお
もり版画まつり
主催 | 株式会社陸奥新報社
会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリ
アI・II

貸出期間 | 2025年3月7日(金)～3月8日(日)
事業名 | 元気な八戸づくり若者シンポジウム
主催 | NPO法人地域活性化教育支援ネットワーク
会場 | スタジオ、ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年3月13日(木)～3月16日(日)
事業名 | 写真展
主催 | 三戸シャッタークラブ
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2025年3月22日(土)
事業名 | 看護連盟三八支部研修会
主催 | 青森県看護連盟三八支部
会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2025年3月19日(水)～24日(月)
事業名 | 創作織部 雲爾窯 廣部克爾展
主催 | 雲爾窯
会場 | ジャイアントルームその他エリア

貸出期間 | 2025年3月23日(日)
事業名 | 池坊八戸支部役員会
主催 | 池坊八戸支部
会場 | 会議室1

貸出期間 | 2025年3月19日(水)～3月24日(月)
事業名 | 八戸工業大学感性デザイン学部・宇野研
究室3年生研究成果展
主催 | 八戸工業大学
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2025年3月27日(木)～3月30日(日)
事業名 | 第53回八戸臨泉会書展、第76回八戸臨
泉会学生書道展
主催 | 八戸臨泉会
会場 | ギャラリー1・2、ジャイアントルーム展示エリア
I・II、スタジオ

4. 開催の様子



第39回八戸工業大学第二高等学校美術コース作品展



スヌーズレンルーム



第33回大日本書芸院八戸地区書道展



明山應義油絵展



第63回黒潮書展〔前衛・創作・臨書〕



第53回八戸市児童生徒発明くふう展



八戸市鷗盟大学 第45回大学祭 総合美術展



八戸陶芸合同展 アマチュア陶芸家達の祭典

7. 貸館

貸館



版画の世界～ドライポイントの制作と「風のなかを飛ぶ種子」展の鑑賞



こうせん・美術館アートコラボ



第38回青森県中学校選抜美術展



美術部・総合文化部合同部活動



八戸工業大学感性デザイン学部卒業制作展



第61回八戸市中学校生徒美術展



棟方志功大賞 県下小・中学生のあおり版画まつり



第53回八戸臨泉会書展、第76回八戸臨泉会学生書道展

8. データ

8. データ

入館者の状況

入館者の状況

1. 入館者数

月別入館者数

2024年	4月	5,733人
	5月	7,423人
	6月	8,970人
	7月	18,146人
	8月	28,736人
	9月	12,789人
	10月	7,654人
	11月	8,025人
	12月	5,557人
2025年	1月	7,278人
	2月	8,119人
	3月	6,796人

年度ごとの延べ入館者数

	年度入館者数	総入館者数 (延べ)
2021年度	24,329人	24,329人
2022年度	119,983人	144,312人
2023年度	109,277人	253,589人
2024年度	125,226人	378,815人

2. 視察見学受入

視察見学受入合計

151件 (3,148人)

種別／件数・人数

行政・議会	18件 (132人)
美術館・文化施設	4件 (10人)
学校	46件 (1,073人)
その他	83件 (1,933人)

8. データ

広報

広報

1. WEBサイト

<https://hachinohe-art-museum.jp>

年間アクセス 205,296回 (2024年4月1日～2025年3月31日)

2. ソーシャルメディア

X (旧Twitter) | @hachinohe_art_m

Instagram | @hachinohe_art_museum

Facebook | <https://www.facebook.com/HachinoheArtMuseum>

YouTube | @8artmuseum

3. 広報掲載実績

新聞 | 18件 (うち新聞連載3件)

河北新報、東奥日報、デーリー東北、毎日新聞、読売新聞ほか

テレビ | 11件

IBC岩手放送、NHK青森放送局、RAB青森放送、八戸テレビほか

ラジオ | 13件

BeFM、NHK仙台放送局、RAB青森放送

書籍 | 該当なし

雑誌 | 42件

BRUTUS、FIGARO JAPON、rakra、季刊 あおもりのき、芸術新潮ほか

WEB | 32件

Fashion Press、アートアジェンダ、あおり紀行、美術手帖、るるぶ&moreほか

その他 | 24件

八戸市美術館運営協議会

1. 八戸市美術館運営協議会

概要

八戸市美術館の運営や企画の検討にあたり、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例などに精通した専門家及び、地元関係者の視点からご意見・ご助言をいただくため、運営協議会を設置・運営する。

委員

会長 | 日比野克彦（東京藝術大学学長、岐阜県美術館館長、熊本市現代美術館館長）

副会長 | 坂本禎智（八戸工業大学学長）

委員 | 池田亨（青森県立美術館美術統括監）

委員 | 伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター教授）

委員 | 漆畑幸男（元八戸市に新美術館を熱望する市民の会代表）

委員 | 熊倉純子（東京藝術大学教授）

委員 | 志賀野桂一（東北文化学園大学特任教授）

委員 | 堤静子（八戸学院地域連携研究センター長）

委員 | 馬渡龍（八戸工業高等専門学校准教授）

委員 | 三澤一実（武蔵野美術大学教授）

委員 | 宮本紘子（青森県立八戸工業高等学校教諭）

委員 | 吉川由美（有限会社ダ・ハ プランニング・ワーク代表取締役）

（2025年3月31日時点）

開催状況

「八戸市新美術館中期運営計画」（令和2年3月策定）では、評価・改正時期を令和5年度とし、次期運営計画の運用は令和6年度からとしていたが、工事の進捗や新型コロナウイルスの影響を考慮したことにより、計画策定時の想定からオープン時期が約半年遅れたことや、3年目の実績を反映した上で評価をするために、計画期間の終期を令和6年度へ変更した。このため、令和6年度は運営協議会を3回開催し、第1期八戸市美術館中期評価及び第2期八戸市美術館中期運営計画の策定を行った。

第1回協議会

開催日 | 2024年4月17日（水）

第2回協議会

開催日 | 2024年10月29日（火）

第3回協議会

開催日 | 2025年3月21日（金）

8. データ

運営(決算・組織)

運営（決算・組織）

1. 決算概要

決算内容	決算額（円）	比率
美術事業費	59,470,771円	22.2%
各種展覧会・体験講座等	59,470,771円	
（うち繰越明許費）	（3,349,346円）	
運営経費	208,613,505円	77.8%
└ 施設維持管理経費	154,749,725円	
└ 一般管理事務経費	46,161,648円	
└ 美術品管理経費	7,702,132円	
合計	268,084,276円	100%

（職員人件費は含まない）

2. 組織

館長 | 佐藤慎也

副館長 | 宗石美佐

美術専門監 | 山田泰子

総務経営グループ

副参事／グループリーダー | 田中裕樹

主幹 | 番沢裕子

主査 | 山内伶奈

技師 | 多田洸貴

一般事務員 | 金子幸子

一般事務員 | 荒川尚美

一般事務員 | 清水尚美

一般事務員 | 増田くみ子

企画運営グループ

副参事／グループリーダー | 松倉寛幸

主査兼学芸員 | 大澤苑美

主査兼学芸員 | 齊藤未来

主査兼学芸員 | 篠原英里

主事兼学芸員 | 田村由衣

主事兼学芸員 | 高橋麻衣

主事兼学芸員 | 平井真里

テクニカル・コーディネーター | 神智

コーディネーター（学校・地域連携） | 類家舜

（2025年3月31日時点）

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

八戸市美術館条例

令和3年3月26日条例第10号

趣旨

第1条 この条例は、美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示並びに美術その他の芸術に関する調査研究及び普及活動を行うことにより、市民の文化及び芸術の振興に資するとともに、文化芸術活動を通じた様々な出会い、学び及び交流の機会を提供し、もって新たな文化の創造と八戸市全体の活性化を図るため、美術館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

美術館の名称及び位置

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 八戸市美術館
- (2) 位置 八戸市大字番町10番地4

事業

第3条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）は、次の事業を行う。

- (1) 美術品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 美術その他の芸術に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 美術その他の芸術に関する講演会、講座等の開催に関すること。
- (5) 美術その他の芸術に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 美術その他の芸術に関する創作活動及び発表の場の提供に関すること。
- (7) 美術その他の芸術を通じた教育及び学習に関すること。
- (8) 学校等教育機関及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。
- (9) 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進に関すること。
- (10) 文化芸術活動を通じた市民交流の推進に関すること。
- (11) その他美術館の設置目的を達成するために必要な事業

観覧料

第4条 美術館の観覧料は、別表第1のとおりとする。

2 前項に規定する観覧料（以下「観覧料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

使用の許可及び条件

第5条 美術館の施設のうち有料で使用させるもの（以下「有料施設」という。）を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に当たって、その使用について条件を付けることができる。

使用制限

第6条 市長は、有料施設の使用が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用を許可しない。

- (1) 風俗又は公益を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 建物又は附属物を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (3) 美術館の管理に支障があると認めるとき。
- (4) 集团的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (5) その他市長が不適当と認めるとき。

使用条件の変更等

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、有料施設の使用条件を変更し、又はその使用を停止し、若しくは使用許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこれに基づく規則又は使用許可の条件に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正の行為により使用の許可を受けたとき。
- (3) 使用の許可後前条各号のいずれかに該当することが判明し、又は該当することとなったとき。
- (4) 公益上やむを得ない理由が生じたとき。

2 前項の規定（第4号の場合は、災害等による緊急の必要があるときに限る。）により使用条件を変更し、又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消した場合において、当該変更、停止又は取消しにより、第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）に損害を及ぼすことがあっても、市はその賠償の責めを負わない。

使用料

第8条 有料施設の使用料は、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 前項に規定する使用料（以下「使用料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

観覧料等の還付

第9条 既納の観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧し、又は使用することができなくなったとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

観覧料等の減免

第10条 市長は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。

目的外使用等の禁止

第11条 使用者は、有料施設又は附属設備を、その許可を受けた目的以外の目的に使用し、又はその権利を他に転貸し、若しくは譲渡してはならない。

特別設備の設置等の許可

第12条 使用者が有料施設の使用に当たって、特別の設備を設置し、又は特殊物品の搬入をしようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

使用者の原状回復義務

第13条 使用者は、その使用を終わったとき、又は第7条第1項の規定により使用を停止されたとき、若しくは使用許可を取り消されたときは、直ちにその使用場所を原状に回復して返還しなければならない。ただし、同項第4号の場合において、市長がその義務を免除したときは、この限りでない。

2 使用者が前項本文の規定による義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、使用者からその費用を徴収する。

秩序保持

第14条 使用者及び入場者は、美術館の秩序保持及び施設的良好な保全に努めなければならない。

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

2 使用者及び入場者は、常に係員の指示に従わなければならない。

入場の拒否等

第15条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入場を拒否し、退場を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。

- (1) 感染性疾患があると認められる者
- (2) 美術館の秩序又は公益を害するおそれがあると認められる者
- (3) 係員の指示に従わない者
- (4) その他管理上入場を不適当と認める者

損害賠償

第16条 美術館の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

美術館運営協議会

第17条 美術館の円滑な運営を図るため、八戸市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、美術館の運営に関し必要な事項について協議し、市長に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

美術館美術品等収集委員会

第18条 美術品等の適切な収集を図るため、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、美術品等の収集について調査審議し、市長に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

委任

第19条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則

施行期日

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第5項の規定は公布の日から、第17条、第18条並びに附則第3項及び第4項の規定は令和3年4月1日から施行する。（令和3年9月規則第86号で、同3年11月3日から施行）

八戸市美術館条例の廃止

2 八戸市美術館条例（平成23年八戸市条例第11号）は、廃止する。

八戸市附属機関設置条例の一部改正

3 八戸市附属機関設置条例（平成25年八戸市条例第6号）の一部を次のように改正する。

別表の1八戸市新美術館運営検討委員会の項を削る。

八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

4 八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年八戸市条例第26号）の一部を次のように改正する。

別表第1及び別表第2中「新美術館運営検討委員会の委員」を削り、「美術館運営協議会の委員」を「美術館運営協議会の委員美術館美術品等収集委員会の委員」に改め

る。

準備行為

5 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

別表第1（第4条関係）

コレクションラボ展示	無料
企画展示及びコレクション特別展示	1人につき2,000円を超えない範囲内で市長がその都度定める額

備考

1 コレクションラボ展示とは美術館が収蔵する美術品等を活用して日常的に行う展示を、企画展示及びコレクション特別展示とは美術館が特別に行う展示をいう。

2 企画展示及びコレクション特別展示を、当該展示の期間を通じて随時観覧する場合の観覧料は、この表に定める観覧料の額の100分の200に相当する額を超えない範囲内で市長がその都度定める額とする。（一部改正〔令和7年条例2号〕）

別表第2（第8条関係）

使用料

(1) 展示室等

	基本区分			複合区分		
	午前	午後	夜間	午前 午後	午後 夜間	午前 夜間
	開館時刻から 午後1時まで	午後1時から 午後5時まで	午後5時から 閉館時刻まで	開館時刻から 午後5時まで	午後1時から 閉館時刻まで	開館時刻から 閉館時刻まで
ギャラリー1	1,280	1,710	850	2,990	2,560	3,850
ギャラリー2	2,600	3,470	1,730	6,070	5,200	7,810
ホワイト キューブ	9,340	12,450	6,220	21,790	18,680	28,020
ブラック キューブ	820	1,100	550	1,930	1,650	2,480
コレクション ラボ	1,830	2,440	1,220	4,270	3,660	5,490
スタジオ	1,950	2,600	1,300	4,550	3,900	5,850
ワークショップ ブルーム	1,140	1,520	760	2,660	2,280	3,420
ジャイアント ルーム 展示エリア1	680	910	450	1,600	1,370	2,060
ジャイアント ルーム 展示エリア2	950	1,270	630	2,230	1,910	2,870
ジャイアント ルーム 展示エリア3	1,100	1,460	730	2,560	2,200	3,300
会議室1	380	510	250	890	760	1,150
会議室2	310	420	210	740	630	950
会議室3	400	540	270	950	810	1,220
ジャイアント ルーム その他エリア	占用して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円					
ティールーム	占用して使用する場合に限り、1時間当たり90円					

(2) 広場

区分	広場
金額	占用して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円

(3) 設備、器具等

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

市長が定める額

備考

- 1,000円を超える入場料等（入場料、会費、入場整理費その他名称のいかんにかかわらず、催物1回について入場者が支払う対価をいい、座席等により入場の対価の額が異なる場合は、その最高額とする。）を徴収して施設を使用する場合又は物品の販売を伴う場合の使用料は、規定使用料の額の100分の200に相当する額とする。
- 美術館内で開催する予定の催物の準備、撤収等のみを行うために使用する場合の使用料の額は、規定使用料の額（前項の規定に該当する場合は、同項の規定により算出した額）の100分の50に相当する額とする。
- 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合の使用料の額は、当該超過し、又は繰り上げて使用する時間1時間（当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。）につき、それぞれの規定使用料（前2項の規定に該当する場合は、それぞれの規定により算出した額）の1時間当たりの額の100分の120に相当する額とする。
- この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

別表第3（第8条関係）

サテライト施設の使用料

区分	多目的室
金額	月額168,000円

備考

- 使用期間が1月に満たないときは、1月を30日とする日割計算により計算する。
- 電気料は、別に実費を徴収することができる。

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例施行規則

八戸市美術館条例施行規則

令和3年9月17日規則第87号

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

開館時間

第2条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、同項に規定する開館時間を変更することができる。

休館日

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下単に「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）
- (2) 12月29日から翌年1月1日まで

2 前項の規定は、同項の休館日に有料施設（条例第5条第1項に規定する有料施設をいう。以下同じ。）の使用許可を受けた者が当該使用許可に係る有料施設を使用することを妨げない。

観覧料の納付

第4条 美術館の観覧料（以下「観覧料」という。）は、観覧券の交付を受ける際に納付しなければならない。

使用期間

第5条 有料施設の使用期間は、サテライト施設を除き、同一使用につき引き続き6日を超えることができない。ただし、市長が必要があると認めるときは、この限りでない。

2 サテライト施設の使用期間は、1年以内とし、市長が必要があると認めるときは、これを更新することができる。

使用者登録

第6条 次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約を初めて行おうとする者は、あらかじめ、八戸市美術館施設使用者登録申込書（別記第1号様式。次項において「申込書」という。）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申込みがあった場合は、その記載事項を確認し、当該申込みをした者について次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約ができる者として登録（以下「使用者登録」という。）をするものとする。この場合において、市長は、当該申込みをした者（団体にあっては、その代表者又は連絡担当者（代表者に代わりこの規則に定める手続を行う者として選任されている者をいう。））に対し、その者の氏名、住所、生年月日等が記載された書類その他申込書の記載事項に誤りがないことを確認するために必要な書類の提示を求めることができる。

3 市長は、使用者登録を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、これを取り消すことができる。

- (1) 条例、この規則又は施設の使用、維持管理等に関する法令に違反したとき。

- (2) 偽りその他不正な手段により使用者登録を受けたとき。
- (3) 有料施設の使用料（以下「使用料」という。）の支払その他の債務を履行しないとき。

- (4) その他市長が使用者登録を不適当と認めるとき。

4 第2項の規定により使用者登録を受けた者は、登録内容に変更が生じたときは、遅滞なく、市長に届け出なければならない。

5 前各項に定めるもののほか、使用者登録に関し必要な事項は、別に定める。

使用許可の申請手続等

第7条 条例第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けようとする者は、八戸市美術館施設使用許可申請書（別記第2号様式）を、市長に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間内に提出しなければならない。ただし、市長が相当な理由があり、かつ、美術館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

- (1) 第9条第1項の規定による仮予約をした場合の使用許可 当該仮予約の決定を受けた日から施設を使用する日（施設を使用する日が連続して複数ある場合は、その初日。以下「使用日」という。）前10箇月に当たる日の属する月の末日まで
- (2) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用許可（前号に掲げるものを除く。） 使用日前10箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前7日に当たる日まで
- (3) サテライト施設の使用許可 使用日前12箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前30日に当たる日まで

第8条 前条の規定にかかわらず、有料施設に売店を設置しようとする者は、売店設置許可申請書（別記第3号様式）に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 営業種目、販売品目及び価格、営業時間その他営業に関する計画を記載した書類
- (2) その他市長が必要と認める書類

仮予約

第9条 有料施設（ギャラリー1及び2、スタジオ、ワークショップルーム、ジャイアントルーム展示エリア1及び2、会議室1から3まで並びに広場に限る。次項において同じ。）を使用しようとする者は、次の各号に掲げる使用日の区分に応じ、当該各号に定める期間に、仮の使用の予約（以下「仮予約」という。）を行うことができる。

- (1) 使用日が1月から3月まで又は10月から12月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の9月中
- (2) 使用日が4月から9月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の4月中

2 前項の規定により、同一の有料施設を同一日の同一時間に使用したい旨の仮予約が複数の者からあったときは、市長は、抽選により当該有料施設を使用する者を決定するものとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、抽選以外の方法により決定することができる。

使用許可書の交付等

第10条 市長は、第7条第1項又は第8条の申請書を受理した場合において、有料施設の使用を許可したときは、第7条第1項の申請者には八戸市美術館施設使用許可書（別記第4号様式）を、第8条の申請者には売店設置許可書（別記第5号様式）を交付する。

2 前項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、有料施設の使用の際、同項の規定

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

により交付を受けた八戸市美術館施設使用許可書又は売店設置許可書（以下これらを「使用許可書」という。）を携帯し、係員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

事前打合せ

第11条 使用者は、有料施設の使用に際しては、原則として事前に使用方法その他必要な事項について係員と打合せをしなければならない。

使用時間の超過又は繰上げ

第12条 使用者は、やむを得ない理由により当該許可に係る使用可能時間を超過し、又は繰り上げて有料施設を使用する必要があるときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。この場合において、当該超過又は繰上げは、超過又は繰上げのいずれか一方かつ1時間以内に限るものとする。

使用の変更

第13条 使用者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書（別記第6号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、サテライト施設の使用許可を受けた者は、自己の都合により、許可を受けた使用期間を短縮しようとするときは、短縮後の使用期間の末日前3箇月までに八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前2項の申請書を受理した場合において、使用の変更を承認したときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を当該申請者に交付する。

使用の中止

第14条 使用者は、有料施設の使用を中止しようとするときは、八戸市美術館施設使用中止届（別記第7号様式）に使用許可書（前条第3項の規定により交付された八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を含む。第17条第2項及び第18条第3項において同じ。）を添えて、市長に届け出なければならない。

設備、器具等の使用料等

第15条 条例別表第2の規定により市長が定める設備、器具等の使用料は、別表のとおりとする。

2 使用する設備、器具等の設営及び撤去は、係員の指示に従って使用者が行うものとする。

使用料の納付

第16条 使用料は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める時期に納付しなければならない。

- (1) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用料 第10条第1項の規定により使用許可書の交付を受けるとき。ただし、設備、器具等の使用料にあっては、当該使用終了時までに納付することができるものとする。
- (2) サテライト施設の使用料 翌月分の使用料及び前月分の電気料を毎月末日まで

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合にあっては、市長の定める期限までに使用料を納付することができるものとする。

- (1) 国又は地方公共団体が使用する場合
- (2) その他市長がやむを得ない理由があると認める場合

観覧料等の還付

第17条 条例第9条ただし書の規定により還付する観覧

料及び使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他不可抗力により、観覧又は有料施設の使用ができなくなったとき 既納の観覧料又は使用料の全額
- (2) 条例第7条第1項第4号の規定により有料施設の使用ができなくなったとき 既納の使用料の全額
- (3) 有料施設の使用日前90日までに使用中止の届出があったとき 既納の使用料の3割の額
- (4) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）の還付を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等還付申請書（別記第8号様式）に観覧券又は使用許可書及び観覧料等の領収書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の還付を決定したときは、八戸市美術館観覧料等還付決定通知書（別記第9号様式）により当該申請者に通知する。

観覧料等の減免

第18条 条例第10条の規定により減額し、又は免除する観覧料の額は、次のとおりとする。

- (1) 当市が主催する行事において観覧するとき 観覧料の全額
- (2) 未就学児 観覧料の全額
- (3) 身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあっては、介護人1人を含む。）が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (4) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (5) 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき 観覧料の全額
- (6) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 条例第10条の規定により減額し、又は免除する使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 市内の小学校、中学校又は特別支援学校が無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の全額
- (2) 市内の高等学校又は大学が無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (3) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

3 観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等減免申請書（別記第10号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。ただし、第1項第2号から第5号までの規定により減額又は免除を受けようとする者については、この限りでない。

4 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の減額又は免除を決定したときは、八戸市美術館観覧料等減免決定通知書（別記第11号様式）により当該申請者に通知する。

行為の禁止

第19条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 美術館の施設、設備等を損傷し、又は滅失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして美術館が収蔵する美術品等（条例第1条に規

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例施行規則

定する美術品等をいう。以下同じ。)の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。

(4) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。

(5) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。

(6) 美術館の施設及び敷地内において喫煙すること。

(7) 所定の場所以外において火気を使用すること。

(8) その他美術館の管理に支障がある行為

2 前項第3号の許可を受けようとする者は、八戸市美術館美術品等特別利用許可申請書（別記第12号様式）を市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等特別利用許可書（別記第13号様式）を交付する。

美術品等の寄託

第20条 美術館に美術品等の寄託をしようとする者は、当該美術品等に八戸市美術館美術品等寄託申請書（別記第14号様式）を添えて市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請書を受理した場合において、美術品等の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等受託書（別記第15号様式）を交付する。

寄託美術品等の免責

第21条 市長は、寄託を受けた美術品等が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっては、その賠償の責めを負わない。

(補則)

第22条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附則

1 この規則は、条例の施行の日から施行する。

2 八戸市美術館条例施行規則（平成23年八戸市規則第27号）は、廃止する。

3 第7条第2項第1号及び第9条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日から令和5年3月31日までの間の使用に係る同項に規定する仮予約及び当該仮予約をした場合の使用許可に係る第7条第2項第1号に定める申請書の提出期間については、市長が別に定める。

別表（第15条関係）

設備、器具等使用料

区分	設備等の名称	単位	金額（円）	摘要
照明設備	追加スポットライト	1個	140	ギャラリー1を使用する場合は15個まで、ギャラリー2を使用する場合は30個まで無料
展示設備	キャスター付き展示パネル	1枚	140	ジャイアントルーム展示エリア1又は2を使用する場合は各2枚まで、スタジオを使用する場合は4枚まで無料
映像設備	プロジェクター（備付）	1台	500	ブラックキューブ専用
	ポータブルプロジェクター	1台	300	
	壁掛けスクリーン	1台	200	スタジオ専用
	テレビモニター	1台	270	
音響設備	拡声装置	1式	270	スタジオ又はジャイアントルーム専用。有線マイク2本を含む。
	ワイヤレスマイク	1チャンネル	150	
その他	電池		実費	電池代は含まない。

備考

1 この表に定める使用料の額は、当該設備、器具等を使用する施設の使用許可に係る使用時間1時間当たり（追加スポットライト及びキャスター付き展示パネルにあっては、使用1日当たり）の額とする。

2 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合の使用料の額は、当該超過し、又は繰上げて使用する時間1時間（当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。）につき、それぞれこの表に規定する使用料の額の100分の120に相当する額とする。

3 この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

8. データ

関係規約
八戸市美術館美術品等収
集委員会規則

八戸市美術館美術品等収集委員会規則

令和3年3月30日規則第41号

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号）第18条第3項の規定に基づき、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

調査審議事項

第2条 委員会は、八戸市美術館（以下「美術館」という。）が収集しようとする美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 美術品等の購入の適否及び価格の評価に関すること。
- (2) 美術品等の寄贈の受入れに関すること。
- (3) その他収集に係る専門事項に関すること。

組織

- 第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。
- 2 委員は、美術品等に関し専門的知識を有する者のうちから、市長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。
 - 4 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委員長及び副委員長

- 第4条 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。
- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
 - 3 委員長は、会務を総理する。
 - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

会議

- 第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき委員会の委員長の職務は、市長が行う。
- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
 - 3 委員は、調査審議の対象である美術品等に直接の利害関係を有する場合は、その議事に加わることができない。
 - 4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 5 委員会の会議は、非公開とする。

資料の提出の要求等

第6条 委員は必要があるときは、関係者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

秘密の保持

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

庶務

第8条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

委任

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の組織及

び運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

施設概要

1. 設計者

設計者

西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体（東京都中央区）

施工者

鴻池組・田名部組・東復建設特定建設工事共同企業体（建築）

ダイダン・サカモト・葵特定建設工事共同企業体（機械）

ユアテック・溝口電気特定建設工事共同企業体（電気）

2. 概要

敷地概要

指定建ぺい率 | 100% (6,731.16㎡)

指定容積率 | 600% (40,386.96㎡)

防火地区 | 防火地域

用途地域 | 商業施設

接道 | 幅員13.205m、接道174m

建築概要

設置場所 | 八戸市大字番町10番地4

構造種別 | 鉄骨造

仕上 | 押出成形セメント板、ガルバリウム鋼板（外壁）

超速硬化ウレタン塗膜防水（一部押えコンクリート仕上）（屋根）

敷地面積 | 6,732.14㎡

建築面積 | 3,080.21㎡

延床面積 | 4,844.95㎡

階数 | 地上3階建て

杭・基礎 | 杭基礎

最高高さ | 19.23m

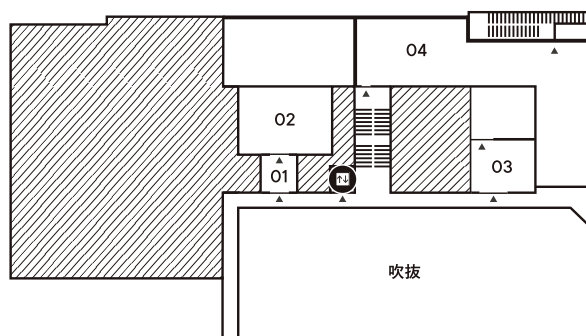
駐車場台数 | 10台（公用車用2台、来客者用2台、障がい者用2台、荷捌用2台、大型車用2台）

設計期間 | 2018年3月～2019年1月

工事期間 | 2019年4月～2020年12月

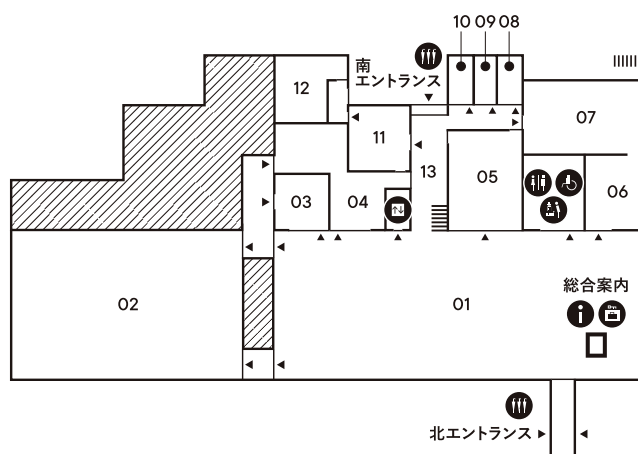
8. データ

施設概要



2F

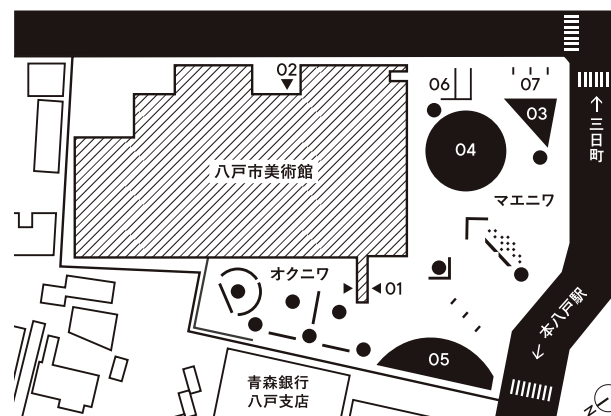
- 01 応接室
- 02 事務室
- 03 八戸学院まちなかラボ
- 04 テラス



1F

- 01 ジャイアントルーム
- 02 ホワイトキューブ
- 03 ブラックキューブ
- 04 コレクションラボ
- 05 スタジオ
- 06 ギャラリー1
- 07 ギャラリー2
- 08 会議室 1
- 09 会議室 2
- 10 会議室 3
- 11 ワークショップルーム
- 12 アトリエ
- 13 ティールーム

館内マップ



マエニワ・オクニワ

- 01 北エントランス
- 02 南エントランス
- 03 さんかく
- 04 まる
- 05 だんだん
- 06 障がい者用駐車場
- 07 駐輪場

館外マップ

8. データ

沿革

沿革

年月	項目
1985年 3月30日	大蔵省東北財務局青森財務事務所から市長あて「未利用国有地の買受け等勧奨について」の文書が送付される。
6月7日	上記買受け勧奨を受けて、新築移転する八戸税務署の跡地建物等の買受け要望のある旨回答（理由：八戸市美術展示館（仮称）として活用したい）。
9月18日	国有財産「八戸税務署」売払要望書を提出。
12月	「買受け等予定地等一覧表」が青森財務所長から送付され、買受けをする旨の確認書を提出。
1986年 2月25日	八戸市美術展示館（仮称）建設懇談会を設置。第1回会合、以降全5回開催。委員：月館唯師、小山田孝、田名部定吉、石橋正美（座長）、米内安芸。
3月24日	議会－八戸市美術展示館（仮称）用の建物として旧八戸税務署の買入れを議決。
4月12日	国有財産売払契約を締結。
7月	工事請負業者各社と契約締結。
9月20日	議会－八戸市博物館条例の一部を改正する条例を制定。名称「八戸市美術館」、博物館の分館とする。
10月29日	教育委員会－八戸市博物館条例施行規則の全部、八戸市博物館等規則の一部改正する規則を制定。
11月10日	八戸市美術館の工事終了。
11月21日	開館式。
11月22日	一般公開 開館記念特別展「日本現代美術秀作展－文化庁収蔵作品による」開催。
2011年 4月1日	教育委員会より市長部局まちづくり文化観光部へ移管。
2016年 4月1日	新美術館整備のため、新美術館建設推進室が設置。
2017年 8月8日	美術館解体のため、新美術館建設推進室事務所を移転（八戸市八日町9）。同事務所内に「はちのへまちなかアートラボCo部屋」を開設。
2019年 3月	「八戸市新美術館管理運営基本計画」策定。
4月	新美術館建物建設工事に着手。
2020年 3月	「八戸市新美術館 中期運営計画」策定。
12月	美術館本棟 竣工。
2021年 2月	新美術館建設推進室事務所を八戸市美術館内へ移転（八戸市大字番町10-4）。
3月	広場工事着手（9月完了）。
8月8日	イベント「美術館のプロローグ」実施。一般公開。
11月3日	（新）八戸市美術館開館。開館記念「ギフト、ギフト、」開催。
2022年 10月	2022年度グッドデザイン賞ベスト100に選出。
2023年 3月	第43回東北建築賞「作品賞」受賞。
2023年 6月	JIA日本建築大賞受賞。

八戸市美術館
令和6年度（2024年）
年報

編集・発行 | 八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4
Tel : 0178-45-8338
Mail : art@city.hachinohe.aomori.jp

発行 | 令和7年8月